





## 本書の見かた

この説明書はナビゲーションシステムの取り扱いについて説明しています。ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

- ◎本システムを安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などを以下のように表しています。

<メニュー>	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを < > で表します。
【情報】	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を [ ] で表します。

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客様の車両と異なります。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

# 目次

■ 安全上のご注意 P.4 ■ 基本的な使いかた P.10	■ サービス・機能一覧 P.6 ■ はじめに設定しておきたいこと P.26	■ 各部の名称と機能 P.8	ご使用前の確認と設定	P.3
■ EV メニュー P.28 ■ タイマー機能 P.31	■ 航続可能距離・出力 P.29 ■ EV 専用機能を設定する P.36	■ 充電スポット情報 P.30	EV 専用機能★	P.27
■ 地図表示について P.40 ■ ルートを編集・変更する P.56 ■ 交通情報を使う P.65	■ 目的地を探す P.46 ■ ルートメニューを使う P.59 ■ ETC の各機能を確認・設定する P.68	■ ルートを設定する P.52 ■ ナビゲーションを使いこなす P.60	ナビゲーション	P.39
■ オーディオ・テレビの基本操作 P.70 ■ テレビを見る★ P.82	■ ラジオを使う P.74	■ USB・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオ・HDMI ★を使う P.76	オーディオ	P.69
■ ハンズフリーフォンの基本操作 P.88 ■ ハンズフリーフォンの設定をする P.92	■ 通話機能を使う P.90 ■ Apple CarPlay P.94	■ ショートメッセージ (SMS) 機能を使う P.91 ■ Android Auto ™ P.96	ハンズフリーフォン、Apple CarPlay、Android Auto ™	P.87
■ MITSUBISHI CONNECT サービス P.100	■ MITSUBISHI CONNECT サービスを使う P.105	■ MITSUBISHI CONNECT サービスを使いこなす P.111	MITSUBISHI CONNECT サービス	P.99
■ 音声操作 P.114	■ ボイスアシスタント P.115		音声操作	P.113
■ 故障かな？と考える前に P.122	■ 知っておいていただきたいこと P.153	■ 索引 P.167	付録	P.121

---

**MEMO**

# ご使用前の確認と設定

---

## 安全上のご注意

運転中のご注意	P.4
停車時のご注意	P.4
スマートフォン連携ナビゲーションについてのご注意	P.4
安全運転のための機能	P.5

## サービス・機能一覧

本機のできる機能	P.6
----------	-----

## 各部の名称と機能

コントロールパネル	P.8
ステアリングスイッチ	P.9
USB ポート	P.9

## 基本的な使いかた

メニュー画面について	P.10
クイック設定画面について	P.11
アプリメニューについて	P.12
設定メニューについて	P.13
機器接続画面の見かた	P.16
音量を調整する	P.22
画質を調整する	P.23
時計を設定する	P.24
ソフトウェア更新	P.25

## はじめに設定しておきたいこと

自宅を登録する	P.26
---------	------

# 安全上のご注意

本システムをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。これらは安全のために重要ですので、よくお読みのおえ、正しくお使いください。

## 運転中のご注意

### ⚠ 注意

- 操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所に停車してください。
- 運転中にオーディオなどを使用するときは、車外の音が聞こえる音量でご使用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。

### 📖 アドバイス

- 道路状況やナビゲーションの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制・道路状況に従って走行してください。
- 経路探索結果により、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は常に実際の道路状況に従って運転してください。
- 地図表示と標識検知機能によるマルチインフォメーションディスプレイでの表示は異なる場合があります。常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。マルチインフォメーションディスプレイについては車両取扱説明書をご覧ください。

## 停車時のご注意

### ⚠ 警告

- 屋内など換気の悪いところでの操作は、エンジンまたはプラグインハイブリッド EV システムを停止させてから行ってください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

### 📖 アドバイス

- エンジンまたはプラグインハイブリッド EV システムを停止した状態でのご使用は12Vバッテリーあがりの原因となります。テレビなどのご使用はエンジンまたはプラグインハイブリッド EV システム作動中に行ってください。

## スマートフォン連携ナビゲーションについてのご注意

### ⚠ 警告

- 本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。
- 故障の原因となりますので、本体および USB メモリや HDMI などの挿入口に異物を入れないでください。
- 画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。お客さまご自身で修理を行わずに必ず「三菱自動車販売会社」にご相談ください。
- Telematics Control Unit アンテナはインストールパネル上面の中央付近に内蔵されています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器 (ICD) を使用している方は、アンテナから約 15cm 以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。サービスご利用時などに Telematics Control Unit の電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器 (ICD) の作動に影響を与えるおそれがあります。医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。

# 安全上のご注意

## 📖 アドバイス

- ディスプレイの清掃は、車を安全な場所に停車して行ってください。
- ディスプレイの清掃は、システムの電源を OFF にして行ってください。電源が ON のまま清掃すると誤操作の原因となります。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因になります。
- 低温時や高温時に一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合により本体に保存されなかった場合、データおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- ETCユニットを改造すると電波法により罰せられることがあります。
- 本システムは、複数のアプリケーションやスイッチ操作を同時に処理しますが、それらによるシステムへの負荷のため、動作が遅くなったり、システムがフリーズしてしまう可能性があります。コントロールパネルスイッチやステアリングスイッチ操作は、一つ一つゆっくりと行ってください。

## 📖 アドバイス

- 本システムは、パワースイッチの電源モードを ON にした後、全てのアプリケーションが起動し使用可能になるまでに、約 1 分程度かかります。以下の機能が起動中でも操作可能です。
  - ① オーディオのボリューム調整
  - ② 音楽再生

本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。

Model name : AIVIP33A0

Ⓢ R 201-240243

Ⓢ D 24 0039 201

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

## 安全運転のための機能

### 走行中に操作できない機能

安全に運転をしていただくために、走行中にできない操作は、メニューを選べなくなります。また、文字 / 数字入力などの操作もできなくなります。安全な場所に停車してから操作を行ってください。

## 画像表示制限

画像表示（テレビなどの動画）は電動パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

## 📖 アドバイス











- 地上デジタル放送視聴時、三菱自動車純正品以外の付属機器を接続すると、表示画面に不具合が生じる場合があります。純正品をご使用ください。

# サービス・機能一覧

本機にはナビゲーション機能やオーディオ機能などに加えて、快適に運転できるように様々なサポート機能があります。  
※本書に記載の機能、画面デザインなどは、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

## 本機でできる機能

本書に記載の機能は、設定条件によっては操作ができないまたは項目が表示されない場合があります。

機能	概要	参照先	
ナビゲーション	地図表示	ランチャーメニューの[  ]をタッチすると、いつでも自車位置を中心とした地図を表示できます。またタッチパネル操作で地図を自由に動かすことができます。	 P.40
	目的地設定	住所、施設ジャンル、キーワード検索、履歴など様々な方法で目的地を設定することができます。	 P.46
	ルートガイド	出発地から目的地に到着するまで音声と画像でルートを案内します。	 P.59
	交通情報 (VICS)	FM 多重放送より受信した情報から渋滞や駐車場情報などを確認できます。	 P.65
オーディオ	ラジオ	AM、FM ラジオを聞くことができます。	 P.74
	地上デジタルテレビ	フルセグ・ワンセグ自動切替、系列局サーチ機能により広範囲で地上デジタルテレビを受信します。	 P.82
	USB オーディオ、iPod®/iPhone®	お手持ちの iPod®/iPhone® をケーブルで接続して、ナビで操作しながら音楽を楽しむことができます。また USB メモリに保存した音楽ファイルや映像ファイルも再生できます。	 P.76
	Bluetooth® オーディオ	Bluetooth® 対応のオーディオと接続して、音楽を再生できます。	 P.76
	HDMI	HDMI 機器を接続することで、外部機器の映像 / 音声を視聴することができます。	 P.81

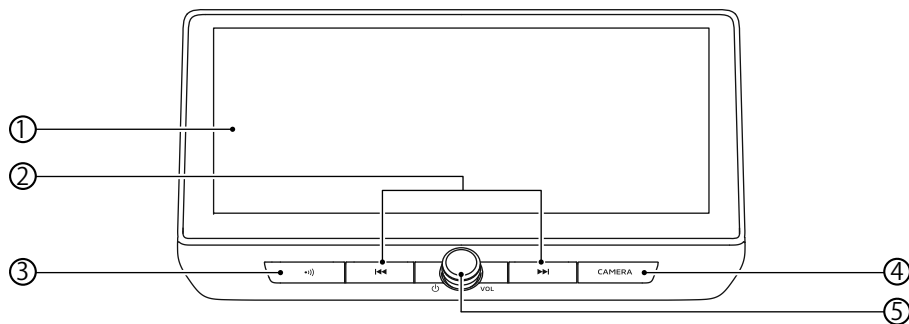
# サービス・機能一覧

機能		概要	参照先
ハンズフリーフォン	Bluetooth® ハンズフリーフォン機能	Bluetooth® 対応の携帯電話を接続することにより、かばんやポケットに電話を入れたままでも通話できます。	➡ P.87
	ショートメッセージ (SMS) 機能	本機上で、携帯電話で受信した SMS を確認したり、送ったりできます。	➡ P.91
スマートフォン連携 (Apple CarPlay、Android Auto™)		お手持ちのスマートフォンを接続して、本機上でスマートフォンの機能を楽しむことができます。ナビゲーション機能、音楽再生機能、電話機能などを使用することができます。	➡ P.94 ➡ P.96
MITSUBISHI CONNECT		MITSUBISHI CONNECT とは、車両に搭載されている MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、ドライブに便利な情報を提供するサービスです。	➡ P.100
EV 専用機能	航続可能距離表示	現在の航続可能距離から算出した到達予想範囲を表示できます。	➡ P.29
	充電スポット表示	地図上に普通充電、急速充電の施設アイコンを表示できます。	➡ P.30
	充電スポットを探す	充電スポットを探して目的地（経由地）に設定できます。	➡ P.30
	充電スポット情報表示	充電設備の種類や設置台数などの情報を表示できます。	➡ P.30
	タイマー充電	充電する時間帯を設定できます。	➡ P.31
	タイマーエアコン	出発時に快適な温度になるようにエアコンをタイマー設定できます。	➡ P.33
	電力消費計	航続可能距離やモーター、エアコン、その他の電装品の電力消費量を確認できます。	➡ P.29
音声操作		音声操作でナビゲーション、オーディオ、EV 専用機能、ハンズフリーフォン、MITSUBISHI CONNECT を操作できます。	➡ P.113
カメラ		マルチアラウンドモニターを表示します。	車両取扱説明書

# 各部の名称と機能

## コントロールパネル

「」使用前の確認と設定



### ① タッチパネル

ナビ、テレビ、カメラ画面などを表示したり、画面タッチでさまざまな機能の操作や設定をすることができます。

### ② < ◀▶ / ▶▶ > ボタン★

チャンネル送り、自動選局、曲変更などができます。長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。

### ③ < ●|| > ボタン★

交通情報をききます。

### ④ < CAMERA > ボタン

カメラの画面を表示します。

詳細は車両取扱説明書をお読みください。

### ⑤ < ⏻ / VOL > ダイアル

押すごとにオーディオを ON/OFF します。

回すと音量を調整します。

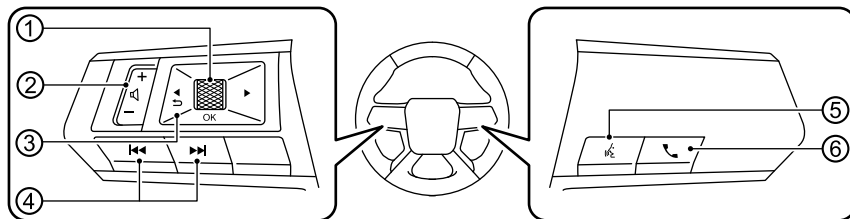
オーディオが OFF のときに回すと ON になります。

## 知識

- 本機は車両の電源（パワースイッチ）と連動して ON/OFF します。パワースイッチの詳細は車両取扱説明書をお読みください。

# 各部の名称と機能

## ステアリングスイッチ



### ① <OK>ダイヤル

ボイスアシスタント操作時に回すと項目を選択できます。押すと選択した項目を確定します。

### ② <+ 音量 -> ボタン

音量を調整します。

### ③ <戻る> ボタン

ボイスアシスタント操作時に一つ前の画面に戻ります。

### ④ <ラジオ/テレビの選局 / iPod/iPhone などの選曲> ボタン

ラジオ / テレビの選局や iPod/iPhone などの選曲をします。  
長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。

### ⑤ <音声操作> ボタン

音声操作を起動します。  
Apple CarPlay 操作時に長押しすると Siri が起動します。

Android Auto™ 操作時に長押しすると Google アシスタント™ が起動します。  
iPhone® を Bluetooth® 接続しているときは、Apple CarPlay が起動していても長押しすると Siri が起動します。

### ⑥ <ハンズフリーフォン操作> ボタン

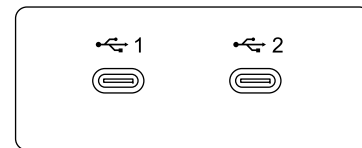
ハンズフリーフォン操作画面に切り替えたり、通話に应答したり終了したりします。

## 知識

- 本機の機能に関するスイッチのみ説明しています。説明のないスイッチについては、車両取扱説明書をご覧ください。

## USB ポート

インストールパネルに USB ポートがあります。



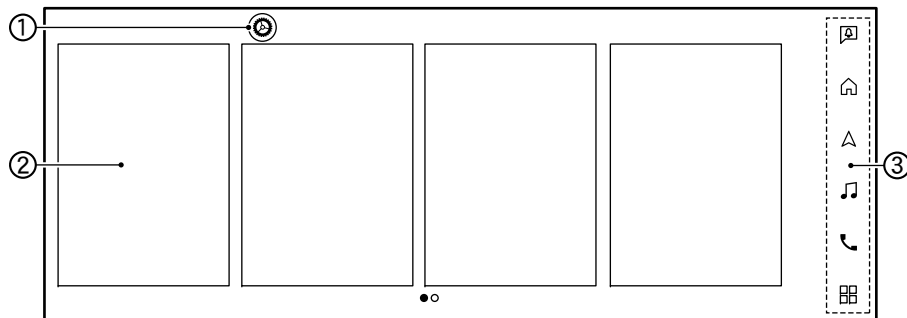
USB メモリや iPod®/iPhone® または Android スマートフォンを接続できます。

「使用前の確認と設定」

# 基本的な使いかた

## メニュー画面について

メニュー画面には、車両や機能の情報を表示したり、ショートカットとして各機能へ遷移できるウィジェットが表示されます。メニュー画面はお好みに応じて編集することができます。



### ① [設定] (gear icon)

メニュー画面を表示しているときにタッチすると、すべての設定メニューを表示します。

#### 👉 設定メニューについて (P.13)

メニュー画面以外を表示しているときは、各機能画面に対応した設定画面が表示されます。

### ② ウィジェット

オーディオやナビなど、よく見る情報を表示できます。項目によってはタッチすると操作画面を表示できます。

### ③ ランチャーメニュー

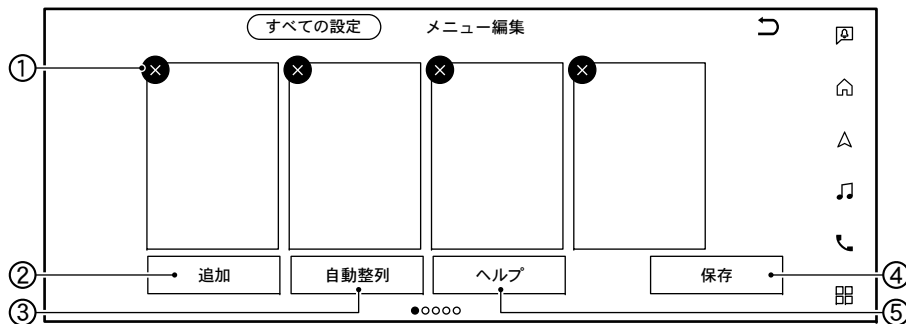
画面右側に表示され、各機能の画面に移動することができます。

アイコン	機能・操作説明
[ [通知] ]	通知メニューを表示します。不在着信やソフトウェア更新などの通知のリストが表示されます。
[ [ホーム] ]	メニュー画面を表示します。
[ [地図] ]	地図画面を表示します。 👉 <u>現在地の地図表示 (P.40)</u>
[ [音楽] ]	オーディオ再生画面を表示します。 👉 <u>オーディオ (P.69)</u>
[ [電話] ]	電話メニュー画面を表示します。 👉 <u>ハンズフリーフォンの操作画面 (P.89)</u>
[ [CarPlay] ]	[ [CarPlay] ] : Apple Carplay 画面を表示します。 👉 <u>Apple CarPlay を使う (P.94)</u>
[ [Android Auto] ]	[ [Android Auto] ] : Android Auto ™画面を表示します。 👉 <u>Android Auto ™を使う (P.96)</u>
[ [アプリ] ]	アプリメニュー画面を表示します。 👉 <u>アプリメニューについて (P.12)</u>

# 基本的な使いかた

## メニュー画面を編集する

ウィジェットを長押しすると、メニュー編集画面を表示します。ウィジェットの追加や削除、ドラッグして位置の変更などができます。



- ① [×]  
ウィジェットを削除します。  
[×]が表示されないものは削除できません。
- ② [追加]  
ウィジェットを追加します。
- ③ [自動整列]  
ウィジェットを自動整列します。
- ④ [保存]  
編集した設定を保存します。
- ⑤ [ヘルプ]  
ウィジェットの編集方法を表示します。


## クイック設定画面について

表示画面によっては、スワイプダウンして明るさ、サウンドの調整や、ガイド・メッセージ音声の ON/OFF ができます。

- ➡ 画質を調整する (P.23)
- ➡ オーディオの設定 (P.70)
- ➡ 音量を調整する (P.22)

# 基本的な使いかた

## アプリメニューについて

ランチャーメニューの[  ]をタッチ

項目を選び各種情報画面を表示します。

表示される項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[通知]	通知の一覧を表示します。
[ETC2.0情報]	ETC2.0 情報メニュー画面を表示します。 ➡ <a href="#">ETC の各機能を確認・設定する (P.68)</a>
[MITSUBISHI CONNECT サービス]	MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー画面を表示します。 ➡ <a href="#">MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー (P.110)</a>
[MITSUBISHI CONNECT サービスアプリ]	MITSUBISHI CONNECT サービスのスマートフォンアプリをダウンロードするための二次元コードを表示します。
[VICS情報]	VICS 情報メニュー画面を表示します。 ➡ <a href="#">VICS FM 多重情報を見る (P.66)</a>
[EV]	EV メニューを表示します。 ➡ <a href="#">EV メニュー (P.28)</a>
[GPS現在地情報]	GPS 情報を表示します。
[システム情報]	[バージョン情報]
	[ライセンス情報]
[スマートフォン接続]	Apple CarPlay および Android Auto ™が利用できるスマートフォンを接続していると、[Apple CarPlay] または [Android Auto] と表示されます。タッチすると AppleCarPlay または Android Auto ™画面を表示します。 ➡ <a href="#">Apple CarPlay について (P.94)</a> ➡ <a href="#">Android Auto ™について (P.96)</a>

# 基本的な使いかた

## 設定メニューについて

ランチャーメニューの[]→[]をタッチ

各種設定画面を表示します。



表示される項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明	
[機器接続]	接続機器、Wi-Fiなどの接続画面を表示します。 ➡ <a href="#">機器接続画面の見かた (P.16)</a>	
[電話]	電話設定画面を表示します。 ➡ <a href="#">ハンズフリーフォンの設定をする (P.92)</a>	
[ナビゲーション]	ナビゲーション設定画面を表示します。 ➡ <a href="#">ナビゲーション設定メニュー (P.60)</a>	
[サウンド調節]	[サウンド]	サウンド設定画面を表示します。 ➡ <a href="#">オーディオの設定 (P.70)</a>
	[音量調節]	音量調整画面を表示します。 ➡ <a href="#">音量を調整する (P.22)</a>
	[音声設定]	音声設定画面を表示します。 ➡ <a href="#">設定のしかた (P.118)</a>
[システム更新]	[バージョン情報]	本システムのバージョン情報を確認できます。
	[ソフトウェア更新]	ソフトウェアの更新をしたり、ソフトウェア更新の設定をします。 ➡ <a href="#">ソフトウェア更新 (P.25)</a>
	[地図更新]	地図更新をしたり、地図更新の設定をします。 ➡ <a href="#">地図更新をする (P.106)</a>
[時計]	時計設定画面を表示します。 ➡ <a href="#">時計を設定する (P.24)</a>	

# 基本的な使いかた

項目		機能・操作説明
[カスタマイズメニュー]	[メニュー編集]	メニューの編集画面を表示します。 ➡ <u>メニュー画面を編集する (P.11)</u>
	[オーディオソースバーの編集]	オーディオソースバーの編集ができます。
	[地図ショートカットメニュー編集]	地図ショートカットメニューの編集画面を表示します。 ➡ <u>地図ショートカットメニューについて (P.41)</u>
	[お気に入りの編集]	短縮ダイヤルの編集画面を表示します。 ➡ <u>短縮ダイヤルの登録、編集 (P.93)</u>
	[目的地設定メニューの編集]	目的地メニューの編集画面を表示します。 ➡ <u>目的地メニュー画面の編集 (P.51)</u>
[一般]	[画面設定]	画面表示を OFF にしたり、画質を調整できます。 ➡ <u>画質を調整する (P.23)</u>
	[言語]	画面表示の言語を切り替えます。
	[キーボード入力]	キーボードの配列を切り替えます。
	[設定の初期化]	各種設定を工場出荷状態に戻します。
[MITSUBISHI CONNECT サービス]	MITSUBISHI CONNECT サービスの設定画面を表示します。 ➡ <u>MITSUBISHI CONNECT サービスを設定する (P.111)</u>	
[カメラ]	カメラ設定画面を表示します。 詳細は車両取扱説明書をお読みください。	
[シート]	運転席または助手席を動かしたときにガイダンスを画面に表示する機能の ON/OFF 設定ができます。 詳細は車両取扱説明書をお読みください。	

# 基本的な使いかた

項目		機能・操作説明
[ユーザー情報]	[ユーザーリスト]	ユーザーの登録・編集・切り替えができます。
	[キーレスオペレーションキー連動]	<p>キーレスオペレーションキー連動機能の ON/OFF を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ON にすると、キーレスオペレーションキーでユーザーを自動認識します。電源を OFF にした時点の設定（運転ポジション、ナビゲーションなど）がユーザーごとに記憶され、次に電源を ON にしたときに、設定が呼び出されます。</li> <li>● OFF にすると、ユーザーは常にゲストとして認識されます。</li> </ul>
	[ウェルカムメッセージ]	<p>ウェルカムメッセージの ON/OFF を設定します。</p> <p>ON にすると、パワースイッチを ON にしたときにウェルカムメッセージ画面を表示します。</p> <p>メッセージのあて名が自分の登録名と異なる場合には、ユーザーリストから他のユーザー、またはゲスト (Guest) を選んでください。</p>
[アプリ]	[通知]	<p>電話、ソフトウェア更新などの通知の ON/OFF を設定します。</p> <p>ON にするとランチャーメニューの [  ] をタッチして通知を確認できます。</p>
[EV]		<p>EV 設定画面を表示します。</p> <p> EV 設定 (P.36)</p>



## 知識

- 設定中の画面などに表示される [すべての設定] をタッチすると設定メニュー画面を表示できます。

# 基本的な使いかた

## 機器接続画面の見かた

本機に接続している Bluetooth<sup>®</sup> 機器、Wi-Fi、USB などの情報を表示します。



ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] をタッチ

項目を選び、各機器接続画面を表示します。

- [Bluetooth]
  - ➡ [Bluetooth<sup>®</sup> 画面について \(P.16\)](#)
- [Apple CarPlay]
  - ➡ [Apple CarPlay を使う \(P.94\)](#)
- [Android Auto]
  - ➡ [Android Auto<sup>™</sup> を使う \(P.96\)](#)
- [Wi-Fi]
  - ➡ [Wi-Fi 画面について \(P.20\)](#)
- [Wi-Fiスポット]
  - ➡ [Wi-Fi スポット画面について \(P.21\)](#)
- [USB]
  - ➡ [USB 接続画面について \(P.21\)](#)

## Bluetooth<sup>®</sup> 画面について








オーディオやハンズフリーフォンで使用する携帯電話や登録機器の登録情報を表示します。

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [Bluetooth] をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[登録]	Bluetooth <sup>®</sup> 機器を本機に登録します。 携帯電話または Bluetooth <sup>®</sup> 機器の Bluetooth <sup>®</sup> 設定でデバイス検索し、「Mitsubishi Motors」を選択します。 設定する機種によって、パスキー入力が必要です。
[優先接続設定]	携帯電話の優先接続設定をします。

## 基本的な使いかた


項目	機能・操作説明
[  ]	Bluetooth <sup>®</sup> 設定画面を表示します。  登録機器の設定 ( 携帯電話 ) (P.19)
デバイス名	現在登録されている Bluetooth <sup>®</sup> 機器のデバイス名をリスト表示します。
[  ]	Apple CarPlay が使用可能なデバイスを接続すると表示し、タッチすると接続または解除が切り替わります。
[  ]	Android Auto <sup>™</sup> が使用可能なデバイスを接続すると表示し、タッチすると接続または解除が切り替わります。
[  ]	ハンズフリーフォンの接続状態を表示します。タッチすると接続または解除が切り替わります。
[  ]	Bluetooth <sup>®</sup> オーディオの接続状態を表示します。タッチすると接続または解除が切り替わります。
[  ]	[ 削除する ] をタッチすると登録した Bluetooth <sup>®</sup> 機器を削除します。 [ 起動オプション ] からスマートフォン接続時の起動オプションを選択できます。

### アドバイス

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールを剥がさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- Bluetooth<sup>®</sup> の登録中にパワースイッチの電源モードを OFF にした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中はパワースイッチの電源モードを OFF にしないでください。




# 基本的な使いかた

## 知識

- Bluetooth® 機器は 6 台まで登録できます。すでに 6 台登録されているときは、登録機器を 1 台削除してから登録を行ってください。
-  Bluetooth® 画面について (P.16)
- 優先接続が設定されているとき、[★] が表示されます。
- 初期登録後はパワースイッチの電源モードを ON にすると自動的に接続されます。
- 携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照してください。また適応する Bluetooth® 携帯電話は『アウトランダー』車種サイトからご確認ください。
- 入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選びパスキーを変更してください。
- Bluetooth® オーディオは、機器により登録方法が異なる場合があります。詳しくは、Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書をお読みください。
- Apple CarPlay または Android Auto ™ が接続されているときは、登録機器の設定はできません。Apple CarPlay または Android Auto ™ の接続を解除してから操作してください。

# 基本的な使いかた

## ■ 登録機器の設定 (携帯電話)

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [ Bluetooth ] → [  ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Bluetooth]	Bluetooth <sup>®</sup> を ON/OFF します。Bluetooth <sup>®</sup> 接続を利用するときは ON に切り替えてください。
[マルチ接続]	ON にすると、ハンズフリーフォンを 2 台同時に本機に接続できます。
[マルチ接続ヘルプ]	マルチ接続の操作ガイドを表示します。
[優先接続設定]	優先的に接続する機器を設定できます。 登録した機器の Bluetooth <sup>®</sup> 設定が ON のとき、パワースイッチを ON にすると自動的に接続されます。
[デバイス名]	車載機のデバイス名称を変更します。
[パスキー]	車載機のパスキーを変更します。

「使用前の確認と設定




# 基本的な使いかた

## Wi-Fi 画面について

本機は、自車位置周辺の利用可能な Wi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのテザリング機能などを使用して Wi-Fi に接続できます。Wi-Fi に接続することで、地図データやシステムソフトウェアなどの更新、オンラインでの目的地検索、その他オンラインサービスを利用できます。

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [ Wi-Fi ] をタッチ



設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Wi-Fi]	Wi-Fi 接続 ON/OFF を切り替えます。
Wi-Fi接続先デバイス名	利用可能な Wi-Fi デバイス名を選んで Wi-Fi 接続します。  : パスワードが必要です。  : 電波の受信状態を表します。
[  ]	Wi-Fi 情報を表示します。 [Wi-Fi 自動接続] を ON にすると、2 回目以降は利用可能なネットワークに自動接続します。 [削除] をタッチすると、Wi-Fi の接続設定を削除します。

# 基本的な使いかた

## Wi-Fi スポット画面について

本機が Wi-Fi スポット となり、周辺機器を Wi-Fi 接続することができます。

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [ Wi-Fi スポット ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Wi-Fiスポット]	Wi-Fi スポット接続の ON/OFF を設定します。Wi-Fi スポット接続を利用するときは ON に切り替えてください。
[Wi-Fiスポット情報]	接続に必要な情報や、接続している周辺機器の数が表示されます。 [Wi-Fi スポット] が ON のとき、表示される二次元コードをスキャンすると、周辺機器を Wi-Fi 接続することができます。
[ネットワーク名(SSID)]	本機の SSID を表示します。タッチして変更できます。
[パスワード]	本機のネットワークパスワードを表示します。タッチして変更できます。

### 知識

- [Wi-Fiスポット]を使用するにはMITSUBISHI CONNECTのdocomo in Car Connect<sup>★</sup>への登録が必要です。  
詳しくは docomo in Car Connect のお申し込みサイト <https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/> をご覧ください。

## USB 接続画面について

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [ USB ] をタッチ



本機に接続している USB デバイス、またはスマートフォンを表示します。

[  ] をタッチすると、接続している USB デバイス、またはスマートフォンの情報を表示します。

# 基本的な使いかた



## 音量を調整する

機能ごとに音量が設定できます。

ランチャーメニューの[  ]→[  ]→[ サウンド調節 ]→[ 音量調節 ]をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[オーディオ音量]	オーディオ、テレビの音量を 0 ～ 40 で調整します。
[ガイド音量]	音声ガイドの音量を 5 ～ 40 で調整します。
[着信音量]	電話の着信音量を 5 ～ 40 で調整します。
[送話音量]	電話の送話音量を 1 ～ 5 で調整します。
[操作音]	タッチパネルの操作音を ON/OFF します。
[ガイド・メッセージ音声]	音声ガイドの ON/OFF を設定します。

### 知識

- 各項目の音量は、その音が出ているときにコントロールパネルの <  /VOL > ダイヤルまたはステアリングスイッチの < +  - > ボタンでも調整できます。  
調整時は、調整する音量の種類をアイコンで、現在の音量をバーグラフで表示します。
- 送話音量は、通話中のみ設定可能です。

# 基本的な使いかた

## 画質を調整する

画面表示を OFF にしたり、画質を調整できます。

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 一般 ] → [ 画面設定 ] をタッチ  
設定項目を選びます。



項目	機能・操作説明
[画面]	画面表示の ON/OFF ができます。
[明るさ]	[+]、[-] をタッチして明るさを調整します。
[コントラスト]	[+]、[-] をタッチしてコントラストを調整します。
[黒レベル]	[+]、[-] をタッチして黒レベルを調整します。

### 知識

- 画面表示を OFF にした後、ランチャーメニューをタッチすると画面表示が一時的に ON になります。

# 基本的な使いかた

## 時計を設定する

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 時計 ] をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[常時表示]	画面上の時計表示の ON/OFF を設定します。
[時計設定モード]	[自動] GPS からの情報を使って自動で時刻を設定します。
	[手動] [日時設定] から手動で日時を設定します。
[オフセット調節(時間)]	[+], [-] をタッチして時間を調整します。
[オフセット調節(分)]	[+], [-] をタッチして分を調整します。
[時間表示]	12H/24H 表示を切り替えます。
[日付フォーマット]	年 / 月 / 日の表示フォーマットを設定します。
[日時設定]	[時計設定モード] が [手動] に設定されているときに時計表示を設定します。 [+], [-] をタッチして日付や時間を調整します。

### 知識



- 時計に表示されている時刻は、ナビゲーションの GPS により、ほぼ正確に表示されます。
- 時計の設定はマルチインフォメーションディスプレイの時計設定と連動します。マルチインフォメーションディスプレイについては車両取扱説明書をご覧ください。

# 基本的な使いかた

## ソフトウェア更新

MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」を使用して、本機や、Telematics Control Unit のソフトウェアを更新することができます。

## ソフトウェア更新画面

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ システム更新 ] → [ ソフトウェア更新 ] をタッチ  
ソフトウェア更新画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[ソフトウェア更新]	情報センターと接続し、更新可能な最新ソフトウェアの有無を確認します。 更新データがあればダウンロードすることができます。
[ソフトウェア更新の設定]	ソフトウェア更新の準備方法を設定します。 [自動] および [手動] を切り替えます。 [自動] にすると更新データの確認を自動で行います。

項目	機能・操作説明
[ソフトウェア更新の履歴]	ソフトウェア更新の履歴を表示します。 履歴をタッチすると更新内容の詳細を確認できます。
[モジュールバージョン情報]	ソフトウェアのモジュールバージョン情報を表示します。

## アドバイス

- ソフトウェア更新実施中は、パワースイッチをONにすることができません。そのため、車両を運転することができなくなります。更新が完了するとパワースイッチをONにすることができます。また、更新中は一部機能が使用できなくなります。


## 知識

- すぐにソフトウェア更新を開始しない場合は、更新開始の確認画面で [あとで] を選んでください。

## ■ 更新データのダウンロード

ダウンロードボタンを押すと更新データのダウンロードを開始します。パワースイッチをOFFにすると、ダウンロードが一時停止します。  
ダウンロード中は通常通り車両をご使用いただけます。

## 知識

- 更新データがダウンロードされると更新準備完了アイコン(  )が表示されます。

## ■ ソフトウェアの更新

更新データのダウンロード後にパワースイッチをOFFにすると、更新開始の確認画面が表示されます。更新内容および所要時間が確認できます。  
更新開始の確認画面から以下の項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[今すぐ]	すぐにソフトウェア更新が開始されます。
[あとで]	次回パワースイッチをOFFにしたときに再度更新開始の確認画面が表示されます。






## 知識

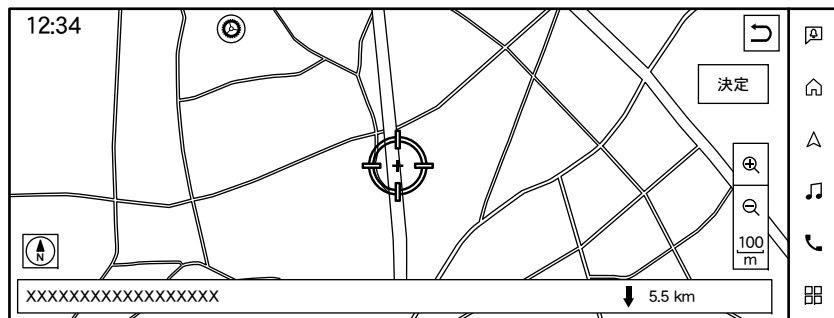
- 更新は自動で行われるため、完了を待たずに車から離れることができます。
- 更新開始時に普通充電を行っている場合、充電は一時停止されます。更新が完了すると充電が自動的に再開されます。

# はじめに設定しておきたいこと




## 自宅を登録する

自宅を登録しておく、簡単に目的地として設定することができます。

1. 目的地設定をしていないとき、ランチャーメニューの [  ] → 地図ショートカットメニューの [  ] をタッチ  
 地図ショートカットメニューについて (P.41)  
メッセージが表示されたら [ はい ] をタッチし場所を探す方法を選びます。
2. 場所を探す方法を選ぶ
3. 地図画面上で自宅の場所にカーソル (  ) を合わせ、[ 決定 ] をタッチ  
カーソル (  ) を合わせた場所を自宅として登録します。



### 知識

- 目的地設定をしていないとき、ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 自宅 ] をタッチしても、自宅を登録できます。
- 登録した自宅は編集することができます。  
 登録地を編集する (P.62)

# EV 専用機能★

---

## EV メニュー

EV メニュー画面 P.28

## 航続可能距離・出力

航続可能距離・出力を見る P.29

## 充電スポット情報

地図上のアイコンから情報を見る P.30

## タイマー機能

タイマー充電 P.31

タイマーエアコン P.33

## EV 専用機能を設定する

EV 設定 P.36

## EV メニュー画面

EV メニューには EV（電気自動車）や PHEV（プラグインハイブリッド EV）を運転されるお客さまをサポートするための便利な機能があります。

ランチャーメニューの [  ] → [EV] をタッチ

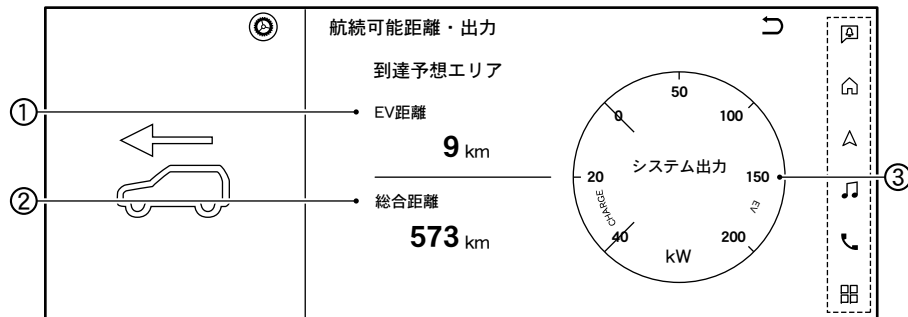
項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[航続可能距離・出力]	現在の駆動用バッテリー残量で走行できる範囲を表示します。 ➡ <a href="#">航続可能距離・出力を見る (P.29)</a>
[充電スポットを探す]	現在地周辺にある充電スポットを探します。 充電スポットリストが表示され、情報を見たり目的地に設定したりできます。
[タイマー充電]	タイマー充電を設定します。 ➡ <a href="#">タイマー充電を設定する (P.31)</a>
[タイマーエアコン]	タイマーエアコンを設定します。 ➡ <a href="#">タイマーエアコンを設定する (P.33)</a>

# 航続可能距離・出力

## 航続可能距離・出力を見る

現在の駆動用バッテリー残量でどのくらいの距離を走行できるのかを確認できます。ランチャーメニューの [ 画面 ] → [EV] → [航続可能距離・出力] をタッチ  
航続可能距離・出力画面が表示されます。



### ① EV 距離

現在の駆動用バッテリーの残量で走行できるおおよその距離です。

### ② 総合距離

エンジン走行と合わせたおおよその航続距離です。

### ③ システム出力

走行状況に応じて、モーターの駆動出力やエンジンとの複合駆動出力を表示します。回生ブレーキ時はモーターの発電量を表示します。

## アドバイス

航続可能距離・出力は運転のしかた、道路状況(坂道、山道など)、交通状況(渋滞など)によって変化する場合があります。

## 目的地 / 経由地を設定する

### ⚠ 注意

- 充電施設は使用状況に応じてルール・マナーを守ってご利用ください。


### 📖 アドバイス

- 充電スポット情報の詳細や現在の位置などが更新されている可能性があります。目的地として設定される場合は、営業時間や充電設備などの情報をお客さま自身で確認されることをおすすめします。また、駆動用バッテリー残量を考慮したドライブ計画を立ててください。

専用機能★



# 充電スポット情報

## 地図上のアイコンから情報を見る


地図上の充電スポットアイコンにカーソル (  ) を合わせるとポップアップ画面が表示されます。

- [ここへ行く]: タッチすると目的地に設定します。
- [詳細情報]: タッチすると充電スポット情報画面を表示します。施設にある充電設備や設置台数、営業時間などを確認できます。

### 充電スポットアイコン表示

-  : 普通充電器のみの施設
-  : 急速充電器がある施設

充電スポットの種類ごとに表示/非表示が設定できます。

 EV 設定 (P.36)

## 知識

- 地図の縮尺サイズによっては、充電スポットアイコンは表示されません。

# タイマー機能

## タイマー充電


充電の開始・終了時刻を予約しておくことにより、料金の安い夜間電力時間帯に充電ができます。

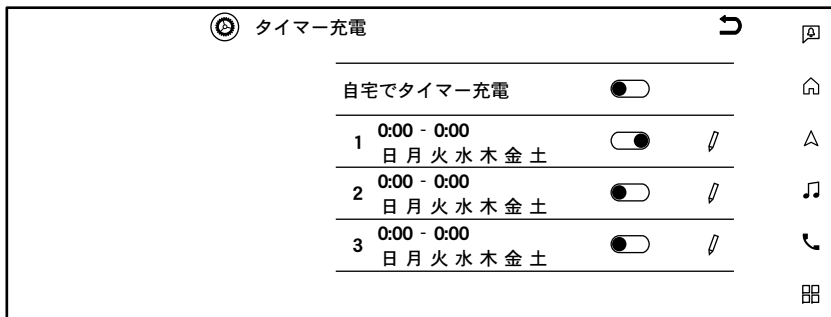
### タイマー充電を設定する



普通充電にはタイマー機能があり、充電を行う時間帯をあらかじめ予約しておく、予約した時刻に充電の開始・停止を自動的に行います。

タイマー充電は、充電の開始時刻と停止時刻、作動する曜日を設定します。これらの設定は3パターン保存することができます。

曜日別に設定ができ、一週間ごとに繰り返すので、毎回設定する必要はありません。

1. ランチャーメニューの [  ] → [EV] → [タイマー充電] をタッチ



項目	機能・操作説明
[ 自宅でタイマー充電 ]	[ON] (点灯) にすると、自宅でのみタイマー充電を行います。
[  ] (タイマー設定)	点灯すると、タイマーが ON になります。
[  ]	タイマー充電画面を表示します。タイマーを設定する開始 / 終了時刻と曜日を設定してください。

# タイマー機能

タイマー設定が消灯していると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度、タッチして点灯させると、現在の設定条件でタイマー充電の予約ができます。

## 2. [//]をタッチ

タイマー充電設定 1

保存

開始時刻 2:00

停止時刻 4:00

曜日 日 月 火 水 木 金 土

現在時刻 00:40 (木)

項目	機能・操作説明
[保存]	設定を保存します。
[開始時刻]	充電を開始する時刻を設定します。
[停止時刻]	充電を停止する時刻を設定します。
[曜日]	タイマー充電を行う曜日を設定します。

## 3. パワースイッチの電源モードを OFF にし、充電ケーブルを接続する

パワースイッチの電源モードを OFF にする方法、充電ケーブルの接続方法については、車両の取扱説明書をお読みください。

## タイマー充電について

- タイマー充電を予約した後は、必ずパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。  
パワースイッチの電源モードが ON または ACC 状態になっていると、予約した充電開始時刻になっても充電は開始されません。  
パワースイッチの電源モードを OFF にする方法、充電ケーブルの接続方法については、車両の取扱説明書をお読みください。
- 設定した時間が充電に必要な時間より短いと、満充電まで充電されないことがあります。  
すぐに充電をしたい場合は、今すぐ充電をお使いください。今すぐ充電の詳細な操作については、車両の取扱説明書をお読みください。
- 充電施設によっては、時間帯によって電源を ON/OFF するタイマー機能を持つものがあります。このような充電施設で充電を行う場合は、充電施設の電源が ON になる時間内でタイマー充電時刻を設定するようにしてください。  
タイマー充電中にタイマー充電の設定を変更した場合、変更内容は即時反映され、一度充電が停止します。その後パワースイッチの電源モードを OFF にすると、新しいタイマー設定に従って充電を開始あるいは待機します。

# タイマー機能

- タイマー充電の予約設定、今すぐ充電の開始はスマートフォンアプリからも操作できます。サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。お手続きや詳細は、当社専用 Web サイトをご確認ください。

➡ MITSUBISHI CONNECT サービスとは (P.100)

## タイマーエアコン

あらかじめ室内を快適な温度にすることで、エアコンの使用による駆動用バッテリーの電力消費量を減らすことができます。

## タイマーエアコンを設定する

### ⚠ 警告

- タイマーエアコンを設定しても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残さないでください。
- 炎天下では、密閉した車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状などを引き起こすおそれがあります。また外気温が低い場合は、車内の温度が急速に下がるおそれがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

タイマーエアコン画面で出発予定時刻を設定すると、設定した出発時刻までに暖房または冷房が作動し、室内を設定した温度にします。



曜日別の設定が 3 パターンまで保存でき、一週間ごとに繰り返すので、毎回設定する必要はありません。

### 1. ランチャーメニューの [ 𠂔 ] → [EV] → [タイマーエアコン] をタッチ




⊙ タイマーエアコン		⏪	⏩
設定温度	- 25.0 °C +	⏪	⏩
1 出発時刻	0:00	<input checked="" type="checkbox"/>	✎
日 月 火 水 木 金 土			△
2 出発時刻	0:00	<input type="checkbox"/>	✎
日 月 火 水 木 金 土			🎵
3 出発時刻	0:00	<input checked="" type="checkbox"/>	✎
日 月 火 水 木 金 土			📞
			𠂔

専用機能★

# タイマー機能

項目	機能・操作説明
[−]/[+]	温度を設定します。
[  ](タイマー設定)	点灯すると、タイマーが ON になります。
[  ]	タイマーエアコン画面を表示します。タイマーを設定する開始 / 終了時刻と曜日を設定してください。

## 2. []をタッチ






 タイマーエアコン設定 1



保存

出発時刻
12:00

曜日
日月火水木金土

現在時刻
00:40 (木)

項目	機能・操作説明
[保存]	設定を保存します。
[出発時刻]	設定温度に到達する時刻を設定します。
[曜日]	タイマーエアコンを行う曜日を設定します。

## 3. 設定が完了したら、パワースイッチの電源モードを OFF にする

パワースイッチの電源モードを OFF にする方法については、車両の取扱説明書をお読みください。

タイマー設定が消灯していると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日は消去されません。再度、タッチして点灯させると、現在の設定条件でタイマーエアコンの予約ができます。

## タイマーエアコンについて

- タイマーエアコンを予約した後は、必ずパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。パワースイッチの電源モードが ON になっていると、予約した開始時刻になってもエアコンが作動しません。パワースイッチの電源モードを OFF にする方法は、車両の取扱説明書をお読みください。
- タイマーエアコンは、設定した出発予定時刻までに車内が設定した温度になるように、エアコン作動開始時刻を自動で設定しています。また出発予定時刻になると、エアコンが停止します。設定した出発予定時刻よりも早くまたは遅れて車に乗り込むと、車内の温度が快適な温度になっていない場合があります。
- タイマーエアコンは電源電力を使用するため、外気温が高すぎたり低すぎたりして設定温度との差が大きいときや日射量が多いときは、性能が制限されて車内が設定した温度にならないことがあります。
- 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。

## タイマー機能

- 充電中にタイマーエアコンが作動すると、充電に必要な時間が延びることがあります。
- 外気温が高いときや低いときにタイマーエアコンを作動させると、駆動用バッテリーの充電量が低下することがあります。
- ヒートポンプ★非装着車では、冷房のみ使用できます。
- タイマーエアコンの出発時刻と曜日の予約設定はスマートフォンアプリからも操作できます。サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。お手続きや詳細は、当社専用 Web サイトをご確認ください。



➡ MITSUBISHI CONNECT サービス とは (P.100)

### 知識

- 外気温が  $-15^{\circ}\text{C}$  近くまで下がると、ヒートポンプ★が停止し暖房が使用できません。
- タイマーエアコン作動中でも設定した時刻を変更することができます。設定変更後にパワースイッチをOFFにすると、新しい設定が反映されます。

# EV 専用機能を設定する


## EV 設定

ランチャーメニューの [  ] → [EV] → [  ] をタッチ

設定項目を選びます。

表示される項目は、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

EV専用機能★

項目	機能・操作説明
[充電状態の通知]	[プラグ挿し忘れ通知地点] 充電プラグの挿し忘れを検知する地点を登録できます。[新規登録]をタッチすると、目的地の設定と同じ方法で挿し忘れ通知地点を探索、登録できます。
	[プラグ挿し忘れ通知確認時間] 充電プラグの挿し忘れを通知するタイミングを設定します。
	[プラグ挿し忘れ通知] パワースwitchの電源モードをOFFにした後、設定した確認時間が経過したとき、登録した場所で充電プラグの挿し忘れがあった場合はシステムが確認して、ID連携されたスマートフォンに通知します。
	[設定初期化] 登録した場所や確認時間などの設定が初期状態になります。
[充電スポット表示]	充電スポットアイコンの地図上表示を ON/OFF します。  地図上のアイコンから情報を見る (P.30)
[充電スポットアイコン表示設定]	地図上に表示する充電スポットアイコンの種類を [24 時間稼働]、[新規 / 更新情報あり]、[営業時間外]、[e-Mobility Power] から設定できます。 [営業時間外] は、隔週定休日、不定期な営業時間については対応していません。 登録地編集で設定した充電スポットのアイコンは、この手順で表示の ON/OFF はできません。
[充電スポット自動登録]	地図データに収録されていない充電スポットを利用したとき、自動的に登録地として保存します。自動登録する充電スポットは [急速充電]、[普通充電 (200V)]、[普通充電 (100V)] から選ぶことができます。充電スポットを自動登録したくないときは、全ての設定を OFF にしてください。
[充電スポット登録地]	充電スポットを登録し、繰り返し目的地として設定することができます。

## 充電状態の通知について

---

### プラグ挿し忘れ通知について：

- 設定した時間を迎えたときに充電プラグの挿し忘れがあった場合は通知します。
- 設定した時間を過ぎてしまうと、その後に充電プラグが抜けても通知されません。
- 普通充電コネクタがきちんと挿しこまれていない（半勘合）場合にも通知されます。
- 車両が電波の届かない場所にある場合は通知されません。
- 充電プラグが抜けた理由は確認できません。
- パワースイッチの電源モードが ON のときは通知されません。

## MEMO

□＜専用機能★

# ナビゲーション

## 地図表示について

現在地の地図表示	P.40
マップメニューを表示する	P.42
地図上のマークや記号について	P.42
地図表示の設定	P.43
施設情報を見る	P.45

## 目的地を探す

目的地検索画面	P.46
施設ジャンル一覧	P.49
検索結果の絞込み	P.51

## ルートを設定する

ルート探索結果の見かた	P.52
-------------	------

## ルートを編集・変更する

現在のルートを編集する	P.56
ルート探索条件メニュー	P.57
ルートガイドを中止する	P.58

## ルートメニューを使う

ルートメニュー一覧	P.59
-----------	------

## ナビゲーションを使いこなす

ナビゲーション設定メニュー	P.60
登録地を編集する	P.62
回避エリアの登録と編集	P.63
セーフティガイドを設定する	P.64

## 交通情報を使う



VICS について	P.65
VICS FM 多重情報を見る	P.66
VICS の設定をする	P.67

## ETC の各機能を確認・設定する

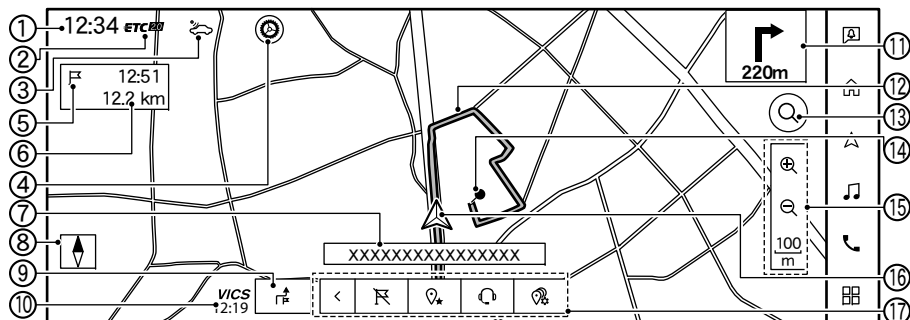
確認・設定のしかた	P.68
-----------	------

# 地図表示について

## 現在地の地図表示

ランチャーメニューの[  ]をタッチすると、地図画面を表示します。地図画面をタッチするとカーソル(  )が表示され、画面の中心になるように地図が移動します。

走行中は、安全のため微調整はできません。  
説明のため画面は白地図を使用しています。




### ① 時計

現在時刻を表示します。12 時間 /24 時間表示を切り替えることができます。タッチすると時計を設定できます。


### ② ETC アイコン


ETC が使用可能なときに表示されます。

 ETC の各機能を確認・設定する (P.68)

### ③ Telematics Control Unit アイコン

MITSUBISHI CONNECT サービスの受信状態を表示します。

電波の受信状態が良好なときに  が表示されます。

 MITSUBISHI CONNECT サービス (P.100)

### ④ [ ]

ナビゲーション設定メニューを表示します。

 ナビゲーション設定メニュー (P.60)

### ⑤ 到着予想時刻 / 予想残り時間

目的地までの到着予想時刻または予想残り時間を表示します。

 地図表示の設定 (P.43)

経由地を設定しているときにタッチすると経由地の到着予想時刻または予想残り時間表示に切り替えることができます。

### ⑥ 目的地 / 経由地までの距離

目的地 / 経由地までの距離を表示します。

### ⑦ 現在地の情報

状況に応じて、以下の情報が表示されます。


- 自車位置付近の地名
- 走行中の道路の名称
- 次に通過する交差点の名称


### ⑧ 方位マーク

地図の方向を示します。タッチすると、地図の向きを進行方向を上、または北を上に変えることができます (2D ビュー時のみ)。また、2D ビューと 3D ビューを切り替えることができます。


### ⑨ [ ] [ ] [ ]

目的地メニューまたはルートメニューを表示します。

 目的地検索画面 (P.46)

 ルートメニュー一覧 (P.59)

地図を動かしたときにタッチするとマップメニューを表示します。

 マップメニューを表示する (P.42)

### ⑩ VICS の受信時刻

VICS 受信時刻を表示します。

# 地図表示について

## ⑪ 簡易右左折表示

次に曲がる交差点までの距離と、曲がる方向を示します。

## ⑫ ガイド中のルート

目的地までの経路を示します。

## ⑬ [Q] [I] [P]

[Q]:MITSUBISHI CONNECT サービスに未加入、または電波状況が不安定な場合、キーワード検索が使用できます。

[P]:MITSUBISHI CONNECT サービスに加入していて電波状況が良好な場合、Places API(Google による検索)が使用できます。

## 🔍 目的地検索画面 (P.46)

## 🔍 MITSUBISHI CONNECT サービス (P.99)

## ⑭ ガイド地点

ルートガイドが行われる地点をアイコンで表示します。

## ⑮ 縮尺サイズ

地図の縮尺を調整します。

現在の縮尺が表示されている部分をタッチすると、[+]および[-]が非表示になります。

## ⑯ 自転車マーク

自転車位置と進行方向を示します。

## ⑰ 地図ショートカットメニュー

目的地消去と自宅への目的地設定に加え、各種操作ができるショートカットを表示します。

## 📄 地図ショートカットメニューについて (P.41)

### 📖 アドバイス

- ピンチイン / ピンチアウトで地図の縮尺を変えた場合は、地図画面上の [🔄] をタッチするか、ランチャーメニューの [🏠] をタッチすると元の縮尺に戻ります。
- 地図を拡大すると建物などがより詳しく表示されます (市街地図)。

## 📄 地図ショートカットメニューについて

地図画面下部に、いろいろなナビ操作ができるショートカットメニューが表示されます。目的地設定前に [🏠] (自宅への目的地設定)、目的地設定後に [🗑️] (目的地消去) が表示され、その他はお好みのメニュー項目を設定できます。[>] または [<] をタッチして表示 / 非表示を切り替えることができます。

■ 地図ショートカットメニューの編集  
地図ショートカットメニューのアイコンを長押し

編集画面が表示されます。

- [x] をタッチすると、ショートカットを削除します。
- ショートカットを長押ししながらドラッグすると、移動ができます。
- [追加] または [+] をタッチすると、ショートカットの追加ができます。

項目	表示アイコン
[職場]	
[交通情報表示]	
[交通情報の設定]	
[施設アイコンの表示]	
[ここを登録]	
[オペレータ接続]	
[施設カテゴリーから]	(※)

※:[施設カテゴリーから]で詳細なカテゴリーを選択すると、選んだカテゴリーのアイコンが地図ショートカットメニューに表示されます。

### 📖 知識

- 編集画面は、追加・削除が可能なアイコンを長押ししたときのみ表示されます。
- ランチャーメニューの [🏠] → [🔄] → [地図表示設定] → [地図ショートカットメニュー編集] をタッチしても編集画面を表示できます。

# 地図表示について










## マップメニューを表示する

カーソル (  ) が表示されているときに [  ] または [  ] をタッチすると、マップメニューを表示します。

項目	機能・操作説明
[ここへ行く]	カーソルの地点を目的地に設定します。
[ここをルートに追加]	カーソルの地点をルートに追加します。
[周辺施設を検索]	カーソル地点周辺の施設を検索し、目的地や経由地に設定します。
[消去]	カーソルを合わせた登録地を消去します。登録地にカーソルを合わせたときのみ選択できます。

## 地図上のマークや記号について

### 地図上のマークや記号



記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	自転車マーク		高速道路入口		高速道路出口
	目的地		一方通行マーク (市街地図のみ)		ガイド地点 (ルートガイドが行われるポイント)
	経由地 (番号は経由する番号)		登録地		カーソル (施設アイコンにあわせると施設情報を表示)

# 地図表示について

## ガイド中のルート、道路、鉄道など

表示例			
道路の表示色	道路の種類	鉄道の表示色	鉄道の種類
黄	ガイド中のルート	黒	鉄道 (JR)
青	有料・高速道路	紫	鉄道 (私鉄)
赤紫	国道		
緑	県道・主要地方道路		
薄茶	一般道		

## 地図表示の設定

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 地図表示設定 ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[地図の向き]	地図を表示させる向きや 3D ビュー / 北を上 / 進行方向を上 に切り替えます。
[自車位置を中心に表示]	自車位置を中心に表示するかを ON/OFF します。
[施設アイコン]	地図上に表示する施設アイコンの ON/OFF を設定します。 充電スポットのアイコンや VICS 情報を含む駐車場のアイコンの ON/OFF は、別の設定項目で設定する必要があります。 ➡ <a href="#">EV 設定 (P.36)</a> ➡ <a href="#">VICS の設定をする (P.67)</a>
[交通情報・VICS の設定]	VICS 情報の各種設定をします。 ➡ <a href="#">VICS の設定をする (P.67)</a>
[2画面設定]	2画面設定を ON/OFF します。
[2画面の右地図設定]	右画面の地図表示設定をします。

# 地図表示について

項目	機能・操作説明	
[ガイド中の常時表示設定]	[常時表示解除]	ガイド地点から離れている場合、現在地の地図を表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。
	[交差点リスト]	ガイドする地点リストを表示し、ガイド地点（交差点など）に近づくと、交差点拡大図に切り替わります。ランチャーメニューの [△] をタッチすると表示を切り替えることができます。
	[交差点拡大図]	交差点などのガイド地点に近づくと音声と画面で表示ルートを案内します。ガイド画面を常に表示させるか設定ができます。ランチャーメニューの [△] をタッチすると表示を非表示にできます。
[ガイド時の設定]	[ハイウェイモードの自動表示]	高速道路走行中のハイウェイ情報画面の自動表示の ON/OFF を設定します。
	[到着予想時刻の表示]	到着予想時刻の表示の ON/OFF を設定します。 OFF のときは、予想残り時間を表示します。
	[経由地までの予想時刻の表示]	ON にすると、経由地までの予想時刻を表示します。
	[目的地提案設定]	過去の目的地設定の傾向を考慮し、起動時に設定する目的地を提案する機能を ON/OFF 設定します。目的地提案情報の消去もできます。
[オーディオ情報]	地図画面上のオーディオ表示の ON/OFF を設定します。 オーディオ表示をタッチするとオーディオ画面を表示できます。	
[現在地点の表示]	地図画面上の現在地情報表示の ON/OFF を設定します。	
[地図ショートカットメニュー編集]	地図ショートカットメニューの編集ができます。 ➡ 地図ショートカットメニューについて (P.41)	
[昼モードの地図色]	地図色を黒地図・白地図から選択できます。	
[地名]	地図上に表示する地名の表示 ON/OFF を設定します。	
[施設名]	地図上に表示する施設名の表示 ON/OFF を設定します。	
[道路名]	地図上に表示する道路名の表示 ON/OFF を設定します。	
[交差点名]	地図上に表示する交差点名の表示 ON/OFF を設定します。	

# 地図表示について


項目	機能・操作説明
[地図文字サイズ]	地図上の文字の大 / 中 / 小を設定します。
[走行軌跡]	走行軌跡表示の ON/OFF を設定します。
[走行軌跡記録間隔]	走行軌跡表示の間隔を設定します。
[スクロール地点情報表示]	スクロール地点の各情報表示の ON/OFF を設定します。
[現在地修正]	現在地を修正できます。
[都市内高速入口ビュー]	都市内の高速道路の入口を立体的な画像で表示します。
[一般道の方面看板表示]	一般道を走行しているときの方面看板の表示方法を選べます。
[通過交差点の情報表示]	通過する交差点の情報（交差点名称、レーンガイド、信号機など）の表示方法を選べます。

## 知識

- ナビゲーションシステムは、車の情報（車速・ジャイロセンサー）と人工衛星の情報（GPS）を組み合わせ、自車の現在地を計算し、地図上に表示することで、目的地までのルート案内をしています。
- 現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自車位置を修正してください。

## 施設情報を見る

地図上のマークや記号にカーソルを合わせていろいろな情報を表示できます。

地図上にコンビニエンスストアなどの施設アイコンが表示されているときに、施設アイコンにカーソル（）を合わせると施設情報を表示します。

[ここへ行く] をタッチして、目的地に設定できます。

[詳細情報] をタッチするとさらに詳しい情報を表示します。

## 知識

- 情報データが収録されていない場合は表示されません。
- 複数施設がある場合、[<]、[>] をタッチして施設を切り替えることができます。

# 目的地を探す

## 目的地検索画面

いろいろな方法で目的地を探せる目的地メニュー画面を表示します。目的地メニューは編集することができます。

🔍 目的地メニュー画面の編集 (P.51)

ランチャーメニューの[△]→[🔍]をタッチ

表示される項目は、条件やソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

<目的地設定メニュー例>

項目	機能・操作説明
[キーワード検索]	MITSUBISHI CONNECT サービスに未加入、または電波状況が不安定な場合、表示されます。 施設名や住所の他、目的地に関連するワードを入力して目的地を検索します。 住所、施設名など複数のキーワードを入力するときは、「映画館 横浜」のようにワード間にスペースを入力してください。
[Places API]	MITSUBISHI CONNECT サービスに加入していて電波状況が良好な場合、表示されます。 Places API の結果から目的地設定ができます。
[自宅]	あらかじめ設定した自宅を目的地に設定します。自宅が未登録の場合はメッセージが表示されます。
[履歴]	以前の目的地履歴から目的地を設定します。[目的地履歴の消去]をタッチすると履歴を消去することができます。

## 目的地を探す

項目	機能・操作説明	
[その他の目的地設定メニュー]	[住所]	住所を入力して目的地を設定します。
	[施設ジャンル]	施設ジャンルから目的地を設定します。 ➡ 施設ジャンル(例)(P.49)
	[登録地]	あらかじめ登録した場所を目的地に設定します。 [新規登録]をタッチすると新しく登録地を設定できます。
	[充電スポットを探す]	充電スポットを目的地に設定します。
	[職場]	あらかじめ設定した職場を目的地に設定します。 職場が未登録の場合はメッセージが表示されます。
	[登録ルート]	登録ルートを使用して目的地設定をします。 ➡ ナビゲーション設定メニュー(P.60)
	[電話番号]	電話番号から目的地を設定します。
	[地図]	地図画面から目的地を設定します。
[緯度経度]	緯度・経度を入力して目的地を設定します。	
[登録地]	あらかじめ登録した場所を目的地に設定します。 [新規登録]をタッチすると新しく登録地を設定できます。	
[住所]	住所を入力して目的地を設定します。	
[電話番号]	電話番号から目的地を設定します。	
[施設ジャンル]	施設ジャンルを選択して目的地を設定します。	
[総合スーパー・スーパーマーケット]	総合スーパー・スーパーマーケットを目的地に設定します。	
[薬局・薬店・ドラッグストア]	薬局・薬店・ドラッグストアを目的地に設定します。	
[コンビニエンスストア]	コンビニエンスストアを目的地に設定します。	
[ファミリーレストラン]	ファミリーレストランを目的地に設定します。	
[コーヒーショップ・専門店]	コーヒーショップ・専門店を目的地に設定します。	

## 目的地を探す

項目	機能・操作説明
[ファストフード]	ファストフードを目的地に設定します。
[職場]	あらかじめ設定した職場を目的地に設定します。
[総合病院]	総合病院を目的地に設定します。
[駐車場]	駐車場を目的地に設定します。
[カー用品]	カー用品を目的地に設定します。
[三菱販売店]	三菱販売店を目的地に設定します。
[空港]	空港を目的地に設定します。
[ゴルフ場・ゴルフ練習場]	ゴルフ場・ゴルフ練習場を目的地に設定します。
[地図]	地図画面から目的地を設定します。
[緯度経度]	緯度・経度から目的地を設定します。

# 目的地を探す

## 施設ジャンル一覧

施設ジャンルから目的地を設定します。  
ランチャーメニューの[△]→[R]→[施設ジャンル]をタッチ

## 施設ジャンル(例)

[施設ジャンル]から以下のような項目が選べます。  
選べるジャンルは、地図更新などにより変更されることがあります。

- 観る・遊ぶ
- 食べる・飲む
- 買い物・店
- 泊まる
- 交通機関
- 銀行・学校・役所
- クルマ関連施設
- 病院・福祉施設
- 神社・教会・寺院・式場

ジャンルによっては、ジャンルを選ぶとさらに詳細な項目が選べます。

### <ジャンル選択例>

観る・遊ぶ	遊園地・テーマパーク
	動物園・水族館・植物園
	温泉・お風呂
	ゴルフ場・ゴルフ練習場
	公園
	ビューポイント
	観光名所
	自然景観地
	スポーツ施設

	スキー・スノボ場ほか
	マリンスポーツ
	モータースポーツ・サーキット場
	スタジアム
	ビーチ・海水浴場・海岸
	キャンプ場
	つり
	マリーナ・ヨットハーバー
	遊覧・フェリー
	ボウリング・カラオケ・パチンコほか
	映画館
	ライブハウス
	劇場・寄席
	美術館・画廊
	博物館・科学館ほか
	花火大会
	花の名所
	くだもの狩り
	生物観察ポイント
	プラネタリウム
	観光案内・販売
	競馬・競輪ほか
食べる・飲む	ファミリーレストラン
	ファーストフード
	すし店
	うどん・そば
	肉料理
	ステーキハウス
	カレーハウス
	ラーメン
	パスタ
	コーヒーショップ・専門店

	お好み焼き・鉄板焼ほか
	和食・海鮮料理
	割烹・懐石
	フランス料理
	イタリア料理
	中華料理
	各国料理
	郷土料理
	喫茶店・甘味処
	ドライブイン・道の駅
	ピザ
	お弁当
	飲み屋
買い物・店	コンビニエンスストア
	総合スーパー・スーパーマーケット
	デパート
	アウトレットモール・ショッピングセンター
	薬局・薬店・ドラッグストア
	ホームセンター
	ディスカウントストア
	100円ショップ
	家電製品・量販店
	携帯電話ショップ
	レンタルショップ
	CD・DVD・ビデオ
	本・書店
	衣料品店
	スポーツ用品
	マリンスポーツ
	おもちゃ・ゲーム・子供用品

# 目的地を探す

	ケーキ・お菓子・パン・アイス
	食材・食料品・酒店
	お弁当
	クリーニング
	美容・理容・アロマ
	めがね・コンタクト
	時計・アクセサリ
	かばん・靴
	日用品・雑貨品・文具
	インテリア用品・家具ほか
	リサイクルショップほか
	カー用品
	自転車店
	住まい
	宝くじ・スポーツくじ販売
	プレイガイド・金券
	つり・趣味の店
	ペット
	花・園芸
	オーディオ・楽器
	写真館
	観光案内・販売
	ドライブイン・道の駅
	みやげ・郷土品
	朝市・夕市・定期市
	仏壇・仏具・墓石
泊まる	ホテル
	旅館
	温泉・お風呂
	ビジネスホテル
	公共の宿
	民宿
	ペンション
	他の宿泊施設

交通機関	駅
	空港
	フェリー
	ドライブイン・道の駅
銀行・学校・役所	都市銀行
	地方銀行
	ゆうちょ銀行
	学校
	役所
	郵便局
	信用金庫
	信用組合
	その他金融機関
	図書館
	塾・スクール・習い事
	運転免許試験場
	ホール・会館
	公民館・集会所
	警察署
	消防署
	保健所
	年金事務所
	税務署
	法務局
	裁判所
	外国公館
	大使館・領事館
クルマ関連施設	三菱自動車販売店
	ガソリンスタンド
	充電スポット
	駐車場
	カー用品 洗車場

	ドライブイン・道の駅
	レンタカー
	三菱中古車販売
	その他中古車販売・買取
	その他自動車販売
	モータースポーツ・サー
	キット場
	運転免許試験場
	自動車教習所
	板金・塗装
	自動車整備・解体
	ロードサービス
JAF	
代行サービス	
オートバイ関連	
公衆トイレ	
病院・福祉施設	総合病院
	病院・医院・療養所
	専門病院
	はり・きゅう・マッサージ・ 整体
	介護・福祉施設・老人ホーム
	リハビリ・ホスピス
	動物病院
神社・教会・寺院・式場	神社
	教会
	仏教教会
	寺院
	結婚式場
	葬祭場・霊園 ホール・会館

# 目的地を探す

## 目的地メニュー画面の編集

目的地メニュー画面の項目を長押しすると、表示項目を編集することができます。  
[追加]をタッチするとお好みの検索方法を追加でき、表示項目を長押ししながらドラッグすると、移動ができます。  
[x]をタッチすると削除ができます。

- 以下の項目は削除できません。
  - [キーワード検索から]
  - [Places API]
  - [自宅]
  - [履歴]
  - [その他の目的地設定メニュー]

### 知識

- 目的地検索結果画面に表示される距離は直線距離を表し、実際の走行距離と異なります。

## 検索結果の絞り込み

施設の検索結果リストで [オプション] をタッチすると、リストの表示方法が選べ、[絞り込み]をタッチすると詳細な施設ジャンルが選択できます。

目的地の検索方法により表示される項目は異なります。

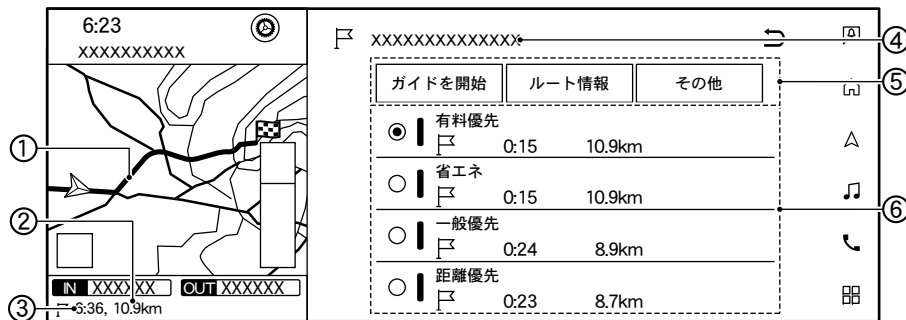
項目	機能・操作説明
[ルート沿い]	目的地が設定されている場合、ルート沿いの検索結果を表示します。
[目的地周辺から探す]	目的地が設定されている場合、目的地周辺の検索結果を表示します。
[地域を指定する]	地域を指定して絞り込みます。
[現在地周辺から探す]	現在地周辺の検索結果を表示します。
[並び替え]	読み順または関連度順で並び替えます。

# ルートを設定する

## ルート探索結果の見かた

目的地を設定したら、ルートガイドを始める前に、ルートの確認や他のルートの選択、施設情報の確認などができます。  
経由地を設定しているときは、ルートを変更できません。

## ルート探索結果画面



### ① 目的地までのルート

### ② 目的地までの距離

現在地から、目的地までの距離を表示します。

経由地を設定している場合、一番近い経由地までの距離を表示することもあります。

### ③ 目的地に到着する予想時間

目的地に到着する予想時間を表示します。

経由地を設定している場合、一番近い経由地に到着する予想時間を表示することもあります。

### ④ 目的地の情報

目的地の登録名称、施設名称、住所などを表示します。

# ルートを設定する

## ⑤ 操作メニュー

項目	機能・操作説明	
[ガイドを開始]	目的地までのルートガイドを開始します。ルート探索結果を表示したまま、しばらくナビゲーションシステムの操作をしないと、自動的にガイドを開始します。	
[ルート情報]	走行する道路の種類や距離、目的地への到着予想時刻などを表示します。道路をタッチすると回避道路に設定でき、[再探索]をタッチして指定した道路を通らないルートに修正できます。 [解除]をタッチすると、回避道路設定を解除して元のルートに戻ります。	
[その他]	[行き先の追加]	目的地、経由地の追加をします。
	[位置を修正]	設定した目的地位置の微調整ができます。
	[情報を見る]	施設情報を確認できます。施設情報がない場合は表示されません。
	[現在のルートを登録]	現在設定しているルートを登録します。 経由地を含むルート設定をしているときのみ登録できます。ルートの登録は地点や探索条件のみが登録されるため、前回と異なるルートを表示することがあります。
	[ここを登録]	カーソルの地点を登録地に設定します。
	[複数ルート探索条件]	ルート探索結果画面に表示されるルート条件を設定します。 [探索条件別]：ルート探索条件別に複数のルートを表示します。 [同一探索条件]：現在選択しているルート探索条件と同じ探索条件で複数のルートを表示します。

# ルートを設定する

## ⑥ ルート探索結果

設定したいルートを選びます。

経由地を設定しているときは、区間ごとのルート探索条件を変更できます。

項目	条件
[有料優先]	有料道路を優先して使用するルートです。
[省エネ]	勾配の多い道や走行速度の速い道路を避けた、燃費や消費電力を考慮したルートです。
[一般優先]	航続時間を考慮しつつ有料道路を使わないルートです。
[距離優先]	一般道路を優先した、距離の短いルートです。(VICS 情報は規制情報のみ考慮します。)

### 知識

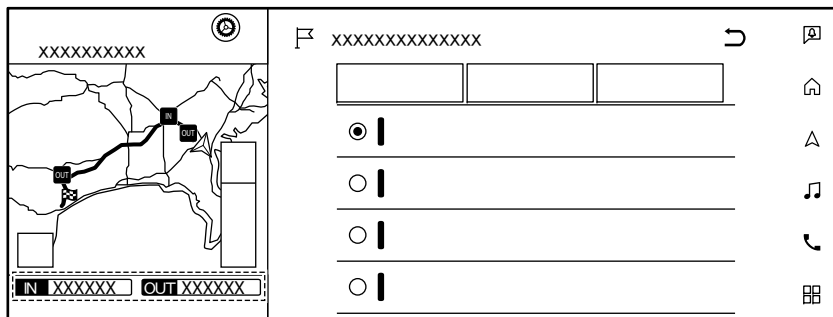
- 都市間高速（東名高速、中央道、名神高速など）、都市内高速（首都高速など）や、それらに接続される一般有料道路（東日本高速道路（株）、中日本高速道路（株）、西日本高速道路（株）管理）がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、料金は目安です。

# ルートを設定する

## 有料区間の修正をする

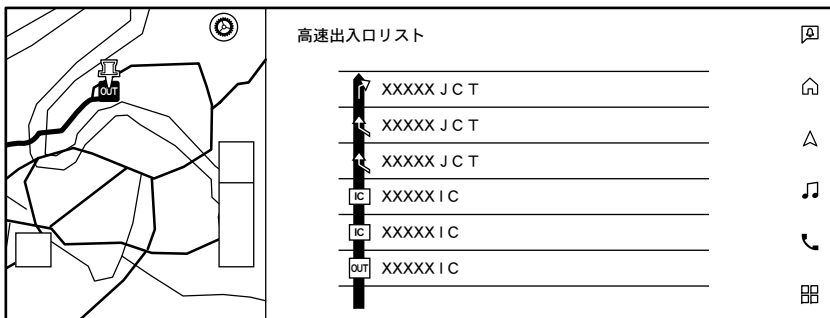
ルートに有料道路がある場合、出入口を変更して区間の修正ができます。

1. ルート探索結果から有料道路の入口または出口をタッチ



2. お好みの有料道路出入口をタッチ

出入口を変更して区間を修正します。



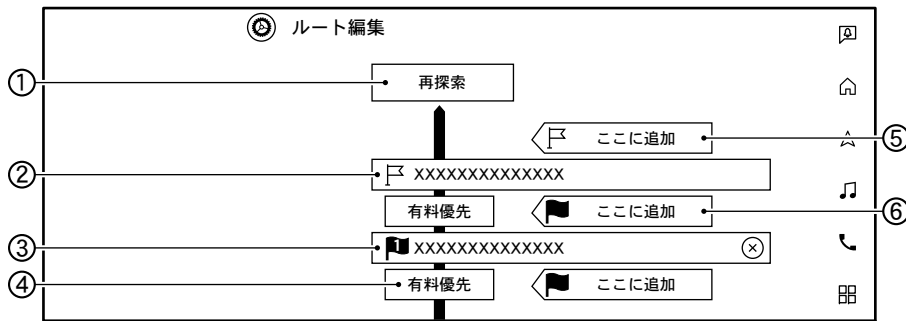
## 知識

- ルート上の最初の有料道路入口と最後の出口のみ変更可能です。ルート内にジャンクションがある場合は、ジャンクションを選ぶと他路線の出入口を選べます。

# ルートを編集・変更する

## 現在のルートを編集する

ルートガイド開始後に、ルートの目的地や経由地、探索条件を変更できます。  
ランチャーメニューの[△]→[📍]→[ルート編集]をタッチ



### ① [再探索]

編集した内容で再度ルート探索を行います。

### ② 目的地

消去や到着順の変更、位置の修正などができます。

### ③ 経由地

消去や到着順の変更、位置の修正などができます。[×]をタッチしても消去できます。

### ④ 区間探索条件

目的地 / 経由地までのルートについてルート探索の条件を変更できます。

### ⑤ [📍 ここに追加]

目的地を追加します。目的地を新たに追加した場合、設定済みの目的地が経由地となります。

### ⑥ [🚩 ここに追加]

経由地を追加します。

## 知識

- ルートが設定されているときに地図ショートカットメニューの[🗑️]→[1件消去]をタッチすると、目的地または経由地を削除できます。



# ルートを編集・変更する

## ルート探索条件メニュー

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ ルート探索条件 ] をタッチ  
ルート探索条件メニューからルート探索条件を変更することができます。


項目	機能・操作説明
[探索条件]	ルート探索条件を設定します。有料道路、一般道路優先などの条件を設定します。
[複数ルート探索条件]	ルート探索結果画面に表示されるルート条件を設定します。 [探索条件別]: ルート探索条件別に複数のルートを表示します。 [同一探索条件]: 現在選択しているルート探索条件と同じ探索条件で複数のルートを表示します。
[未舗装道路を使う]	未舗装の道路を考慮してルートを探します。
[フェリー航路を使う]	フェリー航路の使用を考慮したルートを探します。
[学習したルートを使う]	よく利用する道路を考慮したルート探索をします。ただし、リアルタイム交通情報を考慮している場合や、時間規制道路を回避するに設定している場合にはルートを学習しづらくなることがあります。
[時間規制道路]	ルート検索時に規制のある曜日、時間を考慮します。
[冬季通行止め]	ルート検索時に規制時期を考慮します。
[回避エリアを通らない]	設定した回避エリアを考慮してルートを探します。
[横付け考慮]	目的地が進行方向になる(横付けできる)ように考慮してルートを探します。
[スマートICを考慮]	スマート IC を考慮したルートを探します。

### 知識



- ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ ナビゲーション ] → [ ルート探索条件 ] をタッチしてもルート探索条件を変更できます。
- [探索条件] で [一般優先] をタッチしても、目的地を有料道路上 (SA・PA など) や、有料道路を通らないと到着できない場所 (本州→四国、九州など) に設定すると有料道路を通るルートを探る場合があります。
- [探索条件] の [距離優先] は一般道を優先するため、有料道路を優先したルートより距離が長くなる場合があります。
- 時間指定の一方通行規制は、[時間規制道路] の設定をしても、ルートの探索に加味されません。

## ルートを編集・変更する

### ルートガイドを中止する



ルートが設定されているときに地図ショートカットメニューの [  ] → [ 全て消去 ] をタッチ  
目的地や経由地を消去し、ルートガイドを中止します。

#### 知識









- ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 目的地消去 ] でもルートを消去できます。

# ルートメニューを使う

## ルートメニュー一覧

ルート設定後にランチャーメニューの [  ] → [  ] をタッチ






ルートメニュー画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[目的地設定]	目的地を設定します。  目的地検索画面 (P.46)
[目的地消去]	設定している目的地を消去します。経由地を設定している場合は1件消去または全消去ができます。
[ルート情報]	走行する道路の種類や距離、目的地への到着予想時刻などを表示します。 道路をタッチすると [回避道路に選択] → [再探索] をタッチして指定した道路を通らないルートに修正できます。
[ルート探索条件]	ルートの探索条件を設定します。  ルート探索条件メニュー (P.57)
[再探索]	現在地から目的地までのルートを再探索します。
[目的地表示]	目的地を地図画面上に表示し、位置の修正や周辺施設の検索などができます。
[ルート編集]	ルートの編集をします。目的地、経由地の追加や条件の変更などができます。  現在のルートを編集する (P.56)
[迂回路探索]	迂回距離を設定し、迂回路を探索します。渋滞や工事中の道避けるときなどに使用します。 迂回距離を設定している場合、[解除] をタッチすると迂回距離設定を消去できます。
[ガイド音声]	ルートガイドの音声を設定します。
[現在のルートを登録]	現在設定しているルートを登録します。 経由地を含むルート設定をしているときのみ登録できます。ルートの登録は地点や探索条件のみが登録されるため、前回と異なるルートを表示することがあります。
[地図スクロール]	地図を動かしてルートを確認できます。
[ルートシミュレーション]	設定ルートで実際に走行した場合のシミュレーションを表示します。 [  ] [  ] [  ] で一時停止や再生など、[  ] [  ] で再生速度の変更ができます。

# ナビゲーションを使いこなす

## ナビゲーション設定メニュー

ランチャーメニューの[  ]→[  ]をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明	
[地図表示設定]	地図表示を設定します。  <a href="#">地図表示の設定 (P.43)</a>	
[ルート探索条件]	さまざまな条件でルート探索ができます。  <a href="#">ルート探索条件メニュー (P.57)</a>	
[ガイド音声設定]	ルートガイドの音声を設定します。	
[ユーザー登録情報編集]	[降車後ナビとの連携]	スマートフォンアプリとの連携設定を ON/OFF します。 停車後にスマートフォンアプリで目的地までナビをします。 MITSUBISHI CONNECT スマートフォンアプリは、App Store または Google Play™ でダウンロードし、ID とパスワードの登録を完了しておく必要があります。
	[自宅]	自宅、職場、登録地の登録や編集、消去ができます。  <a href="#">登録地を編集する (P.62)</a>
	[職場]	
	[登録地]	
	[登録ルート]	登録ルートの名称変更・入れ替え・消去ができます。[現在のルートを登録]をタッチすると現在設定しているルートを登録します。経由地を含むルート設定をしているときのみタッチできます。
	[回避エリア]	回避エリアの編集や消去をします。  <a href="#">回避エリアの登録と編集 (P.63)</a>
	[各登録情報の消去]	登録情報を項目に応じて削除できます。
[セーフティガイドの設定]	セーフティガイドの各種設定をします。  <a href="#">セーフティガイドを設定する (P.64)</a>	



## ナビゲーションを使いこなす

項目	機能・操作説明
[設定を初期状態に戻す]	ナビゲーションの設定を初期状態に戻します。登録した場所やルートなどは、初期状態に戻しても消去されません。

# ナビゲーションを使いこなす

## 登録地を編集する

登録地、自宅または職場は、名前の変更や電話番号の入力などの編集ができます。

1. ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ ユーザー登録情報編集 ] をタッチ
2. [ 自宅 ]、[ 職場 ] をタッチ、または [ 登録地 ] → 編集したい登録地をタッチ
3. [ 編集 ] をタッチし、編集後、[ 決定 ] をタッチ

編集できる項目	機能・操作説明
[地図表示]	地図上に登録地アイコンを表示または非表示にします。
[名称]	登録した施設などの名称を変更します。(登録地を選んだときのみ設定できます。)
[アイコン]	地図上に表示する登録地アイコンを選んで、変更します。
[アラーム音]	登録地に近づいたときにアラーム音を鳴らす設定をします。
[アラーム方向]	どの方向から登録地に近づくとアラーム音が鳴るかを設定します。 アラーム方向を未登録のときは、どの方向から近づいてもアラーム音が鳴ります。
[アラーム距離]	どのくらい登録地に近づいたらアラーム音が鳴るかを設定します。
[電話番号]	登録した場所の電話番号を入力できます。
[グループ]	登録した場所をグループ分けすることで、登録地リストの並び替えに利用できます。(登録地を選んだときのみ設定できます。)
[登録番号]	登録番号を設定します。(登録地を選んだときのみ設定できます。)

### 知識

- [ 位置を修正 ] をタッチすると位置の修正ができます。
- [ 消去 ] をタッチすると登録地を消去することができます。

## 回避エリアの登録と編集

通行止めや渋滞が多いなど、走行するのを避けたいエリアをあらかじめ登録できます。登録した回避エリアは、名前やサイズを変えるなどの編集ができます。

### 回避エリアを登録する

ランチャーメニューの[△]→[🌀]→[ユーザー登録情報編集]→[回避エリア]→[新規登録]をタッチして、場所を検索

[決定]をタッチすると回避エリアが登録されます。

### 回避エリアを編集する

ランチャーメニューの[△]→[🌀]→[ユーザー登録情報編集]→[回避エリア]をタッチ編集したい回避エリアを選びます。

項目	機能・操作説明
[名称変更]	登録した回避エリアの名称を変更できます。
[位置を修正]	回避エリアの位置を修正します。
[エリアサイズ変更]	回避エリアのサイズを変更します。
[有料道回避]	回避エリア内を通る有料道路も回避します。
[消去]	回避エリアを消去します。
[決定]	編集を完了します。

# ナビゲーションを使いこなす

## セーフティガイドを設定する

ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。

ランチャーメニューの[△]→[🌀]→[セーフティガイドの設定]をタッチ設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[踏み切りガイド]	踏み切りに近づいたとき、音声と踏み切りのマーク表示で案内します。 表示のタイミングを設定できます。
[合流ガイド]	高速道路で合流地点に近づいたときに、音声と合流のマーク表示で案内します。
[スクールゾーン警告機能]	小学校に近づいたときに、速度、ブレーキ、アクセルの状態に応じて音声と学校のマーク表示で案内します。
[安全運転メッセージ]	安全に関するメッセージを表示します。
[高速道路での逆走報知]	高速道路で逆走してしまったときに、音声と警告のマーク表示で案内します。
[一方通行表示]	地図上に一方通行マークの表示をします。

## 高速道路での逆走報知の例外について

以下のような場合、報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。

- 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近で逆走したとき。
- 周囲に分岐・合流のない本線道路上で Uターンしたとき。
- ダッシュボードの上に物を置いている、またはトンネル、高架橋下や高層ビル群地帯にいるなど、GPS 信号が正しく受信できないとき。
- 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自転車位置を表示できないとき。
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行しているとき。

### ⚠ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走してしまった場合は、安全を確保したうえで高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

# 交通情報を使う

## VICS について

本機ではVICSで提供された最新の情報を地図上に重ねて表示したり、文字や道路図などの形で画面に表示できます。

また、ルート探索機能と連動させてスムーズに通れそうなルートを探索できます。

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM 多重放送の定例放送休止日などの詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。URL: <https://www.vics.or.jp/>

## アドバイス

- VICS から提供される情報は参考情報であり、情報の収集、伝達処理などにより提供された情報が実際の状況と異なることがあります。

## 知識

VICS (Vehicle Information and Communication System)

- 事故や渋滞情報などをリアルタイムに提供する情報システムです。




本機では、VICS FM 多重情報が受信でき、VICS WIDE にも対応しています。



VICSは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

★/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## 交通情報表示

VICS 交通情報	交通状況：色
	渋滞：赤
	混雑：橙
	順調：緑

## VICS FM 多重情報を見る

FM 多重放送から受信した VICS 情報を表示します。

ランチャーメニューの [  ] → [VICS 情報] をタッチ

表示させたい情報を選びます。

項目	機能・操作説明
[VICS FM 多重情報]	渋滞情報を簡易図形、文字情報、現在地に近い区間からの所要時間情報、または緊急情報で表示します。また VICS WIDE 対応により、これまでの気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報（地震を除く）をポップアップで表示したり、大雨のエリアを表示したりできます。



## アドバイス

- 緊急情報は受信すると自動的に表示されます。
- FM 多重放送のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在位置付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM 多重放送は、FM の音声がステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM 多重放送の一般放送を受信した場合には、その後 VICS 情報（FM 多重）の表示に時間がかかる場合があります。

# 交通情報を使う

## VICS の設定をする

VICS の各種機能を設定します。

ランチャーメニューの[  ]→[  ]→[地図表示設定]→[交通情報・VICSの設定]をタッチ表示される項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[VICS表示の対象道路]	VICS 表示の対象道路を選択します。 選択した道路上の交通情報、SA/PA、駐車場などを表示します。
[VICS表示設定]	地図上で表示する VICS 情報を選択します。
[FM多重情報の受信地域選択]	FM 多重情報の受信地域を選択します。
[図形情報の自動割込み]	図形情報の自動割込み表示を ON/OFF します。
[プローブ情報設定]	プローブ情報の送信、プローブ情報の消去を設定します。
[ETC2.0受信音設定]	ETC2.0 車載器が情報を受信したときお知らせする受信音の ON/OFF を設定します。
[ETC2.0音声自動再生設定]	ETC2.0 車載器が受信した音声の自動再生の ON/OFF を設定します。
[ETC2.0プローブ情報設定]	ETC2.0 搭載車のプローブ情報の送信の ON/OFF を設定します。

## 知識

- 地図情報提供の対象外になっている道路や、情報提供の対象であっても情報が提供されていないか、不明と送信されている道路の情報は表示されません。


## プローブ情報とは

- プローブ情報とは車両の走行情報のことをいいます。
- プローブ交通情報はすべての地域およびすべての道路で表示されるわけではありません。
- [プローブ情報の送信]の ON/OFF は MITSUBISHI CONNECT 入会の有無にかかわらず可能です。

# ETC の各機能を確認・設定する

ETC の利用履歴やセットアップ情報の表示、各機能の設定などを行うことができます。  
ETC 情報は車種によっては表示されません。

## 確認・設定のしかた

ランチャーメニューの [  ] → [ETC 2.0 情報] \* をタッチ

項目	機能・操作説明
[VICS情報]	VICS 情報を表示します。
[ETC利用履歴]	利用日時や料金の利用状況を確認できます。
[ETC利用積算額]	ETC の利用積算額とその積算期間の表示や、初期化ができます。
[カード忘れの警告 設定]	[カード抜き忘れ警告]
	[カード入れ忘れ警告]
	[ルート探索時カード忘れ警告]
[セットアップ情報]	ETC ユニットのセットアップ時に必要な情報を表示します。
[ETC音声ガイド]	ETC システムを利用するとき、音声ガイドを行うか設定できます。
[アイコン表示]	ETC の利用準備が整っていることを表示するか設定できます。

## 知識

- ETC ユニットのセットアップ（ETC ユニットの利用可能にする手続き）されていない場合は、情報が表示されないものや動作しないものがあります。
- ETC 利用履歴は、最新 21 件までの利用状況を日時の新しい順に表示します。
- ETC 利用積算額は、あくまでも目安として活用してください。

# オーディオ

---

## オーディオ・テレビの基本操作

オーディオの設定	P.70
サウンドの設定	P.71
オーディオについて	P.73
オーディオ画面を表示する	P.73

## ラジオを使う

ラジオをきく	P.74
交通情報をきく	P.75

## USB・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオ・HDMI を使う

USB メモリ・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオを使う	P.76
USB について	P.79
iPod®/iPhone® について	P.80
Bluetooth® オーディオについて	P.80
HDMI 接続機器を使う	P.81

## テレビを見る

テレビを見る	P.82
テレビの設定をする	P.85




# オーディオ・テレビの基本操作

## オーディオの設定







ランチャーメニューの[  ] → [  ] をタッチ

設定項目を選びます。

表示される項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。



項目	機能・操作説明
[機器接続]	Bluetooth <sup>®</sup> 機器接続画面を表示します。接続されている接続機器の[  ] をタッチするとオーディオとして使用するBluetooth <sup>®</sup> 機器が切り替わります。  <u>機器接続画面の見かた (P.16)</u>
[ビデオオプション]	明るさ、コントラスト、黒レベル、画面サイズを調整します。
[サウンド]	サウンドメニュー画面を表示します。  <u>サウンドの設定 (P.71)</u>
[オーディオ音量]	[-] または [+] をタッチしてオーディオ、テレビの音量を調整します。
[オーディオソースパーの編集]	オーディオソースパーを編集します。

## 知識

- テレビ表示中に[  ] をタッチするとTV 設定画面を表示します。  
 テレビの設定をする (P.85)
  - HDMI映像表示中に[  ] をタッチすると明るさ、コントラスト、黒レベル、画面サイズを調整できます。
  - オーディオ音量の調整については、以下の方法でも調整できます。
    - <  /VOL > ダイヤルを回すと音量を調整します。
    - ボリュームの設定画面の [-] または [+] をタッチして調整します。
    - <  /VOL > ダイヤルを回すと表示されるボリュームバーの [-] または [+] をタッチして調整します。
-  コントロールパネル (P.8)


# オーディオ・テレビの基本操作

## サウンドの設定

ランチャーメニューの[  ] → [  ] → [ サウンド ] をタッチ

設定項目を選びます。

表示される項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明	デフォルト
[高音]	[-] または [+] をタッチして高音を調整します。	±0
[中音]	[-] または [+] をタッチして中音を調整します。	±0
[低音]	[-] または [+] をタッチして低音を調整します。	±0
[バスエンハンサー]	Bass enhancer のオン / オフを設定します。 ※ 低音域を増強する機能です。	オン
[フェーダー・バランス]	フェーダー・バランスの調整ができます。  フェーダー・バランスの設定 (P.73)	中央
[サブウーファーレベル]	[-] または [+] をタッチしてサブウーファーの音量を 0 ~ 6 で調整します。	3
[サウンドタイプ]	[Signature] [Lively] [Powerful] [Relaxing] から選ぶことができます。	Lively
[リスニングポジション]	[全席] [運転席] [助手席] [前席] [後席] をタッチして、座席に合わせた最適な音響で聞くことができます。	運転席
[サラウンド]	[オフ] [弱] [強] をタッチしてサラウンドを調整します。	オフ
[車速連動音量]	[-] または [+] をタッチして効果幅を設定します。 ※ 車の速度とともに大きくなる騒音で、音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。	2
[雨天連動音量]	[-] または [+] をタッチして効果幅を設定します。 ※ 雨量の増加とともに大きくなる騒音で、音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。ワイパー動作が高速（間けつ間隔が短い）時のみ作動します。	オフ

# オーディオ・テレビの基本操作

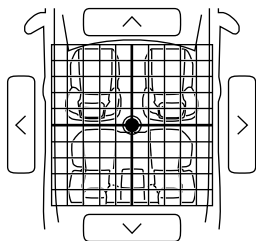
項目	機能・操作説明	デフォルト
[エアコン連動音量]	エアコン連動音量のオン/オフを設定します。 ※ エアコンの風量とともに大きくなる騒音で、音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。	オフ

## ■ サウンドタイプ

サウンドタイプ	サウンドの特徴	シーンや気分
Signature	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽器の音色が自然</li> <li>● ヴォーカルの艶やかさなどが際立つバランス</li> <li>● アーティストが音源に込めた想いを再現</li> </ul>	楽器の自然な音色や繊細さ、ヴォーカルの艶やかさが再現されているサウンドで、没入感高く音楽を聴き込みたい
Lively	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歯切れがよくパンチのある低音</li> <li>● 元気でメリハリのあるヴォーカル</li> </ul>	メリハリのある気持ち良いビートを感じながら、ウキウキと心弾む時間を過ごしたい
Powerful	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 力強く重量感のある低音</li> <li>● エネルギッシュで力強いサウンド</li> </ul>	エネルギッシュな力強いサウンドで、気分を変えたりストレスを発散したい
Relaxing	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 聞き疲れしない落ち着いたバランス</li> <li>● 会話や物思いをする際に邪魔にならない</li> </ul>	心地良いBGMとして落ち着いた雰囲気の中、車外の景色や同乗者との会話を楽しみたい

# オーディオ・テレビの基本操作

## フェーダー・バランスの設定



初期位置

オーディオ設定画面上で [↑][↓][←][→] をタッチして、フェーダー・バランスの調整ができます。

[初期位置] をタッチすると、フェーダー・バランスが中央に戻ります。

## オーディオについて

- 寒いときや雨降りのときは、本機内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフト（USBメモリなど）を取り外し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなど本機の温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。

## オーディオ画面を表示する

ランチャーメニューの [🎵] をタッチ

オーディオ画面を表示します。

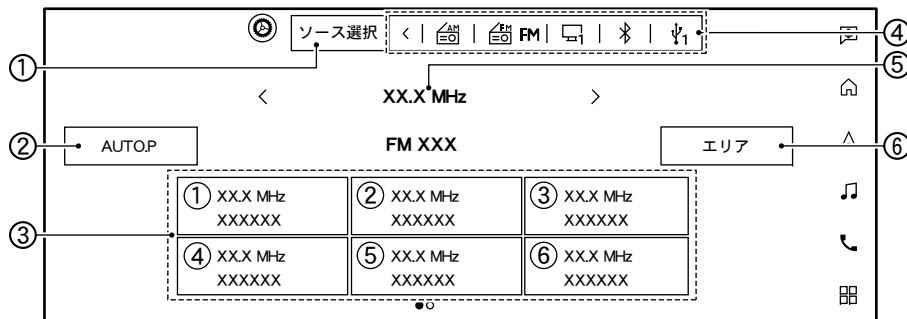
再度タッチするとソース選択メニューを表示します。

# ラジオを使う

## ラジオをきく

オーディオソースバーまたはソース選択メニューで [FM] (AM) または [FM] (FM) をタッチして、ラジオ操作画面を表示させます。

### 操作画面の見かた



#### ① [ソース選択]

ソース選択メニューを表示します。  
オーディオソースバーに表示されていないソースもソース選択メニューから選ぶことができます。

#### ② [AUTO.P]

AUTO.P 画面に切り替えます。  
長押しすると、現在地で受信可能な放送局を自動的に取得（オートプリセット）します。  
FM AUTO.P に 12 局、AM AUTO.P に 6 局、最大 18 局まで登録されます。

#### ③ プリセットリスト

登録した周波数 / 放送局を表示します。  
タッチして選別します。  
番号をタッチし続けると、現在選択している放送局を FM12 局、AM6 局まで登録できます。

#### ④ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。  
[<] をタッチすると閉じることができます。  
長押しして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

#### ⑤ 周波数、放送局表示

現在受信中のラジオの周波数 / 放送局を表示します。  
周波数の横の [<|>] をタッチすると周波数が変わります。

#### ⑥ [エリア]

ラジオのエリアを選択します。  
[オート] を選択すると自動的に地域選択します。

### 知識

- オートプリセットをしても受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。
- 本機はワイド FM (FM 補完放送) に対応しています。ワイド FM (FM 補完放送) とは、AM 放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために、新たに FM 放送用として使用可能とした周波数 (90.0 ~ 94.9MHz) を加えた FM 放送用の周波数 (76.1 ~ 94.9MHz) により AM 放送の放送番組を放送するものです。
- 同一周波数に複数の放送局がある場合、放送局表示の横に [<|>] が表示されます。タッチして放送局を切り替えられます。

# ラジオを使う

## 放送局を選ぶ

### ■ 登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

ラジオ操作画面のプリセットリストから選択します。

### 知識

- ステアリングスイッチの<◀▶>/<▶▶>ボタンを長押ししても、選局ができます。

### ■ 自動で選局する

<▲>/<▼>ボタンを押すと、自動的に感度の良いチャンネルを受信します。

### ■ 手動で1ステップずつ選局する

周波数表示の横の[<]/[>]をタッチすると、1ステップずつ周波数が変わります。

## 交通情報をきく

### <・||>ボタンを押す

オーディオソースバーまたはソース選択メニュー画面で[交通情報]をタッチしても交通情報を選ぶことができます。

## USB メモリ

### ・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオを使う

#### 再生する

USB メモリ、iPod®/iPhone®、Bluetooth® を接続し、オーディオソースまたはソース選択メニュー画面で該当のアイコンをタッチ Bluetooth® オーディオはご使用前に機器の登録と接続が必要です。

#### 🔍 機器接続画面の見かた (P.16)

各種接続機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

#### 🔍 USB ポート (P.9)

### ⚠️ 警告

- 接続するオーディオ機器の USB ケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

### ⚠️ 注意

- 本体に接続するオーディオ機器、電話機または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

## 📖 アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、USB メモリ本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- 走行中に USB メモリや iPod®/iPhone® などのプラグの抜き差しをしないでください。接続口および接続メディア本体の破損につながる可能性があります。
- USB メモリや iPod®/iPhone® などを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所に USB メモリや iPod®/iPhone® などを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- USB メモリや iPod®/iPhone® の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。
- iPod®/iPhone® の機種や iOS バージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機で iPod®/iPhone® を使用しているときに iPod®/iPhone® のデータが消失しても、消失したデータの補償はできません。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っ掛かり、断線や破損のおそれがあります。

## 📖 知識

- ケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
- 本機と接続中、iPod®/iPhone® は充電されます。
- 本機と接続するときは、iPod®/iPhone® のヘッドフォンなどのアクセサリを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 曲を選ばないまま 2 秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。
- 接続する iPod®/iPhone® の取扱説明書もあわせてお読みください。
- Bluetooth® の接続設定が OFF になっていると、Bluetooth® オーディオは接続されません。  
🔍 登録機器の設定 (携帯電話) (P.19)
- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。
- 使用するオーディオ機器によって、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

## 操作画面の見かた

接続するデバイスや再生するソース、ソフトウェアバージョンなどによって表示は異なります。

### ■ オーディオ操作画面



#### ① [ソース選択]

ソース選択メニューを表示します。オーディオソースバーに表示されていないソースもソース選択メニューから選ぶことができます。

#### ② アルバムアートワーク

アルバムアートワークを表示します。接続するデバイスやデータによってアルバムアートワークが表示されない場合があります。

#### ③ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。[<]をタッチすると閉じることができます。長押しして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

#### ④ [ライブラリ]

接続機器内のビデオ、アルバム、アーティスト、曲などのリストを表示します。接続するデバイスやデータによって表示されるリストが異なります。

#### ⑤ [機器接続]

機器接続画面を表示します。

➡ Bluetooth® 画面について (P.16)

#### ⑥ 楽曲情報表示

曲名、アーティスト名、再生時間などを表示します。曲名を取得していない場合は、ファイル名を表示します。

#### ⑦ オーディオ操作キー

タッチしてプレイモードの変更や曲送りなどをします。

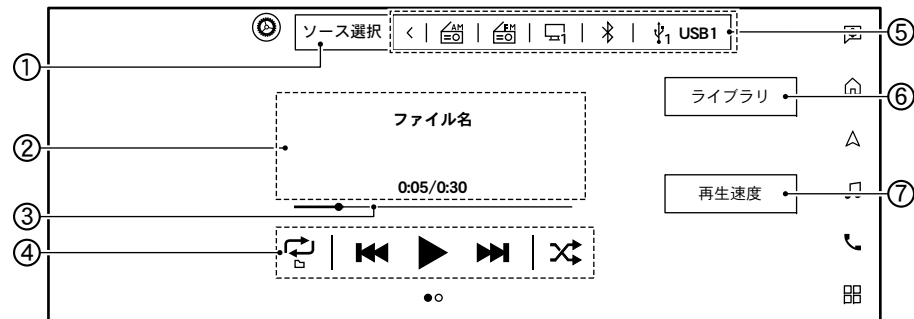
## 知識

- 楽曲情報は、MP3 ファイルは ID3 タグ、WMA ファイルは WMA タグを参照しています。楽曲情報が文字化けするときは ID3 タグ、WMA タグを修正してください。
- 接続するデバイスやデータによっては、画面を左にスワイプして再生中のソースのリストを表示することができます。[ライブラリ]は[≡]、[機器接続]は[📶]と表示されます。
- USB 接続のオーディオ再生時は、シークバーを使って任意の場所から再生することができます。

## ■ ビデオ操作画面

[ライブラリ]からビデオファイルを選ぶと、USB メモリに保存されたビデオを再生することができます。

ビデオ画像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



### ① 【ソース選択】

ソース選択メニューを表示します。  
オーディオソースバーに表示されていないソースもソース選択メニューから選ぶことができます。

### ② 【ビデオ情報表示】

ファイル名、再生時間などを表示します。

### ③ シークバー

ドラッグやタッチで任意の場所から再生ができます。

### ④ 【ビデオ操作キー】

タッチしてプレイモードの変更、再生や停止、スキップをします。

### ⑤ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。[<]をタッチすると閉じることができます。長押しして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

### ⑥ 【ライブラリ】

接続機器内のビデオ、アルバム、アーティスト、曲などのリストを表示します。接続するデバイスやデータによって表示されるリストが異なります。

### ⑦ 【再生速度】

ビデオの再生速度を設定します。

## 📖 アドバイス

- 安全のため走行中にビデオ画像は映りません。車を完全に停止し、電動パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、音声のみの再生となります。

# USB・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオ・HDMI を使う

## USB について

### ■ 再生可能メディア

メディア	USB2.0 (32GB 以内)
システム	FAT16、FAT32
フォルダ階層、ファイル数	フォルダ階層：8、フォルダごとのファイル数：255、フォルダ数：512（ルートフォルダを含む）、総ファイル：8,000
タグ情報（曲名、アーティスト名、アルバム名）	ID3 tag VER1.0、VER1.1、VER2.2、VER2.3、VER2.4（MP3のみ）
	WMA tag（WMAのみ）
	AAC tag（AACのみ）

### ■ オーディオファイル

フォーマット			サンプリング周波数	ビットレート
MP3 *1	MPEG1	Layer-3	32、44.1、48 kHz	32 ~ 320 kbps
	MPEG2		16、22.05、24 kHz	8 ~ 160 kbps
WMA *2			8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 kHz	12 ~ 192 kbps
AAC (MPEG4) *3（ファイル拡張子“m4a”のみ）			11.025、16、22.05、32、44.1、48 kHz	8 ~ 320 kbps
FLAC			8 ~ 192 kHz	128 ~ 12,288 kbps
Wav			8 ~ 192 kHz	128 ~ 12,288 kbps

\*1 MPEG2.5 には対応していません。

\*2 WMA7、WMA8、WMA9、WMA9.1、WMA9.2 に対応しています。（WMA9 Professional、Lossless、Voice には対応していません。）

\*3 iTunes でエンコードした AAC のみ再生可能です。HE-AAC（High-Efficiency）には対応していません。

# USB・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオ・HDMI を使う

## ■ ビデオファイル

規格	拡張子
MPEG-2	.mpg, .mpeg .mp4
MPEG-4	.mp4, .m4v .3gp
H.264	.mp4 .m4v
WMV9/ VC-1	.wmv .avi

## 知識

- 複数のパーテーションに分かれている USB 機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- USB メモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- 条件に当てはまらない USB メモリを使用すると、正しく動作しないことがあります。

## iPod®/iPhone® について

お使いの iPod®/iPhone® を本機に接続して音楽をきくことができます。iPod®/iPhone® は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

接続可能な iPod®/iPhone® については、三菱自動車ホームページの「ナビ関連データ」(<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/accessory/navi/update/index.html>)でご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPod®/iPhone® の動作については全てを保証するものではありません。

- iPod®/iPhone® を接続しても操作ができない場合は、iPod®/iPhone® を外して時間をおいてから再度接続してください。
- iPod®/iPhone® の接続対象機種一覧に記載があっても、iOS のバージョンによって動作しない場合があります。
- iPod®/iPhone® 内ビデオファイルの再生はできません。

## Bluetooth® オーディオについて

- Bluetooth® オーディオ機器は、機種により対応していない場合があります。また、対応している機種でも一部の機能が使用できない場合があります。

- 以下のときは Bluetooth® オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth® オーディオの再生を再開します。
  - MITSUBISHI CONNECT によるデータダウンロード中（手動または自動）
  - 交通情報の受信中
  - ハンズフリー通話中
  - 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されているため、Bluetooth® オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。

# USB・iPod®/iPhone®・Bluetooth® オーディオ・HDMI を使う

- Bluetooth® 接続を行うと、通常より Bluetooth® オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth® AV プロファイル (A2DP、AVRCP) に対応しています。

## Bluetooth®

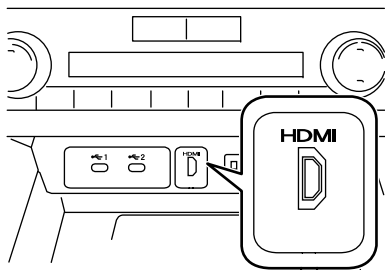
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbH はライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

## HDMI 接続機器を使う

HDMI 端子に外部機器を接続することで、映像や音声を視聴できます。

### 再生する

HDMI 接続可能な機器を、センターボックス内の HDMI 端子に接続します。



ランチャーメニューの [ 音楽 ] → [ ソース選択 ] → [ HDMI ] をタッチ

機器を操作すると再生が始まります。映像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示され、[ ソース選択 ] またはオーディオソースバーからオーディオソースを切り替えられます。接続している HDMI 機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

## アドバイス

- 安全のため、走行中は映像は映らず、音声のみきくことができます。車を完全に停車し、電動パーキングブレーキをかけたときのみ、映像をご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、音声のみとなります。電動パーキングブレーキをかけず、ブレーキオートホールド機能などで停車しているときは、映像は映りません。
- 外部機器または HDMI ケーブルの抜き挿しはコネクタ付近を持って行ってください。HDMI 機器やコネクタの破損につながるおそれがあります。
- HDMI 接続機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。
- 接続する HDMI 機器の特性により、映像 / 音声正常に出力されない場合があります。外部機器の特性に由来するため、本機の異常ではありません。

## 画質を調整する

映像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示され、[ 画面設定 ] をタッチすると明るさ、コントラスト、黒レベルを調整できます。

## HDMI について

### ■ ライセンス

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



### ■ 接続仕様

出力解像度が 720p (1280x720) に対応している HDMI 機器をお使い頂けます。


## 知識

- 接続する HDMI 機器の出力解像度の設定を 720p に設定してご利用ください。HDMI 機器の出力解像度および設定方法については HDMI 機器の取扱説明書をご確認ください。

# テレビを見る

## テレビを見る

### テレビ画面を表示する

ランチャーメニューの[  ] → [ ソース選択 ] → [ TV1( 自宅エリア ) ] または [ TV2( おでかけエリア ) ] をタッチ

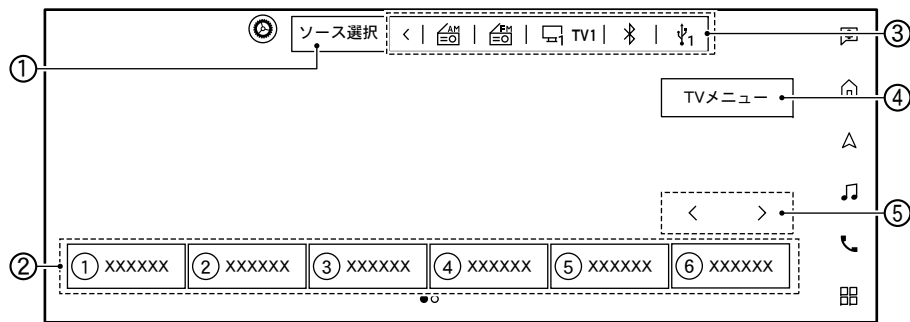
TV1 ( 自宅エリア ) または TV2 ( おでかけエリア ) 画面を表示します。

### 知識

- 安全のため走行中に地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、電動パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、音声のみとなります。
- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出ないことがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

## 操作画面の見かた

テレビ表示中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



### ① [ ソース選択 ]

ソース選択メニューを表示します。  
オーディオソースバーに表示されていないソースもソース選択メニューから選ぶことができます。

### ② チャンネルリスト

プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。  
スワイプして、チャンネルリスト 1～6 と 7～12 を切り替えます。  
放送局名がない場合は、3 桁のチャンネル番号を表示します。

### ③ オーディオソースバー

オーディオソースを切り替えます。[<] をタッチすると閉じることができます。長押しして、オーディオソースバーの編集をすることもできます。

### ④ [ TV メニュー ]

TV メニュー画面を表示します。


 TV メニュー画面の見かた (P.83)

### ⑤ [<] / [>]

チャンネルを切り替えます。

# テレビを見る

## TV メニュー画面の見かた

1. ランチャーメニューの [  ] → [ソース選択] → [TV1 (自宅エリア)] または [TV2 (おでかけエリア)] をタッチ  
TV 操作画面を表示します。
2. [TV メニュー] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[放送局サーチ]	走行エリア付近の放送局を自動的に探します。 地上デジタル放送では、走行エリアによっては同一放送局であってもチャンネルが異なる場合があります。
[番組表]	番組表を表示します。
[番組内容]	番組の詳しい内容を表示します。 ワンセグ受信中は番組内容やデータ放送の使用はできません。
[データ放送操作キー呼出]	データ放送の操作キーを表示します。

### ■ 緊急警報放送 (EWS) について

- 大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
- 本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送を表示します。緊急警報放送終了後、90 秒で自動的に元に戻ります。

# テレビを見る























## ■ アイコン一覧

地上デジタルテレビ画面ではアイコンによって、表示画面の情報をお知らせします。

アイコンはテレビ画面表示中に画面をタッチすると、右上に表示されます。



アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。


放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	テレビ放送（映像＋音声）の番組。		データ放送の番組。		ワンセグ放送の番組。
	フルセグ放送の番組。		番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。		番組とは別のデータ放送を行っている番組。
	モノラル音声の番組。		2カ国語放送の番組。		ステレオ放送の番組。
	デジタル出力していない番組。		アナログ出力していない番組。		デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）		1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）		番組の中に字幕（日本語 / 英語）の情報が含まれている番組。
	ワイド画面の通常放送の番組。		ワイド画面のハイビジョン放送の番組。		ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
	ノーマル画面の通常放送の番組。		ワンセグ / フルセグ切替の設定が自動。		
	緊急警報放送（EWS）。		臨時放送。		

# テレビを見る

## テレビの設定をする

ランチャーメニューの [  ] → [ ソース選択 ] → [ TV1 (自宅エリア) ] または [ TV2 (おでかけエリア) ] → [  ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明	
[オートプリセット]	現在地で受信可能な放送局を自動的に取得します。 TV1 (自宅エリア)、TV2 (おでかけエリア) に 12 局ずつ、最大 24 局まで自動的に登録されます。	
[主・副]	主音声、副音声、主 / 副音声を切り替えます。	
[音声切替]	フルセグ時：第一音声～第十六音声に切り替えます。 ワンセグ時：第一音声～第二音声に切り替えます。	
[字幕]	非表示 / 第一言語 / 第二言語から字幕を切り替えます。	
[自宅エリア、郵便番号設定(TV1)]	自宅エリア (TV1) の地域を郵便番号から設定します。	
[おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)]	おでかけエリア (TV2) の地域を郵便番号から設定します。	
[ワンセグ/フルセグ切替]	自動 / フルセグ / ワンセグを切り替えます。	
[イベントリレー]	ON/OFF を切り替えます。ON にすると、番組のチャンネルが移行する場合、自動でチャンネルを切り替えることにより、継続して視聴できます。	
[チャンネル番号入力]	チャンネル番号を直接入力します。	
[自動放送局サーチ]	中継局 + 系列局、中継局、OFF を切り替えます。	
[設定情報初期化]	[自宅エリア設定消去(TV1)]	自宅エリアの設定を消去します。
	[おでかけエリア設定消去(TV2)]	おでかけエリアの設定を消去します。
	[設定初期化]	全データを消去し、設定を初期状態にします。
[画面設定]	画質調整画面を表示します。明るさ、コントラスト、黒レベルを調整します。	
[画面サイズ]	ノーマル / フルから画面サイズを調整します。	
[デバイスID表示]	デバイス ID を表示します。	
[オーディオ設定]	オーディオ設定画面を表示します。  オーディオの設定 (P.70)	

## MEMO

オー  
デー  
オ

# ハンズフリーフォン、Apple CarPlay、Android Auto™

---

## ハンズフリーフォンの基本操作

携帯電話の接続	P.88
ハンズフリーフォンの各部の名称と機能	P.88
ハンズフリーフォンの操作画面	P.89

## 通話機能を使う

電話をかける	P.90
電話を受ける	P.90
通話中の操作	P.90

## ショートメッセージ (SMS) 機能を使う

SMSを受信する	P.91
SMSを送る	P.91

## ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの設定画面	P.92
短縮ダイヤルの登録、編集	P.93

## Apple CarPlay

Apple CarPlayを使う	P.94
------------------	------

## Android Auto™

Android Auto™を使う	P.96
------------------	------

# ハンズフリーフォンの基本操作

## 携帯電話の接続

ご使用前に、お客さまの携帯電話が本機でご利用可能かどうかをご確認ください。適応する Bluetooth® 携帯電話は『アウトランダー』車種サイトからご確認いただけます。

### ご使用する前に

ハンズフリーフォンを使用するには、本機の Bluetooth® 接続を ON にする必要があります。

👉 登録機器の設定 (携帯電話) (P.19)

### 電話機を接続 (登録) する

ランチャーメニューの [🏠] → [⚙️] → [機器接続] → [Bluetooth] → [登録] をタッチ  
携帯電話を本機に登録します。

👉 Bluetooth® 画面について (P.16)

携帯電話を複数登録した場合は、機器接続画面で [📞] をタッチして使用する携帯電話を選びます。

### 知識

- 携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照ください。
- [マルチ接続] を ON にしているとハンズフリーフォンを 2 台まで使用できます。

👉 登録機器の設定 (携帯電話) (P.19)

## 音量を調整する

ランチャーメニューの [📞] → [🔊] → [着信音量] または [送話音量] の [+] または [-] をタッチ

### 知識

- 着信音量 / 受話音量は、着信中 / 通話中にコントロールパネルの < 🔊 VOL > ダイアルまたはステアリングスイッチの < + 🔊 - > ボタンで調整することもできます。
- 送話音量は、通話中のみ変更可能です。

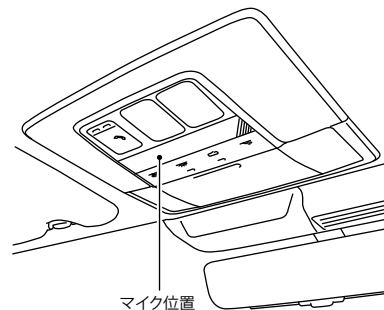
## ハンズフリーフォンの各部の名称と機能

ハンズフリーフォンの操作は、タッチパネルまたはステアリングスイッチで行います。通話は専用マイクで行います。

👉 各部の名称と機能 (P.8)



### マイク










通話は専用マイクで行います。ハンズフリーフォンを使うときは、マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で通話をしてください。




# ハンズフリーフォンの基本操作

## ハンズフリーフォンの操作画面

ランチャーメニューの[]をタッチ、またはステアリングスイッチの<>ボタンを押す  
電話メニュー画面を表示します。画面上部に電話メニューバーが表示され、タッチして操作できます。

項目	機能・操作説明
[  ]お気に入り	登録した短縮ダイヤルを選び通話ができます。  短縮ダイヤルの登録、編集 (P.93)
[  ]通話履歴	通話履歴画面を表示します。
[  ]電話帳	電話帳画面を表示します。 [  ]をタッチするとキーボードで検索ができます。 [  ]をタッチすると頭文字で検索できます。
[  ]ダイヤル入力	ダイヤル入力画面を表示します。
[  ]メッセージ	ショートメッセージ (SMS) 画面を表示します。  ショートメッセージ (SMS) 機能を使う (P.91)

## 知識

- アンテナ表示、バッテリー表示は携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- マルチ接続しているときは、デバイス名の横の[]をタッチして、使用したい機器を切り替えることができます。

# 通話機能を使う

## 電話をかける

短縮ダイヤルや電話帳からなど、お好みの方法を使って電話をかけることができます。

⑤ ハンズフリーフォンの操作画面 (P.89)

## 電話を受ける

ステアリングスイッチの < > ボタンを押すか、着信画面の [ 応答 ] をタッチ電話に出ます。電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信画面になります。着信画面から以下の項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[ 応答 ]	電話に出ます。
[ 拒否 ]	電話を拒否します。
[ 保留する ]	電話を保留にします。

ステアリングスイッチの < > ボタンを押すか [ 通話終了 ] をタッチ電話を切ります。

## 知識

- 着信応答画面には、電話帳に着信相手の電話番号が登録されている場合、アイコン種別と相手の名前を表示します。

## 知識

- 接続する携帯電話によっては画像または一部の項目が表示されない場合があります。
- 音量は、コントロールパネルの < /VOL > ダイヤルまたはステアリングスイッチの < - + > ボタンで調整します。
- Bluetooth® 接続時に電話機本体で電話を受けた場合、電話の機種によりハンズフリー通話にならない場合があります。
- [ マルチ接続 ] が ON のときは、2 台の電話機が同時に接続できます。1 台が通話中に、もう 1 台に着信があった場合は、ポップアップメッセージが表示されます。電話に出る場合は [ 応答 ] を、出ない場合は [ 拒否 ] をタッチします。

## 通話中の操作

通話中にいろいろな操作ができます。条件により表示される項目は異なります。

項目	機能・操作説明
[ 通話終了 ]	電話を切ります。
[ ミュート ]	通話中の相手に声が聞こえないようにします。ミュート中はインジケータが点灯します。

項目	機能・操作説明
[ ハンドセット ]	ハンズフリー通話のとき、携帯電話本体での通話に切り替えます。ハンズフリー通話に戻るには、再度 [ ハンドセット ] をタッチします。
[ ダイヤル入力 ]	通話中の番号入力に使用します。入力画面から通話中画面に戻るには [  ] をタッチします。

## 知識

- 通話中にランチャメニューをタッチすると該当の画面を表示します。ランチャメニューの [ ] またはステアリングスイッチの < > ボタンを押すと再び電話画面を表示します。
- ハンドセット切り替えは、携帯電話本体で切り替えできる機種もあります。また、機種によって切り替えができないものもあります。
- パワースイッチを OFF にしたあとも通話を続けたい場合は、あらかじめ携帯電話での通話に切り替えてください。

# ショートメッセージ (SMS) 機能を使う

## SMS を受信する

SMS 受信時は、画面にメッセージ受信のポップアップを表示します。マルチ接続が ON の時、どちらのデバイスで SMS 機能を使うか選ぶことができます。

## 受信表示から見る

画面に表示される受信ポップアップの [読む] をタッチ  
メッセージ画面を表示し、メッセージを読み上げます。

### 知識

- 差出人が電話帳に登録済みの場合、確認する SMS を選択すると差出人名称を読み上げます。
- SMS 機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。
- iPhone® で SMS 機能を使用するためには、iPhone® 側の設定が必要です。設定方法については MITSUBISHI CONNECT サービスホームページ ([www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/](http://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/)) の「適合携帯電話一覧」および「Bluetooth 携帯電話とナビゲーションの初期設定手順」でご確認ください。

## 受信履歴から見る

ランチャーメニューの [ ] またはステアリングスイッチの < > ボタンを押し、 [ ] をタッチ

受信メッセージ一覧から確認したい SMS を選ぶとメッセージ画面を表示し、メッセージを読み上げます。

## メッセージ画面メニュー

項目	機能・操作説明
[前へ]	前のメッセージを表示します。
[次へ]	次のメッセージを表示します。
[再生]	メッセージを読み上げます。
[停止]	メッセージの読み上げを停止します。
[返信]	返信画面を表示します。[定型文] または [オリジナル (作文)] をタッチして送信するメッセージを選択します。
[電話をかける]	送信元に直接電話をかけます。

### 知識

- 返信文を作成することもできます。
- 返信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。

## SMS を送る

SMS を送るときは、メッセージを登録しておく便利です。マルチ接続が ON の時、どちらのデバイスで SMS 機能を使うか選ぶことができます。

## SMS を送信する



1. ランチャーメニューの [ ] またはステアリングスイッチの < > ボタンを押し、 [ ] をタッチ
2. [メッセージ作成] → [宛先] をタッチ  
送信先を登録する方法を選んでタッチし、宛先を選びます。
3. [メッセージ選択] をタッチ  
[定型文] または [オリジナル (作文)] を選びます。  
文章を作成するには [オリジナル (作文)] → [新規登録] をタッチします。
4. [送信] をタッチ

### 知識

- 送信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。
- 電話帳または通話履歴画面に表示される [ ] をタッチしても SMS 送信ができます。

# ハンズフリーフォンの設定をする

## ハンズフリーフォンの設定画面



ランチャーメニューの[  ] → [  ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明	
[機器接続]		機器接続画面を表示します。Bluetooth® 接続の ON/OFF、機器の切り替え、接続機器の消去などができます。 ➡ 機器接続画面の見かた (P.16)	
[電話]	[お気に入り]	短縮ダイヤル設定画面を表示します。 ➡ 短縮ダイヤルの登録、編集 (P.93)	
	[電話帳]	[電話帳ダウンロード]	選択すると、電話帳手動転送を行います。携帯電話の機種により、データの追加と上書きを選択できる場合があります。また、携帯電話側の操作が必要な場合もあります。
		[自動ダウンロード]	ON にすると、携帯電話接続時に自動的に電話帳をダウンロードします。 自動ダウンロードができないときは、[電話帳ダウンロード] で手動転送してください。
		[並べ替え]	苗字または名前で電話帳を並び替えます。
	[メッセージ]	[メッセージ]	SMS 機能を ON/OFF します。
		[メッセージ音]	SMS 受信時の着信音を ON/OFF します。
		[署名]	SMS 送信時の署名の ON/OFF を設定します。
		[自動返信]	自動返信を ON/OFF します。
		[自動返信メッセージ]	自動返信時のメッセージを設定します。
		[オリジナル(作文)の編集]	送信時の定型文、オリジナル(作文)を編集します。[新規登録] をタッチすると、新規メッセージが作れます。SMS 送信画面から作成することもできます。
[通知]	[車載機の着信音使用]	ON にすると、車両のスピーカーから着信音流れます。	
	[自動応答保留]	ON にすると、着信があったときに自動的に保留にします。	

## ハンズフリーフォンの設定をする

項目	機能・操作説明
[着信音量]	着信音量を調整します。
[送話音量]	送話音量を調整します。

### 短縮ダイヤルの登録、編集

ランチャーメニューの[]→[]→[電話]→[お気に入り]をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[登録・編集]	[+]をタッチすると、新規登録ができます。 登録済みの短縮ダイヤルをタッチすると、編集・消去ができます。
[一括消去]	登録してある短縮ダイヤルを一括で消去します。

## Apple CarPlay を使う

Apple CarPlay 対応の iPhone® を本機に USB またはワイヤレス接続することで Apple CarPlay を使用することができます。Apple CarPlay、iPhone® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone® 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

### iPhone® について

Apple CarPlay 対応の iPhone® については、Apple の Web サイトでご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPhone® の動作については全てを保証するものではありません。
- iPhone® をご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
- iPhone® を接続しても操作ができない場合は、iPhone® を外して再度接続してください。
- iPhone® の接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPhone® 内のビデオファイルの再生はできません。

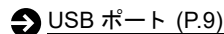
## Apple CarPlay について

- Apple CarPlay が起動している間は、接続している iPhone® での Bluetooth® 機能は使用できません。
- Apple CarPlay の詳細については、Apple の Web サイトをご確認ください。
- Apple CarPlay は Apple が提供するアプリケーションです。各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

### iPhone® を接続する

#### ■ USB 接続する

##### 1. iPhone® を USB ポートに接続



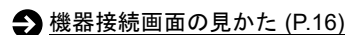
- ##### 2. Apple CarPlay 起動時の確認メッセージが表示され、[はい]をタッチ
- Apple CarPlay が起動します。
- [いいえ] をタッチすると iPhone® を iPod® として接続できます。
- [再表示しない] をタッチすると、起動時の確認メッセージを表示しません。

### 📖 知識

- iPhone® を接続するときは、iPhone® に付属の USB ケーブルを使用してください。
- Wi-Fi スポットと Apple CarPlay を同時にご使用される場合、ワイヤレス接続ではなく USB 接続でしてください。

#### ■ ワイヤレスで接続する

##### 1. iPhone® を Bluetooth® 接続




- ##### 2. Apple CarPlay 起動時の確認メッセージが表示され、[はい]をタッチ
- Apple CarPlay が起動します。
- iPhone® に表示される通知でワイヤレス接続を選択すると、ワイヤレスで Apple CarPlay がご利用いただけます。

### 📖 知識


- 本機の設定によって、iPhone® を接続しても Apple CarPlay 画面を表示しないことがあります。ランチャーメニューに [▶] が表示されている場合は、タッチして、Apple CarPlay 画面を表示させてください。ランチャーメニューに [▶] が表示されない場合は、接続機器設定を変更することで Apple CarPlay 画面を表示することができます。
- ➡ 機器接続画面の見かた (P.16)

## 知識


- 接続機器が Apple CarPlay、Android Auto ™または Bluetooth® に接続されていない場合は、ステアリングスイッチの <  > ボタンを長押しすると、接続画面が表示されます。
- ワイヤレス接続を選択しなかった場合、iPhone® は Bluetooth® 機器として接続されます。後からワイヤレス接続をしたい場合は、Bluetooth® 機器として登録している iPhone® を一度削除して再接続してください。  
➡ Bluetooth® 画面について (P.16)
- Wi-Fi が OFF の場合は、通知が表示されます。画面に従って操作するとワイヤレスで Apple CarPlay に接続ができます。  
➡ Wi-Fi 画面について (P.20)

## Apple CarPlay 画面を表示する


Apple CarPlay 対応の iPhone® を USB または ワイヤレス接続しているときに Apple CarPlay 画面を表示できます。

1. ランチャーメニューの [  ] をタッチ  
Apple CarPlay 画面が表示されます。
2. アイコンをタッチ  
表示されている iPhone® の機能を本機の画面上で使用できます。




## 知識

- ランチャーメニューの [  ] → [ スマートフォン接続 ] から Apple CarPlay を起動できます。  
➡ アプリメニューについて (P.12)

## Siri の使いかた

Apple CarPlay 使用中に Siri を使用できます。ステアリングスイッチの <  > ボタンを長押し  
Siri が起動します。

## 起動オプションの設定をする

1. ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ 機器接続 ] → [ Apple CarPlay ] をタッチ
2. 設定したい機器の横にある [  ] → [ 起動オプション ] をタッチ  
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[常に確認する]	iPhone® を接続したとき、確認メッセージが表示されます。
[確認無しで起動]	iPhone® を接続したとき、自動で Apple CarPlay を起動します。
[起動しない]	iPhone® を接続しても Apple CarPlay を起動しません。

## 知識

- [ Apple CarPlay 利用時の補足情報 ] をタッチすると、Apple CarPlay 利用時の補足情報を表示します。
- [ 削除する ] をタッチすると、登録した iPhone® を削除できます。

## Android Auto™を使う

Android Auto™対応の Android スマートフォンを本機に接続することで Android Auto™を使用することができます。Android および Android Auto™は、Google LLC の商標です。

## Android スマートフォンについて

Android Auto™を利用するには、Android 5.0 (Lollipop) 以降を搭載した Android スマートフォンが必要です。詳細は、Google 社の web サイトでご確認ください。

- Android スマートフォンで再生可能な動画、静止画表示には対応していません。
- Android スマートフォンの動作については全てを保証するものではありません。
- Android スマートフォンを接続しても操作ができない場合は、Android スマートフォンを外して再度接続してください。

## Android Auto™について

- Android Auto™が起動している間は、接続しているスマートフォンでの Bluetooth®機能は使用できません。
- 詳細については、Google社のwebサイト (<https://www.android.com/auto/>) をご覧ください。
- Android Auto™は Google が提供するアプリケーションです。各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

## Android スマートフォンを接続する

### アドバイス

- Android Auto™をご利用になるには、Android Auto™のアプリケーションを接続するスマートフォンにダウンロードする必要があります。詳細については Google Play™の Android Auto™ アプリページを参照してください。
- 初めて Android スマートフォンを接続する場合は、電動パーキングブレーキをかけてください。

1. Android スマートフォンを USB ポートに接続
2. Android Auto™起動時の確認メッセージが表示されたら、画面に従って操作 Android Auto™が起動します。

### 知識

- Android スマートフォンを接続するときは、Android スマートフォンに付属のケーブルを使用してください。
- Android スマートフォンがロック状態のときは Android Auto™が起動しない場合があります。

### 知識

- 本機の設定によって、Android スマートフォンを接続しても Android Auto™画面を表示しないことがあります。ランチャーメニューに [▲] が表示されていたらタッチして、Android Auto™画面を表示させてください。ランチャーメニューに [▲] が表示されない場合は、接続機器設定を変更することで Android Auto™画面を表示することができます。

## Android Auto™画面を表示する

Android Auto™対応の Android スマートフォンを接続しているときに Android Auto™画面を表示できます。



1. ランチャーメニューの [▲] をタッチ  
Android Auto™画面が表示されます。
2. アイコンをタッチ  
表示されている Android スマートフォンの機能を本機の画面上で使用できます。

### 知識




- [▲] は本機に Android スマートフォンが接続されているときのみ表示されます。
  - ランチャーメニューの [☐] → [スマートフォン接続] から Android Auto™を起動できます。
- ➡ アプリメニューについて (P.12)

## Google アシスタント™の使いかた

Android Auto™使用中に Google アシスタント™を使用できます。

ステアリングスイッチの  ボタンを長押しするか、Android Auto™画面上の  をタッチ  
起動音が鳴り、Google アシスタント™が起動します。

## 起動オプションの設定をする



1. ランチャーメニューの  →  → [機器接続] → [Android Auto] をタッチ
2. 設定したい機器の横にある  → [起動オプション] をタッチ  
設定項目を選びます。


項目	機能・操作説明
[常に確認する]	Android スマートフォンを接続したとき、確認メッセージが表示されます。
[確認無しで起動]	Android スマートフォンを接続したとき、自動で Android Auto™を起動します。

## 知識

- [Android Auto 利用時の補足情報] をタッチすると、Android Auto™利用時の補足情報を表示します。
- [削除する] をタッチすると、登録した Android スマートフォンを削除できます。

## Android Auto™の接続を切り替える

ランチャーメニューの  →  → [機器接続] → [Android Auto] をタッチ

Android Auto™が使用可能なデバイスを接続すると  を表示します。タッチすると接続または解除が切り替わります。

# MEMO

# MITSUBISHI CONNECT サービス

---

## MITSUBISHI CONNECT サービス

MITSUBISHI CONNECT サービス とは P.100

MITSUBISHI CONNECT サービス をお使いになる前に P.104

## MITSUBISHI CONNECT サービスを使う

地図更新について P.105

リモートエアコン（今すぐエアコン） P.108

MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー P.110

## MITSUBISHI CONNECT サービスを使いこなす

MITSUBISHI CONNECT サービスを設定する P.111

# MITSUBISHI CONNECT サービス

## MITSUBISHI CONNECT サービス とは

MITSUBISHI CONNECT サービスとは、車両に搭載されている MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、車両コントロールアプリやデータダウンロードなどの利用が可能になる便利なコネクテッドサービスのことです。

### アドバイス

- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、自車の位置情報や走行情報）はご利用時に情報センターへ自動的に送られます。
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、三菱自動車お客様相談センターにご相談ください。
- MITSUBISHI CONNECT の入会、退会方法は当社専用 Web サイトをご確認ください。

MITSUBISHI CONNECT サービスでは、さまざまなサービスをご利用いただけます。

MITSUBISHI CONNECT サービスの詳細などについては、三菱自動車販売会社または三菱自動車お客様相談センターにお問い合わせください。

#### 三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

ホームページアドレス




<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/>

# MITSUBISHI CONNECT サービス

## ■ おもなサービス

サービスは追加・変更されることがあります。詳細は専用 Web サイトをご確認ください。

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/>

カテゴリ	サービス名称	概要
ナビ機能	Google Maps Platform Places API	ナビ上のキーボードから名称を入力すると、Google で施設検索が実行でき、施設などはそのままナビの目的地設定ができます。 ➡ <a href="#">目的地検索画面 (P.46)</a>
		ストリートビュー [  ] をタッチしてストリートビューを表示できます。[ < ] または [ > ] をタッチして視点が変更できます。
		航空写真ビュー 目的地を実際の航空写真で確認できます。 [  ] をタッチして、航空写真ビューを表示できます。[ ⊕ ] [ ⊖ ] をタッチして縮尺の調整ができます。
	ソフトウェアアップデート	通信によるソフトウェア更新ができます。
	自動マップアップデート	通信による地図更新ができます。 ➡ <a href="#">地図更新の方法 (P.105)</a>
リモート機能 / スマートフォンアプリ	目的地送信	スマートフォンアプリで作成したルートを予めナビに送信可能となり、出発時には、ナビに目的地を打ち込む必要なく、目的地までのルート案内が開始します。
	降車後ナビ	目的地周辺で降車した場合はスマートフォン上のマップアプリが最終目的地までの徒歩ナビを開始し、シームレスに誘導します。
	問い合わせサポート	地図画面上の [  ] をタッチまたはスマートフォンアプリを使用してオペレーターに接続すると、MITSUBISHI CONNECT ユーザー登録方法や使い方のサポートを受けることができます。受付時間 24 時間 [ 通話終了 ] をタッチすると、回線を切断します。
	セキュリティアラーム通知	ドア不正開錠を検出するとメールやスマートフォンアプリに通知します。

# MITSUBISHI CONNECT サービス

カテゴリー	サービス名称	概要	
リモート機能 / スマートフォンアプリ	ドライブ見守り通知	スマートフォンアプリで設定した制限時間、エリア、速度から逸脱した場合、メールやスマートフォンアプリに通知される機能で、家族が利用する場合などの安全運転サポートのために、車両オーナーが利用できる機能です。	
	警告灯通知	警告灯が点灯すると警告内容をスマートフォンアプリに通知します。	
	閉め忘れ通知	ドアや窓、サンルーフの閉め忘れがあるとスマートフォンアプリに通知されることで閉め忘れを防ぐことができます。	
	リモートエアコン	タイマーエアコン	運転開始時に快適な車内温度になるようにタイマー予約ができます。目的地送信時に連携のスケジュールにエアコンの温度を設定すると、出発時刻に合わせてエアコンを始動し車内を快適な温度にします。 車種によってはスマートフォンアプリからのみ操作可能となります。 ➡ タイマーエアコン (P.33)
		今すぐエアコン	スマートフォンアプリを使用して、車に乗る前にエアコン開始を操作できます。 ➡ リモートエアコン (今すぐエアコン) (P.108)
	充電管理	タイマー充電	お好みの時間を指定して自動で充電することができます。 ➡ タイマー充電 (P.31)
今すぐ充電		スマートフォンアプリを使用して、充電開始を操作できます。	
プラグ挿し忘れ通知		よく充電を行う場所を登録して、充電をするときにプラグ挿し忘れがあった場合、メールやスマートフォンアプリに通知します。 ➡ EV 設定 (P.36)	
充電完了通知		充電が完了したらメールやスマートフォンアプリに通知します。	
	カーファインダー（駐車位置確認）	パワースイッチの電源モードを OFF にしたときのおおよその車の位置をスマートフォンアプリで確認できます。	
	ドライブ履歴	過去のドライブ履歴（走行距離など）を数値とグラフで確認できます。	
	マイカーステータスチェック	スマートフォンアプリ上で車の状態（ドアの開閉状態およびライトの状態など）を確認できます。	

# MITSUBISHI CONNECT サービス

カテゴリー	サービス名称	概要
リモート機能 / スマートフォンアプリ	リモートボイスコントロール	スマートスピーカーによる音声でリモート機能の操作ができます。
	リモートドアロック/アンロック	スマートフォンアプリを使用して、ドアの施錠 / 解錠操作ができます。
その他	SOS コール (エアバック展開時自動通報機能付)	SOS コール (エアバッグ展開時自動通報機能付) は SOS スイッチ★を押す、またはエアバックが作動することで開始されます。SOS スイッチはマップランプ周辺にあります。 SOS コール (エアバッグ展開時自動通報機能付) の詳細については、車両取扱説明書をお読みください。
オプション	Wi-Fi スポット (docomo in Car Connect) ★	MITSUBISHI CONNECT 会員は、任意で株式会社 NTT ドコモが提供する車内 Wi-Fi 接続サービスに加入ができます。 ドコモサイトから申し込みいただけます。 申し込みサイト : <a href="https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/">https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/</a> (「docomo in Car Connect」および「docomo in Car Connect」ロゴは、株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。)



## ■ SOS コール

※ 本機能は、MITSUBISHI CONNECT サービス加入時のみご利用いただけます。

急病や煽り運転などの緊急時には、SOS コールスイッチを押すことで、専門のオペレータに接続します。更に、エアバッグやプリテンションシートベルトが作動するレベルの事故により車両が停車した際には、自動的にオペレータへ接続します。

SOS コール作動時の詳細については、車両取扱説明書をお読みください。


## MITSUBISHI CONNECT サービスをお使いになる前に

### サービスのお申し込みについて

#### アドバイス

- サービスのご利用には、MITSUBISHI CONNECTサービスへのお申し込みが必要となります。詳しくは、購入された三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、サービスの利用状況、車の位置や車載機 ID など）はご利用時に情報センターへ自動的に送られます。
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、三菱自動車お客様相談センターにご相談ください。

### ご使用上の注意

- MITSUBISHI CONNECT サービスをご利用になると、電波の受信状態を示すマーク（Telematics Control Unit アイコン）が画面に表示されます。電波の受信状態が良好を示すマーク（)が表示されている場所でサービスをご利用ください。
- MITSUBISHI CONNECT サービスは、MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」の電波状態などで、情報センターに接続できない場合や途中で通信が途切れる場合があります。電波状況が良好になってから再度通信を行ってください。
- 画面上の Telematics Control Unit アイコンが良好状態を表示していても、情報センターに接続できない場合がありますが、故障ではありません。少し時間がたってから再度通信を行ってください。
- MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」は、xi モジュールを採用して、通信を利用したサービスを提供します。以下の場合には、サービスをご利用になりません。
  - サービスをご利用になっている場所が通信エリア外するとき

- サービスをご利用になっている場所が通信エリア内であっても、回線混雑などで発信規制がかかっているとき、もしくは通信状態が不安定なとき
- 2週間以上車を使用されなかった場合は通信ができなくなり、リモート機能などの操作ができなくなります。この場合は、パワースイッチの電源モードを ON にすると、再度通信ができるようになります。

### MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットについて

この車両には、Telematics Control Unit という MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットが搭載されています。

- 本製品には、電気通信事業法第 56 条第 2 項の規定に基づく端末機器の設計について認定を受けた設備が組み込まれております。
- 本製品には、電波法第 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく認証を受けた設備が組み込まれております。

## 地図更新について

地図更新は、USB、Wi-Fi★または MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット「Telematics Control Unit」による更新（自動マップアップデート）★の3種類の方法で行います。

※本機で地図更新（Wi-Fi/USBによる更新を含む）を行うには、MITSUBISHI CONNECT サービスに加入いただく必要があります。  
<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/service.html>

## 地図更新の方法

ナビに収録されている地図データは、以下の3つからお好みの方法で最新のものに更新することができます。

### USB を使用して地図更新をする

- USB を自宅パソコンに接続し、手動操作で地図更新をします。
- データ通信を使わないので、容量の大きな全国地図更新をするときなどにお勧めです。
- USB地図更新については専用Webサイト(<https://mitsubishi.mapupdate.info/>)をご確認ください。



### Wi-Fi を使用して地図更新をする★

- 自宅 Wi-Fi、ルーターまたは携帯電話でのテザリングを使用してナビを Wi-Fi 接続し、手動操作で地図データを更新します。
- エリアを指定して地図更新したい場合などにご利用ください。

### Telematics Control Unitで地図更新をする(自動マップアップデート)★

- [ 自動地図更新の設定 ] を ON にしておくと、Telematics Control Unit を通して新しい地図データが配信されると画面にメッセージでお知らせします。
  - ➡ [地図更新をする \(P.106\)](#)
- 自車位置周辺の地図を更新できます。

## 地図更新をする

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [システム更新] → [地図更新] をタッチ  
地図更新の方法を選びます。

項目		機能・操作説明
[USBメモリで更新]	[USBメモリに地図情報を保存]	地図データを USB メモリに保存します。 お手持ちのパソコンから専用 Web サイト ( <a href="https://mitsubishi.mapupdate.info/">https://mitsubishi.mapupdate.info/</a> ) に接続し、地図データを現在のマップ情報が入っている USB メモリにダウンロードします。
	[USBメモリから地図をインストール]	パソコンを使用してダウンロードした地図データを USB からインストールし、地図更新をします。
[Wi-Fiで更新]	[地域選択]	更新したい地域を選択すると、地域内の地図データが更新されます。
[地図更新の設定]	[自動地図更新の設定]	自動地図更新の ON/OFF 設定をします。 ON に設定すると、ナビ画面に表示されるお知らせメッセージから地図更新をすることができます。 更新はバックグラウンドで実行され、自動更新完了後にパワースイッチの電源モードを OFF にし、再度 ON にすると更新地図を反映します。

### 注意

- 地図更新を行うときは、安全な場所に停車して電動パーキングブレーキをかけてください。

## 知識

- 更新中にパワースイッチの電源モードを OFF にした場合は、次回パワースイッチの電源モードを ON にした時に自動で地図更新を開始（再開）します。
- [キャンセル] をタッチして地図更新中に更新をキャンセルすることができます。
- スマートフォンのテザリング機能を使用して地図更新をしている場合は、スマートフォンの電源を切らないでください。
- 地図データは、原則として年 3 回程度更新しています。
- Telematics Control Unit を使用した地図データの自動更新時は更新中もナビゲーションシステムは使用できます。★  
Wi-Fi ★、USB を使用した地図更新中はナビゲーション機能は使用できません。更新作業後にパワースイッチの電源モードを ON にして再始動すると、地図データ更新が反映されます。
- Wi-Fi 経由で地図更新する場合は、あらかじめ、Wi-Fi 接続を ON に設定しておく必要があります。
- USB メモリで地図更新する場合は、USB2.0 ハイスピード対応で空き容量が 32GB の FAT32 でフォーマットされている USB メモリを使用し、USB メモリを開いたときに表示されるフォルダ（ルートディレクトリ）の中にコピーしてください。
- 以下の USB メモリは使用できません。
  - 暗号化やコピープロテクトされている
  - 複数のパーティションに分かれている
- USB メモリで地図更新する場合は、USB メモリを挿入してから操作してください。インストールが完了後 USB メモリを取り外してください。

## リモートエアコン（今すぐエアコン）

この車両には、Telematics Control Unit という MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニットが搭載されています。本機と情報センター間の通信接続により、さまざまなリモートサービスのご利用が可能になります。

スマートフォンアプリのリモートエアコン（今すぐエアコン）を使用すると、車から離れているときでもエアコンを作動させることができます。

スマートフォンアプリの操作を開始すると、情報センターが車両にアクセスします。車両が遠隔操作のコマンドを受信すると、エアコン制御が即座にオンになり、一定時間経過後（最大 30 分）に自動的に停止します。エアコン動作の ON / OFF 確認はアプリで確認できます。

サービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリの登録を完了する必要があります。

お手続きや詳細は、当社専用 Web サイトをご確認ください。

➡ MITSUBISHI CONNECT サービス とは (P.100)

### 警告

- リモートエアコン（今すぐエアコン）を設定しても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残さないでください。
- 炎天下では、密閉した車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状などを引き起こすおそれがあります。また外気温が低い場合は、車内の温度が急速に下がるおそれがあります。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

## ご使用上の注意

- スマートフォンアプリを使用して車両のエアコンを操作するには
  - 車両が情報センターに接続できる電波状態にある必要があります。
  - スマートフォンが通信圏内にある必要があります。
- 一部のスマートフォンでは、この機能は使用できません。事前にご確認ください。
- リモートエアコン（今すぐエアコン）の利用時に外気温が極端に低い場合は、暖房性能を確保するためにエンジンが作動します。
- 一部の地域では、駐停車中にエンジンをむやみに始動させた場合、条例に触れ罰則を受けるおそれがありますので十分ご注意ください。
- 道路交通法違反となる場合がありますので公道では使用しないでください。

## アドバイス

- リモートエアコン（今すぐエアコン）は、最大 30 分間作動します。
- リモートエアコン（今すぐエアコン）は、エンジンまたはプラグインハイブリッド EV システムが停止しているときにのみ動作を開始します。必ずシステムが停止していることを確認してください。リモートエアコン（今すぐエアコン）作動中にパワースイッチの電源モードを ON にした場合、リモートエアコン（今すぐエアコン）作動は自動的に停止します。
- Telematics Control Unit の電波状態などにより車両が情報センターに接続できない場合、リモートエアコン（今すぐエアコン）は利用できません。
- 車両を 2 週間以上使用しないと通信ができなくなります。エンジンまたはプラグインハイブリッド EV システムを ON にすると、情報センターとの通信が回復します。
- 外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。


# MITSUBISHI CONNECT サービスを使う

## MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー

MITSUBISHI CONNECT サービスメニューから、いろいろな情報を確認したり、サービスを受けたりできます。

ランチャーメニューの [  ] → [MITSUBISHI CONNECT サービス] をタッチ

各種サービス画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[ オペレータ接続 ]	オペレータに接続できます。  おもなサービス (P.101)
[ 情報チャンネル履歴 ]	受信した情報の履歴を見ることができます。

# MITSUBISHI CONNECT サービスを使いこなす

## MITSUBISHI CONNECT サービスを設定する

MITSUBISHI CONNECT サービスの各種設定をします。

ランチャーメニューの [  ] → [MITSUBISHI CONNECT サービス] をタッチ

項目		機能・操作説明
[プローブ情報設定]	[プローブ情報の送信]	走行情報 ( プローブ情報 ) の送信をオン / オフします。
	[プローブ情報を消去]	走行情報 ( プローブ情報 ) を全て消去します。
[車載機IDの表示]		車載機 ID などを表示します。
[MITSUBISHI CONNECT サービス設定を全て初期化]		MITSUBISHI CONNECT サービスの設定を初期化します。 初期化された設定および消去された履歴は元に戻すことはできません。

# MEMO

# 音声操作

---

## 音声操作

音声操作機能について	P.114
------------	-------

---

## ボイスアシスタント

基本的な操作の流れ	P.115
-----------	-------

---

音声操作画面の見かた	P.116
------------	-------

---

ボイスアシスタントを上手に操作するには	P.116
---------------------	-------

---

住所や電話番号の発話のポイント	P.117
-----------------	-------

---

音声認識できる施設ジャンル・名称	P.119
------------------	-------

---

# 音声操作

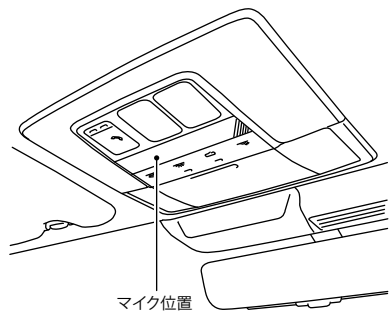
## 音声操作機能について

ボイスアシスタントでは、ナビや車両のオーディオなどを音声で操作ができます。

## 音声操作の各部の名称と機能

音声操作は、専用マイク、タッチパネル、ステアリングスイッチで行います。

音声操作のマイクはマップランプの近くに  
あります。







マイク位置

# ボイスアシスタント

## 基本的な操作の流れ

コマンドを発話することでさまざまな操作ができます。

1. **ボイスアシスタントを起動する**  
2種類の方法でボイスアシスタントを起動します。
  - “ハロー ミツビシ” と発話する  
[“Hello Mitsubishi” を許可] が ON のときに使用できます。
2. **コマンドを発話する**  
コマンドは自由な会話形式で発話いただけます。  
コマンドがうまく認識されない、ボイスアシスタントで何が操作できるのかわからないなどの場合は画面に表示される例にしたがって発話してください。  
コマンドを発話する以外にも、ステアリングスイッチやタッチパネルを使って画面に表示される項目を選ぶこともできます。
  - 操作の方法や発話のタイミングは音声でご案内します。
  - 音声で案内中にもう一度ステアリングスイッチの <  > ボタンを押すと、すぐにコマンドを発話できます。
  - ステアリングスイッチの <  > ボタンを長押しすると、ボイスアシスタントを終了します。
  - 音声ガイドの音量は、音声ガイドが流れているときにステアリングスイッチの < +  - > ボタンで調整できます。

- ステアリングスイッチの < OK > ダイアルを回すと項目の選択、押すと操作の確定ができます。
- ステアリングスイッチの <  > ボタンを押すと、1つ前のコマンド画面に戻ります。始めの画面では、ボイスアシスタントをキャンセルします。

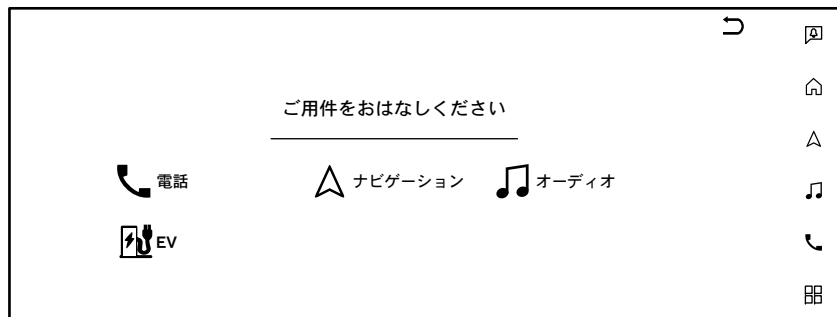
## 知識

- “ハイ ミツビシ”、“ヘイ ミツビシ” などでもボイスアシスタントを起動できます。

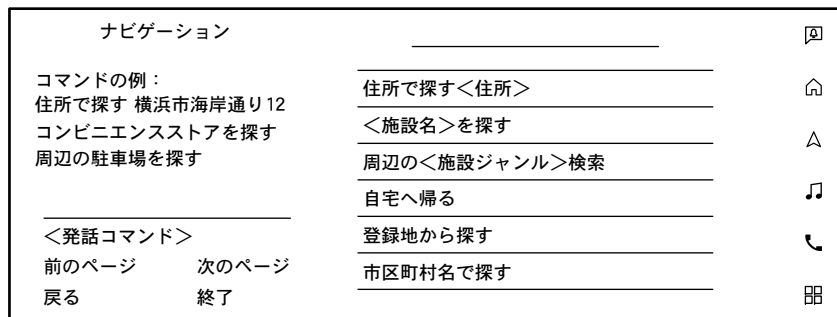
# ボイスアシスタント

## 音声操作画面の見かた

コマンドを認識できなかったり、数秒間発話が無かった場合は、音声操作メニュー画面が表示されます。



音声操作メニュー画面で、使用したいコマンドのカテゴリを発話または、タッチパネル操作すると、音声操作コマンド画面が表示され、希望のコマンドを選択することができます。




- 表示されるカテゴリやコマンドは、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。
- 表示される画面によっては、ステアリングスイッチの<OK>ダイヤルを回すと項目の選択、押すと操作の確定ができません。
- ステアリングスイッチの<戻る>ボタンを押すと、1つ前のコマンド画面に戻ります。最初の画面では、ボイスアシスタントをキャンセルします。

## ボイスアシスタントを上手に操作するには


コマンドを正しく認識させて、スムーズに実行させるには、以下の点に注意してください。

- 運転席の声を入力するように設計されているため、運転席以外からの音声入力は認識できない場合があります。
- 同乗者がいる場合は、発話をするのを避けてもらってください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせず、安全に運転できる姿勢でボイスコマンドを発話してください。
- 大きな声でハッキリと正確に発話するなど、呼びかけかたを変えてお試しください。
- ボイスコマンドは、正しく発話してください。



# ボイスアシスタント

- “えーと”などの声を発したりすると、ボイスコマンドが正しく認識されないことがあります。
- ステアリングスイッチの<  > ボタンを押した後、“ピッ”と鳴ってからお話しください。話し始めるまでに時間がかかったときは、その画面で認識できるコマンドの例が読み上げられます。
- リストに表示されている行き先やチャンネル名などは、リストの番号を発話してください。
- 画面上に白で表示されている言葉がコマンドとして認識できる言葉です。灰色で表示されている言葉は発話しても認識することができません。
- ボイスコマンドは自然な速さで発話してください。ゆっくり話すと正しく認識されません。
- 「都道府県名」と「市名」、「市名」と「町名」の間などは、区切って入力もできます。町名の後に大字が続く場合は町名と大字は続けてお話しください。  
例 1) “とうきょうとみなとく”と続けて発話。  
例 2) “とうきょうと”と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから“みなとく”と発話。  
例 3) “おかやまけんくらしきし”と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから“みずしまかいがんどおり”と発話。
- 政令指定都市、および東京 23 区については、都道府県名を省略して入力できます。
- 番地を入力する際、一丁目 23 番地 4 号(1-23-4)を入力するには“いちのにさんのよん”または“いっちょうめにじゅうさんばんちよんごう”と発話します。
- 番地を入力しなくても、大字(おおあざ)まで入力後、“行き先にする”と発話すると、付近までのルートを探索します。
- 地域によっては小字(こあざ)の入力に対応していない場合があります。
- 丁目、番地、号には、一部入力できないものがあります。
- 郡名称は、省略可能です。  
例) 北海道河東郡音更町 ⇒ 北海道音更町

## 住所や電話番号の発話のポイント

- 音声入力しているときにステアリングスイッチの<  > ボタンを押すと、最後に音声で入力した内容を消去しますので、途中から入力をやり直すことができます。
- 住所を入力するときは、東京都港区芝浦三丁目 1 番 21 号のように続けて入力することもできますし、都道府県名、市区町村名、大字、字、丁目、番地、号のように分けて入力することもできます。

## 設定のしかた

ランチャーメニューの [  ] → [  ] → [ サウンド調整 ] → [ 音声設定 ] をタッチ

設定項目を選びます。

表示される項目は、条件やソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[ボイスガイダンスの再生]	ボイスガイダンスの ON/OFF を設定します。
[ボイスガイダンスの短縮]	システムから流れてくるボイスガイダンスを短くします。
[認識結果のリスト表示]	信頼性の高い順に音声認識結果がリストで表示されます。
[ボイスガイダンスの切り替え]	ボイスガイダンスを男性または女性から選択できます。
[ボイスガイダンスの速さ]	ボイスガイダンスの速さを調整します。
[ボイスガイダンスの音量]	ボイスガイダンスの音量を調整します。
[“Hello Mitsubishi”を許可]	ON にすると、“ハロー ミツビシ”と発話することでボイスアシスタントを起動できます。

# ボイスアシスタント

## 音声認識できる施設ジャンル・名称

地図更新などでカテゴリが変更されることがあります。全ての施設が検索できるわけではありません。

キャンプ場	
ゴルフ	
スキー・スノボ場ほか	クロカン・スノシュー スキー・スノボ場 スノーモービル リフト・ロープウェイ
スタジアム	武道館 野球場 陸上競技場
デパート	
ドライブイン・道の駅	
ビーチ・海水浴場・海岸	
フェリー	
プラネタリウム	
ホール・会館	
ホテル	
マリーナ・ヨットハーバー	
マリンスポーツ	
モータースポーツ・サーキット場	
駅	
温泉・お風呂	
学校	大学 短大
観光名所	城・城跡・史跡 名所・観光地等
競馬・競輪ほか	競艇・競輪・オートレース場 競馬

教会	
空港	
警察署	
公園	レジャー公園 海洋公園・海浜公園 観光公園 国定公園
高速 IC・SA・PA	
裁判所	
寺院	
自然景観地	海岸 湖・沼 自然名所・観光地 鍾乳洞・洞穴 滝・渓谷 その他の自然景観地
住まい	住宅展示場
神社	
税務署	
総合病院	
動物園・水族館・植物園	サファリパーク 植物園 水族館 動物園
年金事務所	
博物館・科学館・文化施設ほか	博物館・科学館 資料館 その他文化施設
美術館・画廊	美術館
保健所	
法務局	

役所	都道府県庁 市区町村役場 その他の官公署・公的機関
遊園地・テーマパーク	
旅館	旅館 温泉旅館 割ぼう旅館 簡易旅館

★/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

## MEMO

## 故障かな？と考える前に

本体関係	P.122
EV 専用機能関係★	P.123
ナビゲーション関係	P.126
Wi-Fi 接続関係	P.132
オーディオ関係	P.134
ハンズフリーフォン関係	P.141
Apple CarPlay 関係	P.144
Android Auto ™関係	P.145
MITSUBISHI CONNECT 関係	P.146
ETC 関係	P.149
音声操作関係	P.150

## 知っておいていただきたいこと

ナビゲーション	P.153
オーディオ	P.162
ハンズフリーフォン	P.165
音声操作	P.166

# 故障かな？と考える前に

## 本体関係

### 液晶モニター関係

症状	原因	処置方法
画面が暗い。	車内の温度が低温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	車内の温度が高温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	液晶モニターの設定が暗すぎる。	液晶モニターの明るさを調整してください。
画面が眩しい。	液晶モニターの設定が明るすぎる。	液晶モニターの明るさを調整してください。
画面の中に小さな黒点、輝点が現れる。	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
画像に、はん点や、シマ模様がでる。	ネオンサイン、高圧電線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波を発する機器からの電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。
表示画面内容が残る。(残像現象)	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
低温のとき、画像の動きが遅い。	車内の温度が0℃以下になっている。	使用温度範囲(0℃～+50℃)に戻れば復帰します。
斜め方向から見ると画像が白っぽく見えたり、黒っぽく見える。	液晶モニターの特性である。	液晶モニターの明るさを調整してください。

# 故障かな？と考える前に

## EV 専用機能関係★

### 航続可能距離関係

症状	原因	処置方法
航続可能距離が表示できない。	パワースイッチの電源モードが ACC 状態になっている。	パワースイッチの電源モードを ON にすると表示できます。
	航続可能距離が短いために表示できない。	給油 / 充電してください。航続可能距離が延びれば表示されます。

### 充電スポット情報関係

症状	原因	処置方法
充電スポットアイコン表示の設定を OFF にしているが、地図上に表示されている。	表示されている充電スポットは、登録地として設定されている。	故障ではありません。
充電スポット情報画面が表示されない。	すべての充電スポット情報が整備されていないため、情報画面が表示されない場合がある。	故障ではありません。目的地に設定する前に利用可能か事前に電話などで確認してください。
表示されている充電スポット情報画面が、実際の情報と異なる。	地図データが古い。	新しい地図データに更新してください。
検索した充電スポットに行ったが、表示された情報と異なり、充電できなかった。	地図データが古い。	新しい地図データに更新してください。
	充電スポットの設備が変わった、または持っている充電ケーブルが使用できなかった。	目的地に設定する前に利用可能であるか事前に電話などで確認してください。

## 故障かな？と考える前に

### 電力消費関係

症状	原因	処置方法
電力消費計画面に表示されるエアコン ON/OFF 時の航続可能距離の増減が +0 km または -0 km と表示される。	モーターに使用している電力に対して、エアコンに使用している電力が少なく、航続可能距離の増減の差が $\pm 1$ km 未満となったため。また駆動用バッテリー残量が少ないときは、航続可能距離の増減が小さくなる。	故障ではありません。

### タイマー機能関係

症状	原因	処置方法
設定した時間に充電を開始しない。	タイマー充電の設定が ON になっていない。	タイマー充電の設定が ON になっているか確認してください。
	充電ケーブルが正しく接続されていない。	充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	今すぐ充電スイッチが ON になっている。	今すぐ充電スイッチを OFF にしてください。詳しくは、車両の取扱説明書をお読みください。
	パワースイッチの電源モードが ON になっている。	タイマー充電を設定した後は、必ずパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。
	シフトポジションが「P」以外になっている。	シフトポジションを「P」にしてください。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
設定した時間にエアコンが作動しない。	タイマーエアコンの設定が ON になっていない。	タイマーエアコンの設定が ON になっているか確認してください。
	駆動用バッテリー残量が少ない。	駆動用バッテリーを充電してください。
	パワースイッチの電源モードが ON になっている。	タイマーエアコンを設定した後は、必ずパワースイッチの電源モードを OFF にしてください。
	設定した出発時刻よりもかなり前である、または設定した出発時刻を過ぎている。	故障ではありません。タイマーが設定されると、出発時刻に車内温度が設定した温度になるようにエアコンが作動し、出発時刻になると自動的に停止します。エアコンが作動するタイミングは車内温度によって異なります。
	シフトポジションが「P」以外になっている。	シフトポジションを「P」にしてください。
タイマーエアコン/リモートエアコン（今すぐエアコン）で、室内が暖まっていない。	外気温が低い。	外気温が低いときや雪が降っているときなどは、十分な暖房性能が得られず車内が設定した温度にならない場合があります。
タイマー充電またはタイマーエアコンの設定画面を表示できない。	パワースイッチの電源モードが ACC 状態になっている。	パワースイッチの電源モードを ON にすると表示できます。
時刻の更新を促すメッセージが表示された。	システムの時計が正しく設定されていない。	メッセージに従い時刻を修正してください。
不要な日もタイマーが作動する。	タイマー充電・タイマーエアコンの設定ですべての曜日が ON になっている。	不要な曜日については OFF に設定してください。

### 知識

- 改善できない場合は車両取扱説明書をお読みください。

# 故障かな？と考える前に

## ナビゲーション関係

### 地図表示／メニュー画面関係

症状	原因	処置方法
画面が表示されない。	地図以外の画面が表示されている。	ランチャーメニューの[△]をタッチしてください。
	画面設定の[画面]の設定がOFFになっている。	ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[一般]→[画面設定]→[画面]をタッチすると、画面表示のON/OFF切替ができます。
2Dビュー（平面地図）と3Dビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑にならないように文字情報の間引き処理を行っているため。また道路や地名などを複数表示することもあり、処理の経緯から毎回同じ内容が表示されるとは限らない。	故障ではありません。
細街路が地図上に表示されない。	安全のため、走行中は細街路は表示されない。	故障ではありません。停車して電動パーキングブレーキをかけると表示されます。
	幅3m以下の道路は表示されないことがある。	故障ではありません。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、電動パーキングブレーキをかけてから操作してください。

# 故障かな？と考える前に

## 自転車位置・自転車マーク関係

症状	原因	処置方法
自転車位置が正しく表示されない。	パワースイッチの電源モードを OFF にしてから車を移動した。 例) フェリーや車両運搬車などでの移動	GPS 受信状態でしばらく走行してください。
	ナビゲーションシステムの位置算出精度により、現在位置や進行方向は、走行条件などによってずれることがある。	故障ではありません。しばらく走行を続けると、正常な表示に戻ります。
	駐車場など、道路以外の場所にいる。	故障ではありません。道路上をしばらく走行すると正常な表示に戻ります。
	GPS 衛星からの電波が受信できていない。	しばらく走行してください。 それでも受信できない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
	タイヤチェーンの装着、タイヤ交換などにより、車速信号からの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。	約 30km/h 以上の速度で 30 分程度走行すると自動的に調整されます。 それでも進みや遅れが発生する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
	市街地図使用時、自転車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が広がる。	地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。
	GPS アンテナ上に物が置いてあるため、GPS 信号が受信できない。	GPS アンテナ上には、物を置かないでください。GPS アンテナはインストルメントパネル上面に内蔵されています。
市街地図を表示しているとき、反対車線上を走行しているように見えることがある。	表示上ずれが生じることがある。 故障ではありません。	
市街地図使用時、自転車マークが位置ずれを起こす。	自転車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が広がる。 故障ではありません。地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。	

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
新しい道を走ると自車マークが近くの道にとぶ。	新しい道が地図データに未登録のため、登録されている近くの道路に自車マークを補正する。	地図データは、原則として年3回程度更新しています。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	ランチャーメニューの[△]をタッチしてください。
自車マークが表示されない。		
自車位置精度が悪い。	屋内や建物の陰にいるため GPS 信号がさざられている。	屋外の見通しの良い場所に移動してください。
	GPS アンテナ上に物が置いてあるため、GPS 信号が受信できない。	GPS アンテナ上には、物を置かないください。GPS アンテナはインストルメントパネル上面に内蔵されています。
	GPS 衛星の配置が悪い。	配置が改善されるまでお待ちください。
	地形データに誤り、または欠落がある（常に同じ場所ですれる）。	地図データは、原則として年3回程度更新しています。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
	低速走行や発進、停止を繰り返した。	しばらく（およそ30km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

## 目的地／経由地設定できない

症状	原因	処置方法
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由地にしたい場合は、再度ルート探索を行ってください。

## 故障かな？と考える前に


症状	原因	処置方法
自動迂回路探索（または迂回路探索）をしたが、前回探索したルートと同じ結果になってしまう。	各種条件を考慮した探索を行ったが、同じ結果になった。	故障ではありません。
経由地が設定できない。	経由地の設定数が上限に達している。	数回にわけて設定を行ってください。
行き先の設定で出発地が選べない。	行き先の設定での出発地は、常に現在地になる。	故障ではありません。

## 音声ガイド関係


症状	原因	処置方法
音声ガイドしない。	音声ガイドはある一定の条件を満たす 📍のマークが付いている交差点でしか行わないため、それ以外の場所では音声ガイドをしない場合がある。	故障ではありません。
	ルートを外れている。	ルートに戻るか、再度ルート探索してください。
	[ガイド・メッセージ音声]がOFFになっている。	設定をONにしてください。 🔊 音量を調整する (P.22)
	音量が小さくなっている。	音量を大きくしてください。
実際の道路と案内が異なる。	音声ガイドの内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合がある。	実際の交通ルールに従って走行してください。
ETCゲートで案内される料金と実際の料金が異なる。	ETCユニット（ナビと連動しないもの）を装着している場合、各種有料道路の料金割引が考慮されないため、案内した料金と実際の料金が異なる場合があります。	故障ではありません。
	地図データの収録時期などの関係で、最新の料金が反映されていない場合があるため。	

# 故障かな？と考える前に

## ルート探索関係

症状	原因	処置方法
ルートが表示されない。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。
ルートが途切れて表示される。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、現在地、または経由地が途中から表示されたり、途切れたりする。	故障ではありません。
通りすぎたルートが消去されてしまう。	通り過ぎたルートは地図上から削除されます。	[走行軌跡]をONにしてください。  <b>地図表示の設定 (P.43)</b>
大回りなルートを探索する。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、大回りなルートになることがある。	故障ではありません。
	出発地、目的地付近の道路に規制（一方通行など）があるときに遠回りのルートを出すことがある。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してみてください。
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがある。	地図データは、原則として年3回程度更新しています。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルートガイドの開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし近くの道路が細街路を含むその他一般道（灰色の道路）の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
設定した探索条件と異なる条件のルートが表示される。	場合によっては、設定した探索条件に合わないルートが探索されることがある。	故障ではありません。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
自動再探索が行われない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
規制のあるルートが引かれる。	どうしても通らないと到着できない場合は、規制のあるルートを通すことがある。	探索条件の設定を確認してください。  <a href="#">ルート探索条件メニュー (P.57)</a>
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
	ルート上を走行していない。	ルート上を走行してください。
	細街路のルートは、ルート情報を表示しない。	故障ではありません。
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークがルートを走行していない（案内記号は、ルート内容に関係があるマークのみを表示）。	ルート上を走行してください。
自動再探索ができない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。

## 故障かな？と考える前に

### Wi-Fi 接続関係

症状	原因	処置方法
接続したい Wi-Fi 機器が Wi-Fi 画面に表示されない。	接続したい機器の電源が OFF になっている。	接続したい機器の電源を ON にしてください。
	接続したい機器が WPA2 方式のセキュリティに対応していない。	接続したい機器が WPA2 方式のセキュリティに対応しているか確認してください。
Wi-Fi に接続できない。	接続したい機器の電源が OFF になっている。	接続したい機器の電源を ON にしてください。
	パスワードを間違えている。	入力したパスワードが正しいか確認してください。
	接続したい機器の通信状況が悪いまたは不安定になっている。	接続したい機器の通信状況を確認してください。

### Wi-Fi スポット関係

症状	原因	処置方法
本機を Wi-Fi スポットとして接続できない。	接続機器台数が上限に達している。	既に接続されている機器を 1 台削除してください。
	パスワードを間違えている。	入力したパスワードが正しいか確認してください。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
インターネットに接続できない。	docomo in Car Connect に登録されていない。	MITSUBISHI CONNECT サービスの docomo in Car Connect ★への登録が必要です。詳しくは docomo in Car Connect のお申し込みサイト <a href="https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/">https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/</a> をご覧ください。
	車両が docomo in Car Connect のサービスエリア外にある。	docomo in Car Connect のサービスエリアに移動してください。
接続速度が遅い。	車内に他の無線機器があると、干渉することがある。	他の無線機器の電源を OFF にしてください。


# 故障かな？と考える前に

## オーディオ関係

### Bluetooth® オーディオ関係

症状	原因	処置方法
登録できない。	パスキーが間違っている。	登録する Bluetooth® オーディオ機器のパスキーをご確認ください。 Bluetooth® オーディオ機器のパスキーと、車載機のパスキーが一致しているかご確認ください。
	本機に対応していない Bluetooth® オーディオ機器を使っている。	Bluetooth® オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
再生できない。	本機とオーディオ機器が接続できない。	ランチャーメニューの [ 🎵 ] をタッチして、Bluetooth® オーディオモードが選択されているか、ご確認ください。
		オーディオ機器に Bluetooth® アダプタをつけて使用する場合は、ランチャーメニューの [ 🎵 ] をタッチして、Bluetooth® オーディオモードを選択してから、Bluetooth® アダプタの電源を ON にしてください。
	本機に対応していない Bluetooth® オーディオ機器を使っている。	Bluetooth® オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
音が停止する。	携帯電話の接続をしている。	故障ではありません。
	MITSUBISHI CONNECT を使っている。	故障ではありません。
	交通情報ダウンロードをしている。	故障ではありません。
	Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器本体を操作している。	お使いの Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器によっては本体操作で音がとぎれることがあります。ランチャーメニューの [  ] をタッチして、Bluetooth <sup>®</sup> オーディオモードを再度選択してください。
	本機に対応していない Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器を使っている。	Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
音が飛ぶ。	Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器の置き場所によっては、音が飛ぶことがあります。	置き場所を変えてください。
	車内に他の無線機器があると、音が飛ぶことがあります。	他の無線機器の電源を OFF にしてください。
音質が悪い。	音楽データが低ビットレートで Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器に保存されている。	Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器に保存するビットレートをより高レートに変更してください。
操作メニューが使用できない。	接続している Bluetooth <sup>®</sup> オーディオ機器によっては、使用できない操作があります。	オーディオ機器の取扱説明書で使用できる操作をご確認ください。

# 故障かな？と考える前に

## iPod® / iPhone® 関係

症状	原因	処置方法
iPod®/iPhone® が認識されない。	コネクタケーブルが正しく接続されていないか、iPod®/iPhone® が正しく動作していない。	コネクタケーブルを接続し直してください。それでも iPod®/iPhone® が認識されない場合は、iPod®/iPhone® をリセットしてください。
	使用している iPod®/iPhone® が、接続対応していない。	iPod®/iPhone® の対応機種およびバージョンを確認してください。
	iOS が最新でない。	iPod®/iPhone® を最新の iOS にバージョンアップしてください。
	USB 延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB 延長ケーブルを使用しないでください。
	USB 接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
iPod®/iPhone® をコントロールできない。	iPod®/iPhone® にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod®/iPhone® を本機から一旦取り外し、iPod®/iPhone® からすべての機器を取り外してから再度接続し直してください。
	iPod®/iPhone® が正しく動作していない。	iPod®/iPhone® を本機から一旦取り外し、iPod®/iPhone® をリセットしてから再度接続し直してください。
	特定のアルバムアートが存在するアルバム／曲を再生した。	iPod®/iPhone® を本機から一旦取り外し、iPod®/iPhone® をリセットしてください。合わせて対象のアルバムアートを使用しない状態で再度接続し直してください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。さらに、シャッフル機能をオンにしている。	1つのカテゴリ内の曲数を少なくしてください（3,000 曲以下）。また、曲数が多い状態ではシャッフル機能をオンにしないでください。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
iPod®/iPhone® の曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPod®/iPhone® の取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中に iPod®/iPhone® が転がらないよう、車内にしっかりと取り付け直ししてください。
音が歪む。	iPod®/iPhone® の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod®/iPhone® の再生を停止することをおすすめします。
iPod®/iPhone® の充電ができない。	iPod®/iPhone® を接続するケーブルが断線している可能性がある。	ケーブルをご確認ください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPod®/iPhone® の操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPod®/iPhone® の操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
音飛びする。	周辺環境（ノイズなど）により、音が飛ぶことがあります。	故障ではありません。
	USB 延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB 延長ケーブルを使用しないでください。

## 故障かな？と考える前に

### USB 接続関係

症状	原因	処置方法
USB 機器を認識しない。	USB 専用ケーブルが正しく接続されていない。	USB 専用ケーブルの接続状態を確認してください。
	USB 延長ケーブルを使用している。	USB 延長ケーブルを使用しないでください。
	HUB を使用している。	HUB を使用しないでください。
	使っている USB 機器が、接続対応していない。	USB 機器の仕様を確認してください。
	USB 接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。

### 地上デジタルテレビ関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	安全な場所に停車し、電動パーキングブレーキをかけてください。
電源を入れても映像がすぐに出ない。	ソフトウェアが起動中である。	故障ではありません。本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
映像も音声も出ない。	地上デジタルチューナーユニットが異常高温になった。	車内の温度を下げてから、電源を入れ直してください。
	車の場所や方向が悪い。	アンテナレベルを確認してください。[ワンセグ／フルセグ切替]の設定を確認して、「フルセグ」の場合はそれ以外の設定に切り替えてください。 🔄 <u>テレビの設定をする (P.85)</u>
映像や音声が出ない。 (または、ときどき出なくなる) 映像が静止する。 (または、ときどき静止する)	車の場所や方向が悪い。	ワンセグ放送視聴中に、受信状態により黒画面になることがあります。故障ではありません。[ワンセグ／フルセグ切替]の設定を確認して、「フルセグ」の場合はそれ以外の設定に切り替えてください。 🔄 <u>テレビの設定をする (P.85)</u>
	車両の搭載機器（ワイパー、電動ドアミラー、パワーウインドー、エアコン、ヘッドライト、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機など）の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサインなどの近くを車が通過し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリアにいない。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。故障ではありません。
	「TV1（自宅エリア）」／「TV2（おでかけエリア）」の設定が適切でない。	「TV1（自宅エリア）」と「TV2（おでかけエリア）」設定を切り替えてください。
チャンネルリストに数字が表示される。	放送局名のない受信局をリストに登録している。	故障ではありません。

## 故障かな？と考える前に

### ■ 地上デジタルテレビのメッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。  
主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

## 故障かな？と考える前に

### ハンズフリーフォン関係



携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照してください。また適応する Bluetooth® 携帯電話は『アウトランダー』車種サイトからご確認ください。

症状	原因	処置方法
携帯電話の接続を認識しない。 発信または着信できない。	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種をご確認ください。
	携帯電話にダイヤルロックなどの操作制限が設定されている。	携帯電話のダイヤルロックなどの操作制限を解除してから Bluetooth® 接続してください。
特定の電話番号に発信できない。	同じ番号への発信の際、特定の事象（相手が電話に出ない場合、相手が圏外の場合、相手が出る前に切断した場合）が一定の回数繰り返され、その番号への発信ができなくなる場合がある。	携帯電話の電源を一旦 OFF にし、再度 ON にして接続し直してください。
Bluetooth® の機器登録ができない。	携帯電話が Bluetooth® に対応していない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● Bluetooth® に対応した携帯電話機種をご利用ください。</li><li>● 適合携帯電話機種をご確認ください。</li></ul>
	Bluetooth® の機器登録手順に誤りがある。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。</li><li>● Bluetooth® 携帯電話の初期登録方法をご確認ください。</li></ul>



## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
Bluetooth®の機器登録をしたにもかかわらず、接続されない、もしくは、切断される。	ナビのBluetooth®がOFFになっている。	ナビのBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のBluetooth®がOFFになっている。	携帯電話のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のバッテリー残量が十分ではない。	携帯電話のバッテリー残量が十分な状態をご利用ください。
	携帯電話の置き場所によって、Bluetooth®の電波状況が悪くなることもある。	携帯電話を金属で覆われた場所や本機から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の上に密着させないでください。
相手に声が伝わらない。 通話相手側で音が割れたり、途切れたりする。	Bluetooth®の機器登録手順を完了していない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。</li> <li>● 各Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。</li> </ul>
	携帯電話とBluetooth®接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓やサンルーフを閉じてください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音の少ないところで操作してください。
受話／送話音量が大きすぎる。	受話／送話音量を調整してください。	
Bluetooth®接続でのハンズフリー通話時、音が切れたり、ノイズが入る。	携帯電話の置き場所によっては、Bluetooth®の電波状況が悪くなることもある。	携帯電話を金属で覆われた場所や本機から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の上に密着させないでください。
	車内に他の無線機がある。	他の無線機の電源をOFFにしてください。
携帯電話操作で発信するとハンズフリー機能が使えない。	機種によっては、携帯電話から発信操作するとハンズフリーに切り替えられない場合がある。	ナビ（車載）のハンズフリー機能から、発信し直してください。

## 故障かな？と考える前に



症状	原因	処置方法
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	呼び出し音、着信音などの音量が調整されていない。	着信音は着信時に調整してください。受話音は、通話中にコントロールパネルの <  MOL > ダイヤルまたはステアリングスイッチの < +  - > ボタンで調整してください。送話音は設定画面の送話音量メニューで調整してください。
電話画面と携帯電話機の電界受信バーの本数が違う。電話画面に受信バーが表示されている状態で発信しても電話が繋がらない。	電界受信バーの本数の基準が携帯電話機と異なる。	電話画面の電池残量と電界強度表示（バー表示）は一致しないことがあります。目安としてご利用ください。

## Apple CarPlay 関係

症状	処置方法
Apple CarPlay が起動しない。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <a href="#">USB ポート (P.9)</a>
	iPhone® に付属の USB ケーブル（または MFi 認証ケーブル）を使用し、破損していないことを確認する。
	iPhone® 側の Apple CarPlay の設定を ON にする。
	Apple CarPlay に対応した iPhone® を使用する。
	登録した iPhone® を削除し、再度接続する。 ➡ <a href="#">起動オプションの設定をする (P.95)</a>
	iPhone® 側の Bluetooth® 設定から本機の登録を解除して再度接続する。
Apple CarPlay の作動不良： 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、Apple CarPlay 機能にアクセス時にエラーメッセージが表示される、地図を表示しようとしたら真っ白、など。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <a href="#">USB ポート (P.9)</a>
	iPhone® に付属の USB ケーブル（または MFi 認証ケーブル）を使用し、破損していないことを確認する。
	iPhone® の契約データプランを確認する。
	iPhone® 側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。
	iPhone® 側の性能、通信状況を確認。iPhone® の電源を OFF にし、再度 ON にしてみる。
ステアリングスイッチの <  > ボタンを押しても Siri が起動しない。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <a href="#">USB ポート (P.9)</a>
	iPhone® 側の Siri の設定が ON であることを確認する。
	ステアリングスイッチの <  > ボタンを確実に長押しする。

# 故障かな？と考える前に

## Android Auto ™関係

症状	処置方法
Android Auto ™が起動しない。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USB ポート (P.9)</u>
	Android スマートフォンに付属の USB ケーブルを使用し、破損していないことを確認する。
	Android スマートフォン側の Android Auto ™の設定を ON にする。
	Android Auto ™に対応した Android スマートフォンを使用する。
	登録した Android スマートフォンを削除し、再度接続する。 ➡ <u>起動オプションの設定をする (P.97)</u>
Android Auto ™の作動不良： 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、 Android Auto ™機能にアクセス時にエラー メッセージが表示される、地図を表示しよ うとしたら真っ白、など。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USB ポート (P.9)</u>
	Android スマートフォンに付属の USB ケーブルを使用し、破損していないことを確認する。
	Android スマートフォンの契約データプランを確認する。
	Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。
	Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認。Android スマートフォンの電源を OFF にし、再度 ON にしてみる。
ステアリングスイッチの<  > ボタンを 押しても Google アシスタント ™が起動し ない。	USB ケーブルを USB ポートにしっかりと差し直す。 ➡ <u>USB ポート (P.9)</u>
	Android スマートフォン側の Google アシスタント ™の設定が ON であることを確認する。
	ステアリングスイッチの<  > ボタンを確実に長押しする。

## 故障かな？と考える前に

### MITSUBISHI CONNECT 関係

症状	原因	処置方法
情報センターに接続できない。	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは当社専用 Web サイトをご確認ください。 <a href="https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/">https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/</a>
	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
	MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット (Telematics Control Unit) の電源が入っていない。	電波が届きやすい場所でもアイコンが圏内表示にならない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
サービスご利用時、通常の音声電話に比べて、サービスエリアが狭くなったり、つながりにくいことがある。	情報センターとの通信にデータ通信モードを使用している。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直してください。
メニュー画面にある項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、電動パーキングブレーキをかけてから操作してください。
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、電動パーキングブレーキをかけてから操作してください。
オペレータをご利用時、音声が途切れる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直してください。
情報が音声で読み上げられない。	音量調整が最小になっている。	音量を調整してください。

# 故障かな？と考える前に

## MITSUBISHI CONNECT メッセージ表示一覧

本機では、状況に合わせてメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	対処方法
サービスを受けるためには登録が必要です。	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは当社専用 Web サイトをご確認ください。 <a href="https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/">https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/</a>
圏外です	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
接続できませんでした。しばらく待ってから再度接続してください。	通信回線使用中である。(自動通信が発生しています。)	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
ただいま混み合っています	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
ただいま接続できません	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
	通信回線が切断された。	
	通信回線に接続できない。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。しばらく時間を置いても同じメッセージが繰り返し表示される場合は、三菱自動車販売会社へお問い合わせください。
ただいま接続できません (ID:02)	MITSUBISHI CONNECT 専用車載通信ユニット (Telematics Control Unit) が接続されていないか、認識できていない、または故障している。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。

## 故障かな？と考える前に

### スマートフォンアプリ

症状	原因	対処方法
MITSUBISHI CONNECT が使えない。	2 週間以上車を使用していない。	パワースイッチを ON にしてください。
	電波が届きにくい場所に駐車している。	車を電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。

## 故障かな？と考える前に


### ETC 関係

症状	処置方法
ディスプレイに「ETC に異常が発生しています ETC サービスが利用できません販売店に連絡してください。」と表示された。	ETC カードが挿入されている場合は、カードを抜き取ってください。 [OK] を選んで通常のナビゲーション画面に移行させます。その後は、すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ディスプレイに「ETC カードが読み取れません ETC サービスが利用できませんのでカードを抜いて、確認してください」と表示された。	カードを抜き取り、ETC カードであるか、カードを挿入する向き、表裏は正しいか、を確認してください。
ディスプレイに「料金 0 円」と表示された。 (年月日、時刻表示はなし)	ETC カードの端子（金色部分）の傷、汚れなどにより、料金所通過時に課金はされたものの、履歴情報が記録されない場合があります。左記画面表示が出ます。このような場合は、ETC カードの端子部を確認してください。
ディスプレイに「No.2」と表示された。 (上記表示は一例であり、数字部分は 02 ~ 07 の間に出る可能性あり)	料金所通過時に、ETC ユニット内部で何らかの異常が偶発的に発生した場合に、異常内容に該当する数字が左のように表示されます（一定時間で表示は消えます）。このような表示が頻繁に出る場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
利用履歴の確認ができない。	ETC カード挿入後、認識に 2 秒程度、時間がかかります。ナビ画面に ETC アイコンが表示され、「ETC カードを確認しました。」と案内があった後に、再度利用履歴の確認を行ってください。




# 故障かな？と考える前に

## 音声操作関係

### ボイスアシスタント

症状	原因	処置方法
発話しても動作しない。誤認識してしまう。または「もう一度お話しください」というエラーメッセージが出る。	同乗者の発話が認識されている。	同乗者の発話は控えてください。
	発話の音量が小さい。	もう少し大きな声でお話しください。
	発話開始までの時間が長い。ステアリングスイッチの<  > ボタンを押して、ガイドダンスが流れてから5秒以上たっている。	“ピッ”と鳴ってから5秒以内にコマンドを発話してください。
	該当するコマンドがない。	画面上に白色で表示されているコマンド、または数字を発話してください。また、正しい読みかたでお話しください。「えーっと」「あの」など、コマンド以外の言葉を発話する、とぎれとぎれになったり、言いよどみがあったりすると正しく認識されないことがあります。
	車外の音が大きい(大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など)。	窓やサンルーフを閉じて周囲の雑音を遮断してください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音などの少ないところで操作してください。
	話す速さが遅すぎる。	自然なスピードで滑らかに話してください。
登録地、短縮ダイヤル、携帯メモリが正しく認識できない。	携帯電話に登録されているヨミガナが異なっている。	正しいヨミガナを登録してください。
	ヨミガナが短すぎる、または似ているヨミガナが複数登録されている。	名称を長くしてください。また、似ているヨミガナは違うものにかえてください。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
住所や施設名が認識できない。	正式な名称を発話していない。	正式な名称で発話してください。
	対象ジャンルに含まれていない。	対象ジャンルに含まれていない施設は検索できません。
数字入力がうまくできない。	一度に入力する数字の桁数が多い。	桁数を区切って入力した方が認識しやすくなります。電話番号を入力するときは市外局番、市内局番などに区切って入力してください。
ステアリングスイッチの<  > ボタンを押しても、“ピピッ”と鳴ってボイスアシスタントを使うことができない。	パワースイッチの電源モードを ON にした直後にステアリングスイッチの<  > ボタンを押した。	しばらくしてからもう一度ステアリングスイッチの<  > ボタンを押してください。
接続した USB や iPod®/iPhone® が音声操作できない。	機種によっては iPod® や iPhone® を USB だと認識してしまう。	故障ではありません。
	1つ以上のオーディオ機器を USB ポートに接続している。	音声認識できるオーディオ機器は1つです。USB ポートにオーディオ機器を複数つないでいる場合には、音声認識したいオーディオ機器を選択してください。
USB や iPod®/iPhone® が操作できず、エラーメッセージが出る。	オーディオ機器を接続していない。	オーディオ機器を接続してください。

## 故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
USB や iPod®/iPhone® のコマンドを使うとエラーメッセージが表示される。	システムが楽曲情報を登録中である。	新しくオーディオ機器を登録したか、登録したオーディオ機器に変更があった場合には、楽曲情報をシステムに登録します。楽曲情報の登録には数分～1時間弱かかる場合があります。登録が終了するまでお待ちください。
	接続したオーディオ機器に収録されている楽曲数が多すぎる。	オーディオ機器内の楽曲を減らしてください。
	オーディオ機器に楽曲情報のある曲が収録されていない。	接続するオーディオ機器に曲を収録してください。曲を収録するときにはアーティスト名や、アルバム名、曲名、プレイリストなどの楽曲情報を入力しておくこと、ボイスアシスタントの楽曲検索が可能になります。

## ナビゲーション

### 地図データについて

1. 本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した（一財）日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条にもとづく成果使用承認12-0040）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。
2. この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 293 - B339号）  
・市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。なお、市街地図データは、地域によって作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部の地域が収録されていない場合があります。  
・本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系にもとづくものとなっています。なお、基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。

3. この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号国地企調発第78号平成16年4月23日）
4. 3次元地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 294 - B42号）
5. 交通事故多発地点データは、（公財）日本交通管理技術協会及び／又は（公財）交通事故総合分析センターが提供する1998年11月時点の交通事故多発地点の地図データを基に（株）ゼンリンにて作成しております。
6. 道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2022年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2022年10月までに収集された情報にもとづき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
7. 現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区については、立入制限等の規制区域内の地図データの更新を停止しております。  
南相馬市（一部）／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楡葉町／飯館村／葛尾村

### ■ 渋滞統計データについて

渋滞統計データは現況の渋滞情報を考慮したものではありません。過去の統計情報を基に渋滞を予測・回避したルートをご案内しています。  
（渋滞統計データ提供元：NTT データ、情報提供元：JARTIC / VICS センター）

### ■ 交通規制データについて

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが開示している交通規制情報、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、MAPMASTER が加工して作成したものを使用しています。

### ■ VICS リンクについて

「VICS」リンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しています。なお、（一財）道路交通情報通信システムセンター（VICS）による道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

### ■ タウンページデータについて

電話番号情報は、NTT のタウンページ電話帳（2022年11月発行）の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録し

# 知っておいていただきたいこと

---

ていません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ SAPA ガイドマップについて

施設情報は取材時(2022年)のデータです。情報が変更になっている場合がありますので予めご確認の上おでかけください。

## ■ 登録商標について

“ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの登録商標です。



“VICS”は(一財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

“タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標です。

## ■ 注意事項

本商品に使用しているデータは、無断複製・複写・加工・改変を禁じます。

©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

©2018 ZENRIN CO., LTD.

©2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

©2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

©2017 JTB Publishing Inc. All Right Reserved

# 知っておいていただきたいこと

## ■ 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財物損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。



禁止

「してはいけない内容」を示しています。








指示

「しなければならない内容」を示しています。



警告

①	 禁止	<b>運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。</b> 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
②	 指示	<b>操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。</b> 安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。
③	 指示	<b>常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。</b> 本商品に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。
④	 指示	<b>一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。</b> 本商品の一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、本商品に一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
⑤	 禁止	<b>本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。</b> 本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

# 知っておいていただきたいこと

## ■ 重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「ナビゲーションシステム」（「本商品」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトをご使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

### ● 使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトをお客様自身が管理使用する本商品1台に限り使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後 90 日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

(1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。

(2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）

(3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。

(3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アSEMBルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

(4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

## VICS について

### ■ 情報の提供時間

FM 多重放送：24 時間（ただし定例放送休止日の AM1:00～5:00 を除く）

- FM 多重一般放送での道路交通情報は15分～30分間隔で更新されるのに対し、VICS で提供される高速道路の交通情報は、おおむね1分または5分間隔、一般道路の交通情報は5分間隔で更新されます。また、FM 多重一般放送が文字のみの情報提供なのに対し、VICS では、図形情報や地図への重ね描き表示などでも情報提供されます。

# 知っておいていただきたいこと

- 地図（レベル3）情報の表示は、送られてきた情報を車載機で処理（演算）した上で地図上に重ねて表示しています。このため VICS 情報の表示に関しては、受信情報に整理、処理を行うために、多少遅れて表示されることがあります。

## ■ 情報の受信について

- FM 多重のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在位置付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM 多重は、FM の音声がステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM 多重の一般放送を受信させた場合には、その後 VICS 情報（FM 多重）の表示に時間がかかる場合があります。

## ■ VICS 情報に関するお問い合わせについて

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM 多重放送の定例放送休止日などの詳細情報、サービス契約約款は、下記のホームページでご覧いただけます。  
URL:<https://www.vics.or.jp/about/pdf/provision.pdf>  
お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まず三菱自動車販売店、または弊社お客様さま相談室へお問い合わせください。

## ■ VICS から提供される情報

文字表示（レベル1）：渋滞情報などを文字で表示します。  
図形表示（レベル2）：渋滞情報などを簡易な図形で表示します。  
地図表示（レベル3）：地図上に、渋滞情報などの VICS 情報を表示します。

## VICS 情報有料放送サービス契約約款

### 第1章 総則

#### （約款の適用）

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

#### （約款の変更）

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

#### （用語の定義）

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス  
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約  
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者  
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー  
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

### 第2章 サービスの種類等

#### （VICS サービスの種類）

- 第4条 VICS サービスには、次の種類があります。
- (1) 文字表示型サービス  
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
  - (2) 簡易図形表示型サービス  
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
  - (3) 地図重畳型サービス  
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

# 知っておいていただきたいこと

## (VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

## 第3章 契約

### (契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

### (サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

### (契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

## (VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

### (契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

### (加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。  
(1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき  
(2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

### (当センターが行う契約の解除)

第12条 (1) 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス

契約は、解除されたものと見なされます。

(2) 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第4章 料金

### (料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

# 知っておいていただきたいこと

## 第5章 保守

### (当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

### (利用の中止)

第15条 (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。  
(2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第6章 雑則

### (利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

### (免責)

第17条 (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

(2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。

当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

### [別表]

視聴料金 300 円 (税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

## 現在地表示について

本機のナビゲーションシステムは、車からの情報(車速・ジャイロセンサー)と、人工衛星からの情報(GPS)を組み合わせて現在の自車がいる位置を計算します。そして現在地(自車位置)の情報を地図上に表示することで、目的地までのルート案内を可能にしています。

### 知識

- GPS 衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。
- GPS 衛星からの電波を受信しても測位に時間がかかる場合があります。

# 知っておいていただきたいこと

## ■ 現在地の補正

GPS 受信精度が高いとき、車速・ジャイロセンサーなどから求めた位置の精度が低いとシステムが判断すると、GPS での現在地補正が行われます。

現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自転車位置を修正してください。

### ➡ 地図表示の設定 (P.43)

以下のような場所では、電波がさえぎられて受信できなくなることがあります。

- トンネルの中やビルの駐車場
- 2層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群集地帯
- 密集した樹木の間など

現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。

- 近くに似た形状の道路がある所の走行
- 基盤目上の道路の走行
- 緩やかな Y 字路の走行
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行
- S 字の連続する道路の走行
- ループ橋などの走行
- 雪道、砂利道などの走行
- 旋回、切り返しを繰り返したとき
- パワースイッチの電源モードを OFF にしてターンテーブルなどで旋回したとき

- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行

## 📖 知識

- 車両が停車しているときは、GPS による位置修正は行われません。
- パワースイッチの電源モードを ON にしてすぐ車を動かしたときも自転車マークの向きがずれることがあります。
- サイズ違いのタイヤやタイヤチェーンの装着などでも、現在地がずれることがあります。
- GPS の室内取り付けアンテナはダッシュボード内に設置されているため、ダッシュボード上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。衛星の電波の強度はテレビ放送電波の 10 億分の 1 程度です。感度が低下したり、受信できなくなることがあります。

## ルート探索について

- 表示されるルートは参考ルートです。必ずしも最短であるとは限りません。
- 道路は日々変化しており、地図データ作成時期の関係から、形状、交通規制などに誤りがある場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行に伴う地図の移動は行われません。
- ルート探索終了後、ルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えないことがあります。新しいルートを探るか、パワースイッチの電源モードを OFF にしたときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートが再度表示されるまで時間がかかることがあります。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
  - どれか 1 つでもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
  - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
  - 経由地付近で U ターンするルートが表示されることがあります。

# 知っておいていただきたいこと

- ルート探索では、細街路を含むその他一般道を含めたルートの探索を行います。(一部地域では探索できないことがあります。)
  - 現在地、経由地、目的地付近のみ細街路を含むその他一般道も使用してルート探索を行います。
  - 市街地図の収録エリアでは、交通規制情報を加味した探索が行われます。
  - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を含むその他一般道を使用したルートについては、音声での案内は行いません(ただし、目的地付近の細街路では目的地のある方向を音声でご案内します)。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
  - 細街路を含むその他一般道から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路を含むその他一般道に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
  - 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 以下のようなとき、ルートが探索できないことがあります。
  - 現在位置と目的地が近いとき。この場合はメッセージが表示されます。
  - 現在位置と目的地が遠すぎる時。この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
  - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき。
  - 極度に迂回したルートしかないとき。
- 以下のようなルートが表示されることがあります。
  - ルート探索しても、現在位置の前、または後からルートが表示されることがあります。
  - 目的地を設定しても、目的地の前、または後にルートが表示されることがあります。
  - ルート探索しても、他の道路からのルートが表示されることがあります。この場合は現在位置マーク(自車マーク)がずれている可能性がありますので、車を安全な場所に停車させ、現在地マークを正しい道路上に修正するか、しばらく走行して現在位置マーク(自車マーク)が正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 目的地や経由地を設定するときに、その付近に複数の道路が交差(隣接)していると、遠回りなルートが表示されることがあります。このような場合は、目的地や経由地の設定で地図が表示されたときに、タッチパネルで目的地や経由地付近の道路に修正してください。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジやサービスエリアなどのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- [冬季通行止め]、[時間規制道路]の設定が「回避」設定のときは時間・曜日規制を終日規制として扱っているため、実際は通行可能であっても遠回りのルートが表示される場合があります。
- [一般優先]でルート探索しても、有料道路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや探索条件の設定で[フェリー航路を使う]をOFFにしてルート探索させても、フェリー航路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。

# 知っておいていただきたいこと

- フェリー航路は、旅客のみ、2 輪のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。
  - 探索用のフェリールートは国道レベルのもの（国道の延長）です。一般的に、長距離航路は、探索データに登録されていません。
  - 現在位置や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。
- ## ■ ルートガイドの注意点
- 本システムのルートガイドは、あくまでも補助的な機能ですので実際に運転する際には地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
  - ルートガイドは、ある一定の条件を満たす交差点でしか行わないため、ルート上では方向が変わってもルートガイドを行わない場合があります。
  - Apple Carplay/Android Auto ™の地図アプリでルートを設定すると、本機能のルート案内が中止される場合があります。
  - 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより異なった内容になることがあります。
  - 音声ガイドのタイミングは、場合によって遅れたり早くなったりすることがあります。
  - ルートを外れた場合は音声ガイドは行いません。また、外れたことを案内しません。
  - [ガイド・メッセージ音声]のON表示が消灯している場合は、音声ガイドは行われません。また、[ガイド・メッセージ音声]のON表示が点灯している場合でも、ガイド音量設定がOFFになっていると、音声ガイドは行われません。
  - 音声ガイドは、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、ガイドが開始されるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
  - 経由地に近づくとき音声ガイドが行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときもガイド開始時と同様に、次の音声ガイドが行われるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
  - 目的地に近づくとき音声ガイドが行われ、音声ガイド（ルートガイド）は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
  - 音声操作時は、音声ガイドは行われません。

## 知識

- 時間指定の一方通行規制は、探索条件の [ 時間規制道路 ] の設定をしても、ルートの探索に加味いたしません。
- 地図データの更新により、収録エリアは変わります。

## オーディオ

### Gracenote 音楽認識サービス

#### ■ Gracenote 音楽認識サービスについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細については、Gracenote® 社のホームページ [www.gracenote.com](http://www.gracenote.com) をご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote, CDDB, MusicID, MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



## ■ Gracenote 音楽認識サービスのご利用について

この製品を使用する際は、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。

お客さまは、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。お客さまは、Gracenote データ、

Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利かつ個人的目的にのみを使用することについて、同意するものとします。

お客さまは、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客さまは、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客さまは、お客さまがこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客さまの使用許諾契約が解除された場合、お客さまは Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客さまが提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客さまに対して負うものではありません。

お客さまは、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客さまに対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客さまを認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客さまに対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。

Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客さまに提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

# 知っておいていただきたいこと

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないかなる保証もしないものとし、ます。

Gracenote は、お客さまによる Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

## 地上デジタルテレビについて★

### ■ 製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、三菱自動車工業株式会社向けに Robert Bosch Car Multimedia GmbH が開発・製造しています。

### ■ フルセグ放送

フルセグを高画質・高音質に楽しむことができます。

### ■ ワンセグ放送

フルセグに加え、ワンセグにも対応しています。

また、フルセグ⇔ワンセグへの自動切り替えまたは手動切り替えにより、受信エリアが拡大します。

## 知識

- 本機は、双方向データサービスに対応していません。
- 本機はワンセグのデータ放送には対応していません。
- 番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。

### ■ ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

### ■ 用語解説

#### データ放送：

お客さまが見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客さまのお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

#### 3 桁チャンネルと物理チャンネル：

##### ● 3 桁チャンネル

地上アナログ放送では、1つのチャンネルで1つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応しています。それに対して地上デジタル放送では1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3桁のチャンネルが設定されています。3桁のうち最初の2桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の1桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。

##### ● 物理チャンネル

物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。

## ハンズフリーフォン

### ご使用上の注意

- ハンズフリーフォンをご使用になるときは、必ず本システムに携帯電話を接続してください。
- 12V バッテリーあがり防止のため、エンジンおよびプラグインハイブリッド EV システムを始動した状態で使用してください。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。
- 以下の場合には、ハンズフリーフォンを使用できません。
  - － 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - － トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 以下の機能が設定されているとハンズフリーフォンが使用できません。設定を解除してください。(機能の解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください)
  - － ダイヤルロック、オートロック、オールロック、セルフモード
  - － その他、発着信を制限、もしくは禁止する機能

- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがあります。これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 携帯電話の電波状態が悪いときや、高速で走行しているとき、窓を開けているとき、エアコンファンの音が大きいときなどは、通話中のお互いの声が聞こえにくいことがあります。
- パワースイッチの電源モードをONにした直後は、電話の着信を受けることができません。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto ™ が起動している間は、他の携帯電話のハンズフリーフォン機能は使用できません。

### ■ 故障、サービスなどについて

- 万一、ハンズフリーフォン機能が故障したときは、お買い上げいただいた三菱自動車販売会社にご相談ください。

## Bluetooth® 電話機について

Bluetooth® 電話機は、無線(Bluetooth®)で通信を行うことのできる電話機です。ケーブルで接続しなくても本機との通信ができるため、例えば胸ポケットに電話を入れたままでもハンズフリーフォンとして使用することができます。

- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置いたり、シートや身体の上に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth® 接続を行うと、通常より携帯電話の電池の消耗が早くなります。
- Bluetooth® オーディオ使用時にハンズフリーフォンを使用すると、Bluetooth® オーディオは一時停止します。
- 放送局や他の無線機器が近くにある場合は、正常に接続できないことがあります。
- ペースメーカーなどの電子医療機器に影響を与える可能性がある場合は、Bluetooth® 接続を「OFF」に設定してください。

# 知っておいていただきたいこと

- Bluetooth® 機器と Wi-Fi 機器は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下、雑音の発生、接続不能になる場合があります。この場合は、お近くの Wi-Fi 機器の電源をお切りください。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbH はライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

## 音声操作

### 地図閲覧規約

音声操作で検索サービスをご利用になるにあたり、下記 URL より地図閲覧規約をお読みください。

[https://support.e-map.ne.jp/manuals/v3/document/Terms\\_of\\_Use\\_for\\_Map.html](https://support.e-map.ne.jp/manuals/v3/document/Terms_of_Use_for_Map.html)

# 索引

## A

AM(ラジオ).....	74
Android Auto.....	96
Android スマートフォンを 接続する.....	96
Google アシスタント.....	97
設定.....	97
Apple CarPlay.....	94
iPhone を接続する.....	94
Siri.....	95
設定.....	95

## B

Bluetooth(携帯電話).....	88
ON/OFF.....	16
初期登録.....	16
設定.....	92
電話機の切り替え.....	17
パスキー.....	16
Bluetooth オーディオ.....	76
オーディオ機器の切り替え.....	17
設定.....	17
登録.....	16

## C

CarPlay.....	94
--------------	----

## E

ETC.....	68
----------	----

EV専用機能を設定する.....	36
EVメニュー画面.....	28

## F

FM(ラジオ).....	74
FM多重情報を見る.....	66

## G

Google アシスタント.....	97
GPS情報.....	12

## H

HDMI.....	81
-----------	----

## I

iPhone.....	94
iPod.....	76, 80

## M

MITSUBISHI CONNECT サービス ...	100
MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー.....	110
オペレータサービス.....	101
地図更新.....	105

## P

Places API.....	46
-----------------	----

## S

Siri.....	95
SMS	
受信する.....	91
送信する.....	91

## T

TV.....	82
---------	----

## U

USB	
USB ポート.....	9
オーディオ.....	76

## V

VICS.....	65
-----------	----

## W

Wi-Fiスポット画面.....	21
------------------	----

## ア

アイコン	
VICS 表示.....	67
充電スポット表示.....	36
施設アイコン(マーク).....	43
アプリメニューについて.....	12

# 索引

## イ

一般(道路)優先	52, 57
緯度経度で探す	47

## ウ

迂回する	59
------	----

## オ

オーディオ	
Bluetooth オーディオを使う	76
HDMI 接続機器を使う	81
iPod/iPhone を使う	76
USB メモリを使う	76
交通情報をきく	75
設定	70
操作画面	77
テレビを見る	82
ラジオ	74
音声操作	114
ボイスアシスタント	115
音量を調整する	22

## カ

ガイド	
ガイド音声 ON/OFF	22
ガイド音量	22
合流ガイド	64
踏み切りガイド	64
回避エリア	63

## 画面

画質を調整する	23
---------	----

## キ

機器接続画面	16
USB 接続画面	21
Wi-Fi 画面	20
登録機器画面	16

## 記号

地上デジタル放送アイコン	84
地図上のマークや記号	42
距離優先	52, 57

## ク

クイック設定	11
--------	----

## ケ

### 携帯電話

マイク	88
音量を設定する	88
各部の名称と機能	88
携帯電話の接続をする	16
ステアリングスイッチ	9
短縮ダイヤル	93
通話中画面の見かた	90
電話メニュー画面	89
電話を受ける	90
ハンズフリーフォンの 設定をする	92
メッセージ機能を使う	91

経由地を追加する	56
----------	----

## 消す

画面	23
登録地	62
目的地	59

## 現在地

修正する	45
周辺施設を探す	51
探索結果画面(ルート)	52
地名を見る	40

## コ

## 更新

ソフトウェア	25
地図	105
交通情報	65, 75

## 故障かな？と考える前に

Android Auto 関係	145
Apple CarPlay 関係	144
MITSUBISHI CONNECT サービス関係	146
オーディオ関係	134
ナビゲーション関係	126
ハンズフリーフォン関係	141
Wi-Fi 接続関係	132

コントロールパネル	8
-----------	---

## サ

## 探す

目的地	46
-----	----

# 索引

シ	
施設	
施設情報を見る	45
自宅	
登録する	26
編集する	62
充電スポット	30
縮尺を変える	41
受信	
SMS(ショートメッセージ)	91
VICS 情報を受信するには	156
ショートメール	91
消去する	
登録地	62
登録ルート	60
目的地	59
情報を見る	
VICS 情報	65
施設情報	45
初期設定をする	
Bluetooth 携帯電話機	16
進行方向を上にする	43
ス	
スイッチ	
コントロールパネル	8
ステアリングスイッチ	9

セ	
接続	
Android Auto	96
Apple CarPlay	94
Bluetooth 機器	16
携帯電話機を接続する	16
設定	
Android Auto	97
Apple CarPlay	95
Bluetooth	16
EV 専用機能	36
オーディオ	70
音声操作	118
テレビ	85
時計	24
ナビゲーション	60
ルート	59
設定メニュー	13
ソ	
操作音の調整	22
操作画面	
USB メモリ	77
テレビ	82
電話	89
ラジオ	74
挿入口	
HDMI	81
USB	9
ソフトウェア更新	25

チ	
地上デジタルテレビ	82
地図	
設定	43
地図更新	105
地図表示	40
地図ショートカットメニュー について	41
地図データについて	153
着信(電話)	90
中止	
ルートガイド	58
調整する	
音量	22
画質	23
ツ	
追加する	
ルートに追加する	52, 56
テ	
テレビ	82
電話	88
SMS 機能を使う	91
音量を設定する	88
各部の名称と機能	88
ステアリングスイッチ	9
短縮ダイヤル	93
通話中画面の見かた	90

# 索引

電話機を接続する・つなぐ	16
電話メニュー画面	89
電話を受ける	90
ハンズフリーフォンの 設定をする	92
マイク	88
電話番号で探す	47

## ト

登録する	
Bluetooth	16
携帯電話	16
自宅を登録する	26
ルート	59
登録地	
編集する	62
時計を設定する	24

## ナ

ナビゲーション	
設定	60
地図の見かた	40
地図表示の設定	43
目的地メニュー	46

## ハ

場所を探す	46
パスキー	16
ハンズフリーフォン	88
接続する	17

## ヒ

ビックス→VICS	65
-----------	----

## フ

プリセット	75
Bluetooth	16

## ヘ

編集・変更する	
登録地	62
ルート	56
ルート探索条件	57

## ホ

ボイスアシスタント	115
-----------	-----

## マ

マイク	88
マップメニューを表示する	42

## メ

メッセージ	91
メニュー	
アプリメニュー	12
設定メニュー	13
地図ショートカットメニュー	41
マップメニュー	42
メニュー画面	10
目的地メニュー	46

## ユ

ユーザー情報の登録、設定	15
有料優先	54

## ラ

ラジオ	74
-----	----

## ル

ルート探索結果画面	52
ルート探索条件	57
ルートメニュー	59
ルートを選ぶ	54
ルートを登録する	59